

2021 年 5 月分新聞書評



その言葉、もう使われていませんよ～もはや古い日本語を最新にアップデート～
(KAWADE 夢文庫 K1160)

日本語倶楽部 編

河出書房新社

「はだ色」「できちゃった婚」「体育の日」…。なぜ使わないの？ どう言えばいい？ 行政の指導、業界の後押し、公正・中立の推進などから NG になった・なりつつある日本語を正しい言い換えとともに紹介する。

2021.3./ 219p

978-4-309-48560-7

本体 ¥792〔税込〕



産経新聞 2021/05/01



ナショナリズムの美德

ヨラム・ハゾニー 著

東洋経済新報社

ナショナリズムと国民国家の歴史を再評価。自由と民主主義を守るのは国民国家であるとして、誤解されがちなナショナリズムの価値観を問い直し、一方で、リベラリズムのパラダイムは、専制や帝国主義と同じだと警鐘を鳴らす。

2021.3./ 286p, 39p

978-4-492-44460-3

本体 ¥2,860〔税込〕



産経新聞 2021/05/01、日本経済新聞 2021/05/22



考える、書く、伝える生きぬくための科学的思考法(講談社+α 新書 840-1C)

仲野 徹 著

講談社

情報を集める、考える、プレゼンする、論文を書くというのはある種の技術にすぎない！ 大阪大学の名物教授による講義「学問への扉」の実践の記録。健康と医学についての知識や、学び方を身につける方法がわかる。

2021.3./ 263p

978-4-06-523119-7

本体 ¥990〔税込〕



産経新聞 2021/05/02



その扉をたたく音

瀬尾 まいこ 著

集英社

ミュージシャンへの夢を捨てきれず怠惰な日々を送る宮路は、演奏に訪れた老人ホームで、神がかったサックスの音を耳にする。吹いていたのは介護士・渡部だった。ホームに通い始めた宮路は…。『小説すばる』連載を加筆・修正。

2021.2./ 211p

978-4-08-771741-9

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/05/02

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会 は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2021 年 6 月時点での税込み価格です。



人事の組み立て～脱日本型雇用のトリセツ～

海老原 嗣生 著

日経BP社

本気で日本型雇用を変えるためには、雇用システム・人事を隅々まで理解して、根治を目指さなければならない。欧米と日本の雇用システムの違い、日本型雇用につきまとう社会問題を解説し、最適な人事管理術を提案する。

2021.4./ 257p

978-4-296-10927-2

本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/05/02



田中家の三十二万石

岩井 三四二 著

光文社

近江国三川村の貧しい百姓から成り上がり、大名となった田中吉政。石田三成を捕縛し、関ヶ原の合戦を決着させた英傑の人生を描いた歴史長編小説。『小説宝石』連載を加筆し書籍化。

2021.2./ 397p

978-4-334-91389-2

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/05/02



白鳥とコウモリ

東野 圭吾 著

幻冬舎

竹芝桟橋近くの路上に違法駐車されていたセダンの後部座席から、男性の遺体が発見された。運転免許証と名刺から、弁護士であることが判明し…。『小説幻冬』掲載を加筆し長編として書籍化。

2021.4./ 522p

978-4-344-03773-1

本体 ¥2,200〔税込〕



産経新聞 2021/05/08



じいじ、最期まで見るからね～育児と介護のダブルケア奮闘記～

高橋 里華 著

CCCメディアハウス

祖父母、母、義母。そして、認知症の義父との日々。介護 16 年目の著者が、病気の家族との向き合い方、認知症の症状と対応、その時の自分の気持ち、介護を必要としていない家族との向き合い方など、リアルな介護生活を伝える。

2021.3./ 225p

978-4-484-21209-8

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/05/08



小説機動戦士ガンダム閃光のハサウェイ<上> 新装版(角川コミックス・エース)

富野 由悠季 著

KADOKAWA

「シャアの反乱」より 12 年経った、宇宙世紀 0105 年。ブライト・ノアの長男、ハサウェイ・ノアは、「マフティー・ナビーユ・エリン」として反地球連邦政府運動に身を投じていたが…。2021 年 5 月公開映画の原作。

2021.2./ 323p

978-4-04-109620-8

本体 ¥880〔税込〕



産経新聞 2021/05/09



小説機動戦士ガンダム閃光のハサウェイ<中> 新装版(角川コミックス・エース)

富野 由悠季 著

KADOKAWA

クサイーガンダムと共に戦場を駆け巡る、反地球連邦政府運動「マフティー」の若きリーダー、ハサウェイ・ノア。マフティーはオーストラリアで、連邦のキルケーユニットとの戦いに挑む! 2021 年 5 月公開映画の原作。

2021.3./ 238p

978-4-04-109718-2

本体 ¥880〔税込〕



産経新聞 2021/05/09



小説機動戦士ガンダム閃光のハサウェイ<下> 新装版(角川コミックス・エース)

富野 由悠季 著

KADOKAWA

「シャアの反乱」より12年経った、宇宙世紀0105年。ハサウェイ・ノアは政府閣僚粛清のため、アデレートを急襲し…。富野由悠季が記した非業のガンダム小説、完結巻。2021年5月公開映画の原作。

2021.4./240p

978-4-04-109719-9

本体 ¥880〔税込〕



産経新聞 2021/05/09



あしたの官僚

周木 律 著

新潮社

国内で猛威を振るう奇病の原因究明に乗り出した厚生労働省キャリア技官の松瀬尊。だが、ある謀略により「付度官僚」として国民の非難の的となり…。組織とは、政策とは、そして国家とは。官僚たちのリアルを描いた小説。

2021.3./333p

978-4-10-336993-6

本体 ¥2,090〔税込〕



産経新聞 2021/05/09



なんで家族を続けるの?(文春新書 1303)

内田 也哉子、中野 信子 著

文藝春秋

私たちは“普通じゃない家族”の子だった。家族団欒を知らずに育った内田也哉子と、両親の不和の記憶を抱えてきた中野信子が語り合う、経験的家族論。『週刊文春WOMAN』『文春オンライン』掲載に語り下ろしを追加。

2021.3./229p

978-4-16-661303-8

本体 ¥935〔税込〕



産経新聞 2021/05/09



ナイアガラに愛をこめて～大瀧詠一ルーツ探訪の旅～ 増補改訂版

木村 ユタカ 著

シンコーミュージック・エンタテイメント

大瀧詠一が遺した珠玉のナイアガラ・ポップスのルーツとは? 左ページにルーツ楽曲、右ページに大瀧関連楽曲を掲載し、ナイアガラ・ポップスを解説。大瀧詠一が選んだ「アメリカン・ポップス100枚」を加えた増補改訂版。

2021.4./238p

978-4-401-65035-4

本体 ¥2,750〔税込〕



産経新聞 2021/05/09



問いの立て方(ちくま新書 1551)

宮野 公樹 著

筑摩書房

質問や問題といった小さなものから、人生の課題、目標、テーマまで、「問い」には様々な形がある。では「いい問い」とは何か? ほんとうの問いに辿り着くため、「問い」自体を問うことから始め、磨くための考え方を示す。

2021.2./199p

978-4-480-07370-9

本体 ¥858〔税込〕



産経新聞 2021/05/09



雨と短銃(ミステリ・フロンティア 107)

伊吹亜門 著

東京創元社

慶応元年。薩摩藩と長州藩が協約を結ばんとしていた。しかし、薩摩藩士が稻荷神社の境内で長州藩士を斬り付け、逃げ場のない鳥居道から姿を眩ませた。坂本龍馬の依頼を受けて、若き尾張藩士・鹿野師光は捜査に乗り出し…。

2021.2./219p

978-4-488-02011-8

本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/05/09



28 言語で読む「星の王子さま」～世界の言語を学ぶための言語学入門～

風間 伸次郎、山田 怜央 著

東京外国語大学出版会

世界中で愛読されている「星の王子さま」を、英語、ヒンディー語、ウズベク語など、28の言語で掲載。各言語3?4ページの概説を付すほか、「統合音声学と音韻論」「28言語の特徴」などを解説する「言語学入門」も収録。

2021.3./ 537p

978-4-904575-87-1

本体 ¥3,520〔税込〕



産経新聞 2021/05/09



第八の探偵(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 486-1)

アレックス・パヴェージ 著

早川書房

探偵小説黄金時代に一冊の短篇集を刊行して以来、小島に隠棲する作家グラント・マカリスター。彼のもとを訪れた編集者ジュリアは、短篇集の復刊を持ちかけるが…。7つの短篇推理小説が作中作として織り込まれたミステリ。

2021.4./ 487p

978-4-15-184501-7

本体 ¥1,254〔税込〕



産経新聞 2021/05/09、朝日新聞 2021/05/15



英文学教授が教えたがる名作の英語

阿部 公彦 著

文藝春秋

本物の英語に触れよう! 「ロビンソン・クルーソー」「ガリヴァー旅行記」「高慢と偏見」「黒猫」などの名作から抜粋した原文、訳文、語彙や文法の基礎的な解説、読みどころの説明を収録する。

2021.4./ 207p

978-4-16-391316-2

本体 ¥1,925〔税込〕



産経新聞 2021/05/09、読売新聞 2021/05/30



沙林～偽りの王国～

帯木 蓬生 著

新潮社

信じる心が、?と虚像に翻弄され起こった平成最悪の事件。あの日、医師、看護師、駅員、警官は未知の毒物と闘い…。小説家でもあり、医師でもある著者が、膨大な資料と知識を土台に、「オウム」の全貌を描く。

2021.3./ 570p

978-4-10-331425-7

本体 ¥2,310〔税込〕



産経新聞 2021/05/15



生物はなぜ死ぬのか(講談社現代新書 2615)

小林 武彦 著

講談社

生命の死には重要な意味がある。遺伝子に組み込まれた「死のプログラム」とは-。根源的な疑問である「そもそもなんで生き物は死ぬのか」について、生物学的視点から考察する。

2021.4./ 217p

978-4-06-523217-0

本体 ¥990〔税込〕



産経新聞 2021/05/16



老いの福袋～あっぱれ!ころばぬ先の知恵 88～

樋口 恵子 著

中央公論新社

老年よ、大志とサイフを抱け! 「調理定年」してもいい! 介護され上手になろう! 老いの時期を楽しく快適にするアイデアや、ちょっぴり怖い現実、超高齢社会の課題を乗り越える知恵などを綴った書き下ろし痛快エッセイ。

2021.4./ 229p

978-4-12-005428-0

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/05/16



人生、降りた方がいいことがいっぱいある

清水 克彦 著

青春出版社

競争社会、お金やモノへの執着、常識的な生き方、いい人、無駄な人づき合いから降りるだけ。人生後半、自分をすり減らすような毎日から抜け出し、ラクで豊かになる生き方を伝える。

2021.4./ 193p

978-4-413-23202-9

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/05/16



うしろむきタ食店

冬森 灯 著

ポプラ社

落ち込んだ夜は「うしろむきタ食店」を探してください。「うしろむき」なんて名前だけど、出てくる料理とお酒は絶品揃い。極上の料理と乾杯の音が、あなたの迷いを優しくほどこしてくれます…。

2021.2./ 306p

978-4-591-16945-2

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/05/16



生きるための日本史～あなたを苦しめる<立場>主義の正体～

安富 歩 著

青灯社

日本社会は人間ではなく<立場>でできている。立場を離れ、「私」と「世界」を直接に結び付ける画期的歴史論。2016年に高知大学で行われた集中講義「日本通史II」をもとに書籍化。動画講義が視聴できる URL 付き。

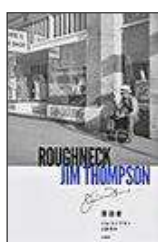
2021.3./ 288p

978-4-86228-115-9

本体 ¥5,500〔税込〕



産経新聞 2021/05/16



漂泊者

ジム・トンプスン、土屋 晃 著

文遊社

葬儀社の夜間受付、ダンスホールのフロアマネジャー、チラシ配り、下水溝掘り…。恐慌後のアメリカで職を転々としながら出会った風変りな人々、巻き起こる騒動。流浪のなかで書き続けた日々を描く自伝的小説。

2021.3./ 270p

978-4-89257-149-7

本体 ¥2,750〔税込〕



産経新聞 2021/05/16



うさぎとハリネズミ きょうもいいひ

はら まさかず 著

ひだまり舎

のんびりやで前向きなうさぎと、ちょっぴり繊細なハリネズミ。ふたりが出会ったその日から、あたらしい物語が動きはじめ…。「ちくちくとふわふわ」など全 4 話を収録。「うさぎとハリネズミ」シリーズ第 1 作。

2021.4./ 62p

978-4-909749-07-9

本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/05/16



映画のメリーゴーラウンド

川本 三郎 著

文藝春秋

一本の作品から、その監督の別の作品を思い出す。ちょっとした小物、小道具が、そこに込められた思いを想像させ、いろいろなことを暗示し…。川本三郎が贈る大人のための“映画尻取り遊び”。『ぴあ』アプリ連載を書籍化。

2021.4./ 285p,32p

978-4-16-391357-5

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/05/16、東京・中日新聞 2021/05/30



ダイオウイカ vs. マッコウクジラ～図説・深海の怪物たち～(ちくま新書 1566)

北村 雄一 著

筑摩書房

巨大ウミヘビ・シーサーペント、日本の漁船が引きあげたニューネッシー、メスと一体化するビワアンコウのオス、スケスケ頭のデメニギス…。深海のモンスターたちの異様な姿と習性を、描きおろしイラストとともに紹介する。

2021.4./ 237p

978-4-480-07386-0

本体 ¥902〔税込〕



産経新聞 2021/05/16、日本経済新聞 2021/05/22



見知らぬ友(世界傑作童話シリーズ)

マルセロ・ビルマヘール 著

福音館書店

ピンチになるとあらわれる「見知らぬ友」の正体とは…。表題作をはじめ、不器用でさえない「ぼく」をめぐる全 10 編の物語を収録。アルゼンチンの実力派作家マルセロ・ビルマヘールが若い読者に贈る、珠玉の短編集。

2021.2./ 149p

978-4-8340-8468-9

本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/05/22



＜アメリカ映画史＞再構築～社会派ドキュメンタリーからブロックバスターまで～

遠山純生 著

作品社

撮影機材や照明・編集などの技術的側面の変化を踏まえ、記録映画・実験映画・劇映画を同列に置いてその人的交流や表現の境界線を論じ、ハリウッド中心主義の歴史とはまったく違う、＜アメリカ映画＞の真の姿を明らかにする。

2021.4./ 719p

978-4-86182-850-8

本体 ¥6,930〔税込〕



産経新聞 2021/05/22



国立代々木競技場と丹下健三～成長の時代の象徴から、成熟の時代の象徴へ～(TOTO 建築叢書 12)

豊川 斎赫 著

TOTO出版

建築家・丹下健三が設計し、世界遺産登録を目指す「国立代々木競技場」について、社会学や建築史、コンサベーション・マネジメントなど、さまざまな視点で縦横に論じた一冊。

2021.3./ 263p

978-4-88706-388-4

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/05/22



一度きりの大泉の話

萩尾 望都 著

河出書房新社

約 50 年前、漫画家・竹宮恵子や彼女のブレインと共同生活をしていた練馬区大泉。当時の“出会いと別れ”を、現在の心境もこめて書き下ろした 70 年代回想録。未発表スケッチも多数収録。

2021.4./ 350p

978-4-309-02962-7

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/05/22、朝日新聞 2021/05/29



フォン・ノイマンの哲学～人間のフリをした悪魔～(講談社現代新書 2608)

高橋 昌一郎 著

講談社

コンピュータ、原子爆弾、ゲーム理論、天気予報…。現代社会の基本構造をつくった天才、フォン・ノイマンの栄光と苦悩とは？彼の生涯と思想を振り返り、「フォン・ノイマンの哲学」に迫る。『本』連載を加筆・修正し新書化。

2021.2./ 270p

978-4-06-522440-3

本体 ¥1,034〔税込〕



産経新聞 2021/05/23



リリアン

岸 政彦 著

新潮社

街外れで暮らすジャズベーシストの男と、バーで知り合った女。会話のセッションが、大阪の片隅で生きる 2 人の人生を淡く照らす。表題作ほか全 2 編を収録した、哀感溢れる都市小説集。『新潮』掲載を単行本化。

産経新聞 2021/05/23

2021.2./ 203p

978-4-10-350723-9

本体 ¥1,815〔税込〕



愛の自転車～インドからスウェーデンまで最愛の人を追いかけた真実の物語～

ペール・J・アンデション／タカ大丸 著

徳間書店

不可触民として困難な幼少期を過ごした PK は、大学生の時に運命の人、ロッタと出会う。だが、離れ離れになり…。最愛の人に会うために、インドからスウェーデンまで自転車で向かったインド人青年の実際にあった愛の物語。

産経新聞 2021/05/23

2021.2./ 365p

978-4-19-865245-6

本体 ¥2,200〔税込〕



危機突破力～渋沢栄一と明治の起業家たちに学ぶ～

加来耕三 著

日経BP社

渋沢も、三菱、三井、住友を興した起業家たちも、情熱と知恵で逆境を越えた！幕末・明治に、ピンチをチャンスに変えた起業家 10 人の不屈の生き方から、危機突破力、脱出方法、逆転の方策を学ぶ。

産経新聞 2021/05/23

2021.3./ 289p

978-4-296-10839-8

本体 ¥1,760〔税込〕



Transit

和合亮一 著

ナナログ社

誰一人として同じカバンを持つ者はいない。その中の宇宙で何が起きているのかも分からない。それぞれの内部にそれぞれの暗闇を抱えて(「Bag」より) 3.11 から 10 年を迎えた詩人・和合亮一の詩集。

産経新聞 2021/05/23

2021.3./ 118p

978-4-86732-002-0

本体 ¥1,870〔税込〕



星落ちて、なお

澤田 瞳子 著

文藝春秋

不世出の絵師、河鍋暁斎が死に、これまで家の中で辛うじて保たれていた均衡が崩れた。一門の行末は、娘とよ(暁翠)の双肩にかかっているのだが…。激動の時代を生き抜いた女絵師の一代記。『別冊文藝春秋』連載を書籍化。

産経新聞 2021/05/23、読売新聞 2021/05/30

2021.5./ 321p

978-4-16-391365-0

本体 ¥1,925〔税込〕



30 年目の待ち合わせ

エリエット・アベカシス 著

早川書房

1980 年代末、パリ。20 歳のアメリとヴァンサンは恋に落ちるが、待ち合わせの日、すれ違ってしまふ。再会は 10 年後、ヴァンサンは結婚していた。アメリも家庭を築くが、人生を間違えたのではないかという思いは消えず…。

産経新聞 2021/05/29

2021.4./ 155p

978-4-15-210012-2

本体 ¥2,310〔税込〕





ムーンライト・イン

中島 京子 著

KADOKAWA

職を失い、自転車旅行をしていた栗田拓海は、年季の入った一軒の建物を訪れた。そこには 3 人の女性がそれぞれ事情を抱えて過ごしていた。拓海は足の怪我が治るまで、そこにとどまることに…。『小説野性時代』連載を単行本化。

産経新聞 2021/05/30

2021.3./ 326p

978-4-04-111078-2

本体 ¥1,870〔税込〕



DX の思考法～日本経済復活への最強戦略～

西山 圭太、富山 和彦 著

文藝春秋

人工知能と人間の距離をどう埋めるか。アリババが自らをケーキにたとえる理由とは。各国の「知の巨人」が認めた天才ビジョナリーが、「DX 成功の極意」「ミルフィュー化する未来」を描く。

産経新聞 2021/05/30

2021.4./ 269p

978-4-16-391359-9

本体 ¥1,650〔税込〕



石平の新解説三国志～「愚者」と「智者」に学ぶ生き残りの法則～

石 平 著

PHP研究所

死と背中合わせの「三国志」の時代の人々は生き延びるための知恵を絞り出し、己の才能を満開させていた。「三国志」の多色多彩な人物たちを取り上げ、奥深い人間模様と処世術を紹介する。

産経新聞 2021/05/30

2021.4./ 225p

978-4-569-84912-6

本体 ¥1,760〔税込〕



マクシミリアン・エレールの冒険(論創海外ミステリ 265)

アンリ・コーヴァン 著

論創社

名探偵の代名詞シャーロック・ホームズの知られざるモデルかもしれない人物、その名は「マクシミリアン・エレール」。推理小説史上、重要なピースとなる 19 世紀のフランス・ミステリ。

産経新聞 2021/05/30

2021.5./ 233p

978-4-8460-2018-7

本体 ¥2,420〔税込〕



名馬を読む<3>

江面 弘也 著

三賢社

美少女タマミ、気まぐれシップ、大王キンカメ、顕彰馬ロードカナロア…。記憶に残る名馬たちを紹介するほか、短編ノンフィクション「キタサンブラックをつくった男たち」も収録する。

産経新聞 2021/05/30

2021.5./ 287p 図版 5

枚

978-4-908655-19-7

本体 ¥1,870〔税込〕



石橋湛山の 65 日

保阪 正康 著

東洋経済新報社

昭和 31 年、わずか 65 日で終わった石橋湛山政権。反骨の言論人が、戦後、政治家の道を歩み、首相の座を降りるまでの激動の保守政治の史実を克明に描き、短命に終わった「まぼろしの政権」が日本人に投げかけた謎に迫る。

産経新聞 2021/05/30、東京・中日新聞 2021/05/30

2021.3./ 333p

978-4-492-06192-3

本体 ¥1,980〔税込〕





かすがい食堂(小学館文庫 か 50-2)

伽古屋 圭市 著
小学館

祖母の駄菓子屋「かすがい」を継いだ楓子は、夕刻にきっちり 300 円分の菓子を買って帰る少年の存在に気づく。事情を察した楓子は、店の奥で食事を提供することに。賑やかで温かい食卓が、居場所を失った子どもたちを救う。

朝日新聞 2021/05/01

2021:3./ 220p
978-4-09-406891-7
本体 ¥638〔税込〕



人間主義的経営〜ソロメオの夢〜

ブルネロ・クチネリ、岩崎 春夫 著
クロスメディア・パブリッシング

創業当初から「人間の尊厳を守ること」を経営の目標に掲げ、世間水準を上回る給与を支給し、収益は有給で無償の職人学校の運営や、村の文化・自然環境の整備に投資してきた。イタリアのクチネリ社の経営哲学を伝える。

朝日新聞 2021/05/01

2021:3./ 268p 図版
16p
978-4-295-40529-0

本体 ¥1,848〔税込〕



ブロックチェーンゲームの始め方・遊び方・稼ぎ方

廃猫(@hainekolab) 著
技術評論社

ゲーム内での働きを、実際のお金に変えることができる「ブロックチェーンゲーム」。知っておきたい基礎知識をはじめ、国内 3 大タイトルの始め方・遊び方・稼ぎ方などをわかりやすく紹介する。

朝日新聞 2021/05/01

2021:2./ 223p
978-4-297-11916-4
本体 ¥1,958〔税込〕



ブラック・ライヴズ・マター回想録〜テロリストと呼ばれて〜

パトリス・カーン＝カラズ／アーシャ・バンデリ 著
青土社

アメリカで黒人女性として生きる経験とはいかなるものか。ブラック・ライヴズ・マター運動を牽引するクィア・フェミニストが綴る、あらたな公民権運動を展開する人々をめぐる、詩的で力強い半生記。

朝日新聞 2021/05/01

2021:2./ 333p
978-4-7917-7352-7
本体 ¥2,860〔税込〕



仮面の陰に〜あるいは女のカ〜(ルリユール叢書)

レイザ・メイ・オルコット 著
幻戯書房

イギリスのコヴェントリー家にやってきた、新しい家庭教師。彼女はたちまちコヴェントリー家の人々を巧みな振る舞いと話術で虜にするが…。『若草物語』の作者オルコットによる、19 世紀米国大衆<スリラー>小説。

朝日新聞 2021/05/01

2021:3./ 268p
978-4-86488-216-3
本体 ¥2,970〔税込〕



仲條

仲條 正義 著
ADP

資生堂の企業文化誌『花椿』のアートディレクションをはじめ、さまざまなロゴやパッケージデザインに携わる仲條正義。1960 年代から現在まで、その代表作をほぼ網羅した画集。

朝日新聞 2021/05/01

2021:2./ 639p
978-4-903348-51-3
本体 ¥9,350〔税込〕





どの口が愛を語るんだ

東山 彰良 著

講談社

さえない温泉街に引っ越してきた中 3 のぼく。無軌道な不良とよそ者の少年は、なぜ猿に火をつけたのか? 「猿を焼く」ほか、ニューヨーク、台北などを舞台にした全 4 編の自由でボーダレスな短編集。

2021:3./ 205p

978-4-06-522387-1

本体 ¥1,705〔税込〕



朝日新聞 2021/05/01、読売新聞 2021/05/02、毎日新聞 2021/05/08



眼の冒険〜デザインの道具箱〜(ちくま文庫 ま 53-1)

松田 行正 著

筑摩書房

星雲、指紋、素粒子の飛跡…。ある種の図像から呼び起されるイメージを整理し、歴史や文脈を超えて顕れる象徴的な意味を読み解くことで、私たちが無意識に行っているデザインの思考の臨界点に迫る。図版資料満載の美術文庫。

2021:3./ 430p

978-4-480-43741-9

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/05/01、読売新聞 2021/05/09



泡

松家 仁之 著

集英社

男子校の 2 年に上がってまもなく学校に行けなくなった薫は、復員後、知り合いのいない土地でジャズ喫茶をはじめた大叔父のもとで過ごすことに。店を手伝ううち、薫は何かを? みはじめ…。青春小説。『すばる』掲載を単行本化。

2021:4./ 193p

978-4-08-771736-5

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/05/01、毎日新聞 2021/05/01、読売新聞 2021/05/23



「国境なき医師団」を見に行く(講談社文庫 い 65-5)

いとう せいこう 著

講談社

大地震後のハイチで新生児を救い、ギリシャの難民キャンプを支援し、100 万人の難民が流入したウガンダの国境地帯で支援し…。「国境なき医師団」の活動を現地取材した小説家が、世界の<リアル>と人間の<希望>を綴る。

2020:12./ 458p

978-4-06-521941-6

本体 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



夢七日 夜を昼の國

いとうせいこう 著

文藝春秋

交通事故で意識不明となり、長い眠りの中にいる君に、私は日々ささやきかける。君よ、目覚めよ。「夢七日」ほか、浄瑠璃で脚色されたお染がネットの中傷に立ち向かう「夜を昼の國」を収録。『文藝』掲載を書籍化。

2020:10./ 229p

978-4-16-391280-6

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



福島モノローグ

いとう せいこう 著

河出書房新社

震災でブツツと断ち切られてしまったんですよ。その先あったはずの未来というか、父とやるはずだったいろんなものが。福島から語られる「いま」の声を「聴いた」記録。『文藝』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2021:2./ 201p

978-4-309-02949-8

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



想像ラジオ(河出文庫 い18-4)

いとう せいこう 著

河出書房新社

海沿いの町を見下ろす杉の木のでっぺんから、「想像」という電波を使って「あなたの想像力の中」だけで聴こえるというラジオ番組を始めた DJ アーク。その理由は…。東日本大震災を背景に、生者と死者の新たな関係を描き出す。

2015:2./ 215p

978-4-309-41345-7

本体 ¥495〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



友達0のコミュ障が「一人」で稼げるようになったぼっち仕事術

末岐碧衣 著

アルファポリス

人付き合いの仕方、働き方、お金の扱い方、自分の心との向き合い方…。チームプレイが苦手なすべての人に役立つ、コミュ障視点のライフハックを具体的に紹介する。

2021:3./ 238p

978-4-434-28572-1

本体 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



原野(ムーア)の館(創元推理文庫 Mテ 6-5)

ダフネ・デュ・モーリア 著

東京創元社

母が亡くなり、叔母の住むジャマイカ館に身を寄せることになったメアリー。だが、そこには恐ろしい秘密が…。ヒッチコック監督の映画「巖窟の野獣」の原作になったサスペンスの名品の新訳。

2021:3./ 423p

978-4-488-20606-2

本体 ¥1,320〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



失われた子どもたち～第二次世界大戦後のヨーロッパの家族再建～

タラ・ザーラ、三時 眞貴子、北村 陽子、岩下 誠、江口 布由子 著

みすず書房

第二次世界大戦後のヨーロッパでは、数多くの子どもたちが行方不明になった。国連諸機関と人道主義組織による国際的な子どもの救済活動を通して、戦後のヨーロッパ再建と国際秩序の創出をめぐる諸相を浮き彫りにする。

2019:12./

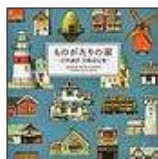
10p,398p,69p

978-4-622-08868-4

本体 ¥6,600〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



ものがたりの家～吉田誠治美術設定集～

吉田 誠治 著

バイインターナショナル

住んでみたい! 夢と憧れが詰まった空想の家 33 点を収録した美術設定集。コマ割り絵本、線画ギャラリー、メイキングも掲載する。同人誌「ものがたりの家I・II」に描き下ろしを加え書籍化。

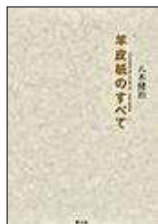
2020:7./ 127p

978-4-7562-5358-3

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



羊皮紙のすべて

八木健治 著

青土社

羊皮紙はいつからあるのか、どんな動物の皮からできているか、表と裏の区別はあるのか、どういう方法で作られているのか。羊皮紙づくりを実践し、日本における羊皮紙研究の第一人者である著者が、その魅力と可能性を綴る。

2021:2./ 508p,4p 図

版 16p

978-4-7917-7350-3

本体 ¥4,620〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



伝承遊び大百科～現代アレンジで遊ぶ～

西村誠／山口孝治／二澤善紀／榎岡義明 編

西村 誠／山口 孝治／二澤 善紀 著

昭和堂

だるまさんがころんだ、馬跳び、草花摘み、水切り…。隣近所の子どもたちが、年齢や性別を問わずに一緒になって遊んだ昔ながらの 254 種類の「伝承遊び」を、イラストとともにわかりやすく紹介する。

2021:4./ 11p,381p

978-4-8122-2028-3

本体 ¥3,850〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



身近な雑草たちの奇跡～道ばた、空き地、花壇の隅…気づけばそこにいる植物の生態～

森 昭彦 著

SBクリエイティブ

わたしたちの足元は、驚くほどの美と生命活動に溢れている。道ばたや空き地でたくましくも小さな花や実をつける雑草たち、恐るべき進化を遂げた雑草たちの神秘、寄生で奇妙で無精な植物などを、カラー写真とともに紹介する。

2021:3./ 295p

978-4-8156-0616-9

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



戦争障害者の社会史～20 世紀ドイツの経験と福祉国家～

北村 陽子 著

名古屋大学出版会

2 度にわたる世界大戦の時期にドイツで急増した戦争障害者は、どのようなその後を生きたのか。公的支援や医療の発達、義肢などの発展と、他方での差別や貧困、ナチへの傾倒など多面的な実態を描き、現代福祉の淵源を示す。

2021:3./ 7p,290p,65p

978-4-8158-1017-7

本体 ¥5,940〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



狩猟に生きる男たち・女たち～狩る、食う、そして自然と結ばれる～

高桑 信一 著

つり人社

追う猟師と追われる獣、仕掛けるもの、仕掛けられるものの、しのぎを削る攻防。各地の狩猟現場を訪ね歩き、現在の日本の狩猟文化を詳察する。『溪流』連載「現代マタギ考」を改題し単行本化。

2021:4./ 351p

978-4-86447-369-9

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



秋山邦晴の日本映画音楽史を形作る人々/アニメーション映画の系譜～マエストロたちはどのように映画の音をつくってきたのか?～

高崎 俊夫／朝倉 史明 編

秋山 邦晴 著

DU BOOKS

草創期からの劇映画、記録映画、文化映画、アニメーション映画の音楽の変遷に、当時現役で活躍中だった音楽家たちの豊富な証言と緻密な論考で迫る。監督の演出術にも及ぶ映画音楽評論・史論。『キネマ旬報』連載を単行本化。

2021:2./ 16p,635p

978-4-86647-107-5

本体 ¥6,380〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



マンガ超ひも理論をパパに習ってみた～天才物理学者・浪速阪教授の 70 分講義～

橋本 幸士、門田 英子 著

大阪大学出版会

平凡な女子高生・美咲のパパは、なんと超ひも理論が専門の天才物理学者。嬉々として最先端の素粒子物理学を語りだすパパに、美咲は初めはヘキエキするが…。超ひも理論をマンガで解説する。

2016.12./ 173p

978-4-87259-562-8

本体 ¥1,320〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08



干す～日本の天日干しをめぐる～

西村 豊 著

光村推古書院

稲を干し、柿を干し、大根を干す。ホタルイカや鮭など海の幸も干す。富士山の頂上近く、山小屋では干された布団が太陽を浴びている…。日本に残る「干す」風景。先人の知恵がつまった天日干しの風景が心にしみる写真集。

2021.3./ 127p

978-4-8381-0610-3

本体 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08、産経新聞 2021/05/23、毎日新聞 2021/05/29



ネオウイルス学(集英社新書 1059)

河岡 義裕 編

望月 智弘／渡辺 登喜子／岩見 真吾／大場 靖子／川口 寧／佐藤 佳／澤 洋文／鈴木 信弘／高橋 英樹／朝長 啓造／中川 草／長崎 慶三／西浦 博／野田 岳志／古瀬 祐気／堀江 真行／牧野 晶子／松浦 善治／松野 啓太／村田 和義 著

集英社

新型コロナのパンデミックとその先を見据える学問の新領域で、今どんな研究が進んでいるのか？ ウイルスと生命、その共生と進化の未来を専門家 20 名が平易に解説する。

2021.3./ 315p

978-4-08-721159-7

本体 ¥1,034〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08、日本経済新聞 2021/05/08



関西酒場のろろ日記(ele-king books)

スズキ ナオ 著

日販アイ・ピー・エス

「ようある店」こそが素晴らしい！ いつも少し緊張する西成あたりの酒、生活感まる出しの京都を味わって飲む酒…。大阪に移住して 6 年の著者が、大阪、京都、そして神戸と飲み歩き、関西の奥深い酒文化をそろりそろりと探る。

2020.9./ 229p

978-4-909483-72-0

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08、毎日新聞 2021/05/08



グローバル・ヒストリー～批判的歴史叙述のために～

ゼバスティアン・コンラート 著

岩波書店

グローバル化する世界の中で、歴史はどのように語られうるのか。グローバリゼーションがもたらす様々な問題や弊害に向き合い、乗り越えるための方法論、実践としての可能性を、気鋭の歴史家が描き出す。

2021.1./ 8p,253p,41p

978-4-00-022644-8

本体 ¥3,190〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08、毎日新聞 2021/05/15



物理学者のすごい思考法(インターナショナル新書 067)

橋本 幸士 著

集英社インターナショナル

通勤ルート、ギョーザの適切な作り方…。超ひも理論を研究する理論物理学者は、日常生活でも「異次元の視点」でものを考え…。ユーモア溢れる筆致で物理学の本質に迫る科学エッセイ。『小説すばる』ほか掲載を加筆し新書化。

2021:2./ 221p

978-4-7976-8067-6

本体 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2021/05/08、毎日新聞 2021/05/29



読書と日本人(岩波新書 新赤版 1626)

津野 海太郎 著

岩波書店

「読書」という行為はいつ頃生まれたのだろうか?これから人も本を読み続けるのだろうか?書き手・読み手・編集者として<読書の黄金時代>を駆け抜けてきた著者が、読書の過去・現在・未来を読みとく。

2016:10./ 4p,272p,5p

978-4-00-431626-8

本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2021/05/15



未来サイジョー<1> 流転立志編(BEAM COMIX)

いましろ たかし 著

KADOKAWA

突如、激動騒然の2020年から、50年前の大阪にタイムスリップしてしまった元漫画家アシスタント西条浩志(50歳)。ツテ無し無一文の彼の前に現れたのは、肉屋でバイトをしながらプロ漫画家を夢見ている稀代のお人好し北川ススム(20歳)! 二人を待つ未来とは!? 決死のサバイバルが今始まる!! 鬼才・いましろたかしのSFタイムスリップサスペンス最新作!! 全3巻、同時発売! ●いましろたかし ビームコミックス好評既刊●『曇天三茶生活 我、かく闘えり』『ハード・コア 平成地獄ブラザーズ』全4巻 原作:狩撫麻礼『釣れんボーイ』上・下巻『新釣れんボーイ』『永遠のケツ』『ぼけまん』『原発幻魔大戦』『原発幻魔大戦 首相官邸前デモ編』『原発幻魔大戦 日本発狂編』『引き潮』『いましろたかし傑作短編集』『盆堀さん』『ラララ劇場』『タコポン』上・下巻 原作:狩撫麻礼『ぼくトンちゃん』●コミックビーム 公式ツイッター●@COMIC_BEAM

2021:4./ 206p

978-4-04-736604-6

本体 ¥814〔税込〕



朝日新聞 2021/05/15



最後の文人石川淳の世界(集英社新書 1063)

田中 優子、小林 ふみ子、帆 莉 基生、山口 俊雄、鈴木 貞美 著

集英社

古今東西の書物世界を軽快な「精神の運動」で往還し、多くの知識人が戦時体制になびいた時代にも知的自由を体現した石川淳。5人の識者の解説を通じ、その世界を紹介する。2019年開催のシンポジウムをもとに書籍化。

2021:4./ 265p

978-4-08-721163-4

本体 ¥968〔税込〕



朝日新聞 2021/05/15



戻ってきた娘

ドナテッラ・ディ・ピエトラントニオ 著

小学館

中流家庭の一人娘として育った13歳の「わたし」は、突然貧しい実の家族のもとに返された。父親と兄たちの暴力が絶えない家の中で、「戻ってきた娘」が唯一感情を分かち合えたのは、奔放な妹のアドリアーナだった。

2021:3./ 237p

978-4-09-356722-0

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/05/15



新編銀河鉄道の夜 改版(新潮文庫 み-2-5)

宮沢 賢治 著
新潮社

貧しく孤独な少年ジョバンニが、親友カムパネルラと銀河鉄道に乗って美しく哀しい夜空の旅をする表題作や、「よだかの星」「オツベルと象」など、全 14 編を収録。賢治童話の豊饒な醍醐味をあますところなく披露する。

2012:4./ 423p
978-4-10-109205-8
本体 ¥473〔税込〕



朝日新聞 2021/05/15



最後の読書

津野 海太郎 著
新潮社

80 代になると、本の読み方味わい方は深くなる。筋金入りの読書家が、老いてこそわかった読書の醍醐味を綴る。「蔵書との別れ」「いつしか傘寿の読書日記」など 17 編を収録。『Web でも考える人』連載を単行本化。

2018:11./ 262p
978-4-10-318533-8
本体 ¥2,090〔税込〕



朝日新聞 2021/05/15



どうしても頑張れない人たち～ケーキの切れない非行少年たち 2～(新潮新書 903)

宮口 幸治 著
新潮社

「どうしても頑張れない人たち」は一定数存在している。彼らはサボっているわけではない。頑張りがわからず、苦しんでいるのだ。困っている人たちを適切な支援につなげるための知識とメソッドを、児童精神科医が説く。

2021:4./ 186p
978-4-10-610903-4
本体 ¥792〔税込〕



朝日新聞 2021/05/15



舊楽話

徳川 頼貞 著
中央公論新社

紀州徳川家第 16 代当主で、莫大な音楽資料のコレクション「南葵音楽文庫」で知られる徳川頼貞。明治・大正・昭和にわたり世界の著名音楽家との交流を回顧した自叙伝。1941 年に 50 部のみ頒布された幻の私家版を復刻。

2021:3./ 382p
978-4-12-005419-8
本体 ¥3,300〔税込〕



朝日新聞 2021/05/15



白樺の樹の下で(文春文庫 あ 64-1)

青山 文平 著
文藝春秋

賄賂まみれの田沼時代から清廉な松平定信の時代に移り始めた頃の江戸。貧乏御家人の村上登は、道場仲間と希望のない鬱屈した日々を過ごしていたが、ある時、一振りの名刀を手にして…。時代ミステリー。

2013:12./ 269p
978-4-16-783891-1
本体 ¥715〔税込〕



朝日新聞 2021/05/15



柘榴パズル(文春文庫 あ 87-1)

彩坂 美月 著
文藝春秋

祖父、母、兄、甘ったれの妹に囲まれ愛情ゆたかな日々を送る 19 歳の美緒。昭和テイストな「山田家」をめぐる謎は意外な展開を見せ…。ある家族のひと夏を描いたミステリー連作短編集。

2021:5./ 324p
978-4-16-791693-0
本体 ¥891〔税込〕



朝日新聞 2021/05/15



修養の思想

西平 直 著

春秋社

「修養」とはいったい何か。修行や稽古や養生とは、どう違うのか。そこに秘められた「生きる英知」とは。日本的東洋的心性のありかを探り、これからの未来を展望する思想論。

朝日新聞 2021/05/15

2020:4./ 15p,197p

978-4-393-31305-3

本体 ¥2,200〔税込〕



養生の思想

西平 直 著

春秋社

「養生」とはなにか。そこに培われた自らの身体と心をいたわる知恵とは。老荘・道教という淵源から、江戸期・貝原益軒の成就を語り、近代・公衆衛生との関係や、現代ホリスティック医学との親縁性をも示す、縦横無尽の養生考。

朝日新聞 2021/05/15

2021:4./ 5p,213p

978-4-393-31306-0

本体 ¥2,200〔税込〕



会計の地図～「お金の流れ」がたった1つの図法でぜんぶわかる～

近藤 哲朗／沖山 誠 著

ダイヤモンド社

自分は、会社にどう貢献しているか。会社は、社会から何を求められているか。自分は、社会に何ができるのか。たった1つの図法を使って、会社のお金の流れ、会社の価値、社会と会計のつながりをわかりやすく解説する。

朝日新聞 2021/05/15

2021:3./ 199p

978-4-478-10557-3

本体 ¥2,420〔税込〕



中国語は楽しい～華語から世界を眺める～(ちくま新書 1563)

新井 一二三 著

筑摩書房

話者が世界各地に分布し、10 億人を超える中国語。中国語で書く作家として活躍する著者が、文法や発音などの基礎とともに、華語として世界に広がるこの言語と文化の魅力をも存分に描く。

朝日新聞 2021/05/15

2021:4./ 253p

978-4-480-07389-1

本体 ¥924〔税込〕



東京骨灰紀行(ちくま文庫 お 8-4)

小沢 信男 著

筑摩書房

震災と大空襲の両国、小伝馬町の牢屋敷跡、小塚原の仕置場跡、築地、谷中、新宿…。東京の地下に累々と埋もれる無数の骨灰をめぐり、忘れられた記憶を掘り起こす鎮魂行。

朝日新聞 2021/05/15

2012:10./ 305p

978-4-480-42989-6

本体 ¥858〔税込〕



人類史上最強ナノ兵器～その誕生から未来まで～

ルイス・A.デルモンテ、黒木 章人 著

原書房

ナノテクノロジーを利用した兵器がもたらす未曾有の戦争とは。元 IBM 開発者が、ナノ兵器開発の歴史から未来予測までを明らかにし、人類がナノ兵器によって滅亡させられないようにするための方策を示す。

朝日新聞 2021/05/15

2017:11./ 253p,8p

978-4-562-05443-5

本体 ¥2,200〔税込〕





シニアバス旅のすすめ～定番コースからワンランク上の大人旅～(平凡社新書 972)

加藤 佳一 著
平凡社

“乗らず嫌い”を克服して新たな旅に出かけよう! その土地のなにげない日常に出合える魅力がある路線バス。観光地をめぐる定番コースから、個室完備の高級バスで行く上質旅まで、シニアも満足のさまざまなバス旅を提案する。

2021.4./ 262p
978-4-582-85972-0
本体 ¥1,012〔税込〕
* 9 7 8 4 5 8 2 8 5 9 7 2 0 *

朝日新聞 2021/05/15



江戸川乱歩大事典

落合教幸／阪本博志／藤井淑禎／渡辺憲司 著
勉誠出版

稀代の推理小説作家、江戸川乱歩を知るための決定版事典。大衆文化という枠組みから乱歩および乱歩作品を統合的に捉え直し、アカデミックな再評価を図る。江戸川乱歩小説作品初出/初刊一覧、年表、作品索引なども掲載。

2021.3./
15p,864p,23p
978-4-585-20080-2
本体 ¥13,200〔税込〕
* 9 7 8 4 5 8 5 2 0 0 8 0 2 *

朝日新聞 2021/05/15



ミステリアム(ハーバーBOOKS M・ク 2・2)

ディーン・クーンツ 著
ハーバーコリンズ・ジャパン

高機能自閉症で言葉を発したことの無い 11 才の少年ウディ。天才ハッカーでもある彼は、父の事故死の真相を密かに探っているが、ある時父が関連する企業の極秘研究所で爆破事故が発生し…。「ウォッチャーズ」を継承する書。

2021.4./ 575p
978-4-596-54152-9
本体 ¥1,300〔税込〕
* 9 7 8 4 5 9 6 5 4 1 5 2 9 *

朝日新聞 2021/05/15



翻訳と文学

佐藤＝ロスベアグ・ナナ 編
みすず書房

古典現代語訳、ジャポニズムの和歌歌曲 Waka-Lieder から、村上春樹、世界文学、アイヌ文学者の自己構築、3・11 後の方言訳啄木詩まで。池澤夏樹、坪井秀人、管啓次郎ら 8 人が、「翻訳と文学」をテーマに論じる。

2021.3./ 258p
978-4-622-08987-2
本体 ¥4,950〔税込〕
* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 9 8 7 2 *

朝日新聞 2021/05/15



逃亡者の社会学～アメリカの都市に生きる黒人たち～

アリス・ゴッフマン 著
亜紀書房

犯罪が日常化した暮らし、巨大な影響を及ぼす司法システム、一筋縄ではない人々の関わり…。フィラデルフィアの貧しい黒人居住地区に分け入り、警察に追われ続ける男性たちと、彼らを支える女性や家族のあり方を明らかにする。

2021.3./ 495p
978-4-7505-1638-7
本体 ¥2,970〔税込〕
* 9 7 8 4 7 5 0 5 1 6 3 8 7 *

朝日新聞 2021/05/15



新型コロナデータで迫るその姿～エビデンスに基づき理解する～(DOJIN 選書 89)

浦島 充佳 著
化学同人

死亡リスクを上げる因子、世界の死亡率格差が大きい理由、ワクチンの有効性、効果が期待される治療薬…。国内外のデータや医学論文を徹底的に分析し、新型コロナの全体像を詳細に描き出す。

2021.3./ 279p
978-4-7598-2063-8
本体 ¥2,310〔税込〕
* 9 7 8 4 7 5 9 8 2 0 6 3 8 *

朝日新聞 2021/05/15



世界からバナナがなくなるまえに～食糧危機に立ち向かう科学者たち～

ロブ・ダン、高橋 洋 著

青土社

人間が生きていく上で欠かすことのできない主食作物が、同時多発的な病原菌や害虫の猛威に襲われたとき、食卓はどうなってしまうのか。大規模なアグリビジネスがもたらした悲劇、作物壊滅の危機に立ち向かう科学者の軌跡をたどる。

朝日新聞 2021/05/15

2017.7./ 393p,3p

978-4-7917-7005-2

本体 ¥3,080〔税込〕



糸繰り女

オノレ・ド・バルザック 著

鳥影社

魔女のような糸繰り名人の老婆と、酷い仕打ちを受ける息子。その彼が、王女と結婚できたのは？ 文豪バルザックによるお伽噺を翻訳。訳者の妻による挿絵も付す。

朝日新聞 2021/05/15

2021.4./ 66p 図版 7

枚

978-4-86265-872-2

本体 ¥1,540〔税込〕



ダンス・イン・ザ・ファーム～周防大島で坊主と農家と他いろいろ～

中村明珍 著

ミシマ社

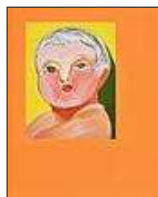
ロックバンドで活動したのち、2013年に山口県周防大島に移住して…。農業をしながら僧侶として暮らす著者が、切実でおかしみあふれる日々を綴る。『みんなのミシマガジン』『ちゃぶ台』連載を加筆修正、再構成し書籍化。

朝日新聞 2021/05/15

2021.3./ 300p

978-4-909394-47-7

本体 ¥2,090〔税込〕



ここにあるしあわせ

近藤 亜樹 著

T&M Projects

生を祝して贈る花、彼方へ眼差しを放つ子供、重なり合う空のコップ…。他者と関わりながらも、個々に明滅する命の姿。2019年冬から2020年春にかけて、近藤亜樹が故郷・札幌にて描いた50作品を収録する。

朝日新聞 2021/05/15

2021.3./ 1冊(ページ

付なし)

978-4-909442-18-5

本体 ¥5,500〔税込〕



知能化戦争～中国軍人が観る「人に優しい」新たな戦争～

片岡 力 編

?宏亮 著

五月書房新社

世界が最も注目するこれからの戦争は人を直接殺戮はしない。しかしその結果がもたらす悲劇は国を崩壊に導く。現役の中国軍人が“人に優しい”新たな戦争「知能化戦争」を理論的に探求し、描写する。

朝日新聞 2021/05/15

2021.3./ 325p

978-4-909542-33-5

本体 ¥3,850〔税込〕



社会を変えた50人の女性アーティストたち

レイチェル・イグノトフスキー 著

創元社

女性が芸術作品を創り出すことが当たり前ではない時代があった。常識や古い価値観にしばられず、自分自身を自由に力強く表現した世界の50人の女性アーティストを、チャーミングなイラストとともに紹介する。

朝日新聞 2021/05/15、産経新聞 2021/05/30

2021.4./ 125p

978-4-422-70143-1

本体 ¥1,980〔税込〕





お笑い世代論〜ドリフから霜降り明星まで〜(光文社新書 1128)

ラリー 遠田 著

光文社

ザ・ドリフターズ、ビートたけし、とんねるず、ナインティナイン、霜降り明星…。芸人を「第一世代」から「第七世代」まで分類し、各世代ごとに2組ずつ代表的な芸人を取り上げ、それぞれ世代ごとの特徴を解説する。

朝日新聞 2021/05/15、読売新聞 2021/05/16

2021:4./ 291p

978-4-334-04535-7

本体 ¥1,012〔税込〕



泳ぐ者

青山 文平 著

新潮社

離縁して3年半経つのに、なぜ女は前夫を刺したのか。徒目付の片岡直人は、調べの末「真相」を確信するが、最悪の事態に。折も折、毎日決まった時刻に大川を泳ぐ男がいるという奇妙な噂が…。『小説新潮』連載を単行本化。

朝日新聞 2021/05/15、読売新聞 2021/05/23

2021:3./ 248p

978-4-10-334234-2

本体 ¥1,760〔税込〕



家は生態系〜あなたは20万種の生き物と暮らしている〜

ロブ・ダン 著

白揚社

玄関は「草原」、冷凍庫は「ツンドラ」、シャワーヘッドは「川」。生態学者が家を調べると、そこには様々な生き物がすみつき、複雑な生態系をつくりあげていた！暮らしや健康に大きな影響を与える一番身近な「自然」の話。

朝日新聞 2021/05/15、読売新聞 2021/05/30

2021:2./ 422p

978-4-8269-0223-6

本体 ¥2,970〔税込〕



AI・兵器・戦争の未来

ルイス・A・デルモンテ 著

東洋経済新報社

戦争において人工知能の役割はこれまで以上に増大する。21世紀の戦場を支配することになる自律型兵器、全能兵器を検討。これらの兵器が生み出す倫理的葛藤と人類への潜在的脅威について論じる。

朝日新聞 2021/05/15、日本経済新聞 2021/05/22

2021:3./

12p,440p,52p

978-4-492-44459-7

本体 ¥3,300〔税込〕



福島原発事故とこころの健康〜実証経済学で探る減災・復興の鍵〜

岩崎敬子 著

日本評論社

「こころの減災」に向けてできることは？東日本大震災と原発事故から10年。福島県双葉町の人々に寄り添い調査してきた著者が、実証分析で災害の影響からこころを守るためのエビデンスを示す。

朝日新聞 2021/05/15、毎日新聞 2021/05/22

2021:3./ 5p,184p

978-4-535-55977-6

本体 ¥3,520〔税込〕



権力分立論の誕生〜ブリテン帝国の『法の精神』受容〜

上村 剛 著

岩波書店

いかにして権力分立論は姿を現したのか。18世紀後半のブリテン帝国における「法の精神」の受容に注目し、モンテスキューからアメリカ合衆国憲法制定時のマディソンらに至る政治思想史を精緻に叙述する。

朝日新聞 2021/05/22

2021:3./ 8p,338p

978-4-00-061460-3

本体 ¥7,260〔税込〕





仕事と人生(講談社現代新書 2610)

西川 善文 著

講談社

「仕事ができる人」「部下がついてくる人」とは? 「剛腕」「不良債権と寝た男」の異名もとった“ラストバンカー”西川善文が、いつの時代も変わらない本物の仕事術について語ったインタビューをまとめる。

朝日新聞 2021/05/22

2021:3./ 185p

978-4-06-521841-9

本体 ¥990〔税込〕



正しい女たち(文春文庫 ち 8-4)

千早 茜 著

文藝春秋

偏見や差別、セックス、結婚、プライド、老い…。みんな本当は興味津々なのに、はつきりとは言葉にしない女性の隠し事。その正しい姿をモチーフに描いた、覗き見したい物語。

朝日新聞 2021/05/22

2021:5./ 216p

978-4-16-791687-9

本体 ¥693〔税込〕



星の時

クラリッセ・リスペクトル 著

河出書房新社

地方からリオのスラム街にやってきた、コーラとホットドッグが好きな天涯孤独のタイプストは、自分が不幸であることを知らなかった。世界的再評価が進む 20 世紀の巨匠による遺作にして最高傑作。

朝日新聞 2021/05/22

2021:3./ 186p

978-4-309-20819-0

本体 ¥2,695〔税込〕



金閣を焼かなければならぬ～林養賢と三島由紀夫～

内海 健 著

河出書房新社

今から 70 年前、「美への嫉妬」とつぶやいた青年僧が、金閣に火を放った。彼に何があったのか。三島由紀夫は、期せずして、その真理を作品の中に描き出した…。狂気に秘められた真相を追究・分析するノンフィクション。

朝日新聞 2021/05/22

2020:6./ 223p

978-4-309-25413-5

本体 ¥2,640〔税込〕



2016 年の週刊文春

柳澤 健 著

光文社

いま、日本で最も恐れられる雑誌『週刊文春』。花田紀凱と新谷学、ふたりの名編集長を軸に、昭和、平成、令和の週刊誌とスクープの現場を描く、痛快無比のノンフィクション。『小説宝石』連載を加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2021/05/22

2020:12./ 525p

978-4-334-95214-3

本体 ¥2,530〔税込〕



鬼才～伝説の編集人齋藤十一～

森 功 著

幻冬舎

『週刊新潮』『フォーカス』等を創刊。雑誌ジャーナリズムの生みの親にして、太宰治、松本清張ら大作家に畏怖された新潮社の天皇。稀代の天才編集者・齋藤十一の足跡を追う。『サンデー毎日』連載に加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2021/05/22

2021:1./ 323p

978-4-344-03728-1

本体 ¥1,980〔税込〕





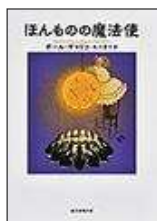
中国戦線、ある日本人兵士の日記～1937 年 8 月?1939 年 8 月侵略と加害の日常～

小林太郎 著
新日本出版社

1937(昭和 12)年 8 月から 1939(昭和 14)年 8 月まで、日中戦争の現場で書かれ、帰還後まとめた記述を復刻し、歴史学的に検証する解説を添える。手書きの地図や、当時の貴重な写真も掲載。

2021.2./ 313p
978-4-406-06298-5
本体 ¥3,960〔税込〕
* 9 7 8 4 4 0 6 0 6 2 9 8 5 *

朝日新聞 2021/05/22



ほんものの魔法使(創元推理文庫 F キ 3-2)

ポール・ギャリコ 著
東京創元社

魔術師、時に奇術師や手品師とも呼ばれる人々が住まう都市で、魔術師を志す少女ジェインの前に現れた、ふしぎな青年アダムとものいう犬モプシー。彼が見せてくれたのは“ほんものの魔法”だった。色褪せぬファンタジイの名作。

2021.5./ 301p
978-4-488-56002-7
本体 ¥968〔税込〕
* 9 7 8 4 4 8 8 5 6 0 0 2 7 *

朝日新聞 2021/05/22



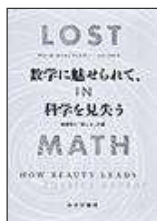
人生のピース(双葉文庫 あ-54-04)

朝比奈 あすか 著
双葉社

中高女子校で過ごした潤子、みさ緒、礼香。礼香が見合い結婚することになり、潤子は焦り、結婚相談所に入会。みさ緒もダメ男と手を切ってマンションを買おうとし…。婚活を通して浮かびあがる 30 代女子のリアルを描く。

2021.5./ 357p
978-4-575-52466-6
本体 ¥814〔税込〕
* 9 7 8 4 5 7 5 5 2 4 6 6 6 *

朝日新聞 2021/05/22



数学に魅せられて、科学を見失う～物理学と「美しさ」の罫～

ザビーネ・ホッセンフェルダー 著
みすず書房

物理学は「数学の美しさのなかで道を見失って」いるのだろうか? 理論評価の「美的基準」をめぐる研究者たちとの対話を通じて、今日の物理学の語られざる困難を浮き彫りにする。

2021.4./ 315p,23p
978-4-622-08981-0
本体 ¥3,740〔税込〕
* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 9 8 1 0 *

朝日新聞 2021/05/22



日本古代の参議制

虎尾 達哉 著
吉川弘文館

日本古代において大臣・納言とともに議政の任に就いた参議については論ずべき点が多い。基礎史料を吟味し多様な論考を批判・検討。王権と古代政治機構の関わりをも視野に入れ、参議制の実像を学界に問う。

1998.3./ 370,6p
978-4-642-02326-9
本体 ¥8,800〔税込〕
* 9 7 8 4 6 4 2 0 2 3 2 6 9 *

朝日新聞 2021/05/22



藤原冬嗣(人物叢書 新装版 通巻 306)

虎尾 達哉 著
吉川弘文館

平安前期の藤原北家の貴族・藤原冬嗣。嵯峨天皇の信任厚く、初代蔵人頭を務め、のちの摂関家興隆の基礎を築く。菓子の変や頻発する自然災害に大きく左右された時代に生きた、非凡な政治家の生涯に迫る。

2020.8./ 18p,284p
978-4-642-05299-3
本体 ¥2,420〔税込〕
* 9 7 8 4 6 4 2 0 5 2 9 9 3 *

朝日新聞 2021/05/22



スピルオーバー～ウイルスはなぜ動物からヒトへ飛び移るのか～

デビッド・クアメン 著

明石書店

ウイルスたちはなぜ、いつ、どこで、いかに種を超え人間へと飛び移り、惨事をもたらしてきたのか。異種間伝播(スピルオーバー)を通じて爆発的に広がった疫病の実態とそれに挑戦する人々の苦闘を現地取材を通して辿る。

2021.3./ 510p

978-4-7503-5154-4

本体 ¥4,180〔税込〕



朝日新聞 2021/05/22



野垂れ死に～ある講談社・雑誌編集者の回想～

元木 昌彦 著

現代書館

1970 年に講談社に入社し、『FRIDAY』『週刊現代』等の編集長を務めた著者が、オウム真理教事件など日本社会を震撼させた大事件を臨場感たっぷりに描くと共に、名物記者たちの活躍を活写。テキストデータ請求券付き。

2020.4./ 263p

978-4-7684-5878-5

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/05/22



朝倉喬司芸能論集成～芸能の原郷漂泊の幻郷～

朝倉喬司芸能論集成 編集委員会 編

朝倉 喬司 著

現代書館

没後 10 年、今なお根強いファンをもつルポライター・朝倉喬司の作品の中から、「バナちゃんの唄」など芸能にまつわる論考をピックアップ。歌手の三波春夫らとの芸能をめぐる座談会や、神谷一義らによる追悼エッセイも収録。

2021.4./ 964p

978-4-7684-5891-4

本体 ¥13,200〔税込〕



朝日新聞 2021/05/22



開戦前夜の日中学術交流～民国北京の大学人と日本人留学生～(九州大学人文学叢書 19)

稲森 雅子 著

九州大学出版会

日中戦争の開戦前夜、政治経済の喧騒から隔絶された北京に日本人の若手研究家たちが留学し、さまざまな形で学術交流を行った。北京留学日記を手がかりに、互いを信頼し、共に学術研究に邁進した人々の姿を追う。

2021.4./ 358p,8p

978-4-7985-0304-2

本体 ¥5,940〔税込〕



朝日新聞 2021/05/22



エボラの正体～死のウイルスの謎を追う～

デビッド・クアメン、山本 光伸 著

日経BP社

2014 年に西アフリカ 3 カ国を襲ったエボラウイルス病のアウトブレイク。エボラについて現在までにわかっていること、研究の余地がある点、危険極まりないウイルスを抑制しようとしている人々の努力などを伝える。

2015.1./ 205p

978-4-8222-5075-1

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/05/22



古代日本の官僚～天皇に仕えた怠惰な面々～(中公新書 2636)

虎尾 達哉 著

中央公論新社

朝廷の重要な儀式すら無断欠席し、日常の職務をしばしば放棄した下級官僚。なぜ政府は寛大な措置に徹したのか。飛鳥・奈良時代から平安時代にかけて、下級官僚たちの勤務実態を検証し、古代国家の知られざる実像に迫る。

2021:3./ 5p,234p

978-4-12-102636-1

本体 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2021/05/22、日本経済新聞 2021/05/29



戦士の休息

落合 博満 著

岩波書店

三船敏郎からジブリ作品、「チキ・チキ・バン・バン」「アベンジャーズ」まで、超一流の野球人・落合博満が古今東西の映画を語り尽くす。山田洋次監督との特別対談も収録。『熱風』連載をもとに単行本化。

2013:8./ 8p,244p

978-4-00-025912-5

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



戦士の食卓

落合 博満 著

岩波書店

選手として三冠王を三度達成、監督として四度のリーグ優勝。偉大な記録を支えた愛妻・信子夫人の証言とともに、落合流「食の哲学」を初めて明かす。スタジオジブリ『熱風』連載を加筆修正し単行本化。

2021:4./ 9p,196p

978-4-00-061464-1

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



江戸の災害～オランダ商館長が見た～(講談社現代新書 2556)

フレデリック・クレインズ 著

講談社

明暦の大火、元禄地震、雲仙・普賢岳の噴火…。江戸時代の人びとは災害をいかに生き抜いたのか。歴代のオランダ商館長の克明な記録をもとに、災害列島を生きる日本人の姿に迫る。磯田道史による本文解説付き。

2019:12./ 289p

978-4-06-518179-9

本体 ¥1,056〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



新・水滸後伝<上>(講談社文庫 た 56-47)

田中 芳樹 著

講談社

方臘征伐のあと、散り散りとなった梁山泊の好漢たち。不思議な縁に導かれ、再結集した面々は、悪を懲らしめ弱きを助け、理想に向かってひた走る。「水滸伝」の後日を描いた中華歴史伝奇。

2021:3./ 355p

978-4-06-522753-4

本体 ¥814〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



新・水滸後伝<下>(講談社文庫 た 56-48)

田中 芳樹 著

講談社

北からは金軍、西からは謎の術師・薩頭陀。強大な敵と対峙する梁山泊の好漢たちが、新たな仲間とともにたどり着く新天地とは? 「水滸伝」の後日を描いた中華歴史伝奇。

2021:3./ 363p

978-4-06-522754-1

本体 ¥814〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29

**ポーの一族 復刻版(フラワーコミックス)**

萩尾 望都 著

小学館

少女まんが史上に燦然と輝く歴史的超名作 青い霧に閉ざされたバラ咲く村にバンパネラの一族が住んでいる。血とバラのエッセンス、そして愛する人間をひそかに仲間に加えながら、彼らは永遠の時を生きるのだ。その一族にエドガーとメリーベルという兄妹がいた。19 世紀のある日、2 人はアランという名の少年に出会う…。時を超えて語り継がれるバンパネラたちの美しき伝説。少女まんが史上に燦然と輝く歴史的超名作を当時の装丁で復刻しました。第1巻は「ポーの一族」「ポーの村」「グレンスミス日記」「すきとおった銀の髪」を収録。【編集担当からのおすすめ情報】今読んでまったく古さを感じない、歴史的超名作です。もう何度も読み返して本がすり切れてしまったというファンの方もそして今まで読んでことがなかった…という方も、ぜひ今、お手に取ってみてください。ときめきの源流がここにあります！！

朝日新聞 2021/05/29

2016:5./ 192p

978-4-09-138400-3

本体 ¥471〔税込〕



2016:5./ 192p

978-4-09-138409-6

本体 ¥471〔税込〕



2016:5./ 192p

978-4-09-138410-2

本体 ¥471〔税込〕



2016:5./ 192p

978-4-09-138414-0

本体 ¥471〔税込〕

**11 人いる!~萩尾望都スペースワンダー~ 復刻版**

萩尾 望都 著

小学館

萩尾望都デビュー50 周年を記念し、1983 年のアニメ映画化を機に発行された名作 SF「11 人いる!」のムック本を復刻。カラーページは初出時同様、カラー刷りで掲載。ふろくの A4 サイズ綴じこみポスターも収録。

朝日新聞 2021/05/29

2019:3./ 289p

978-4-09-179285-3

本体 ¥1,870〔税込〕

**サキの忘れ物**

津村 記久子 著

新潮社

ある日、千春はアルバイト先の喫茶店で客が忘れていった一冊の本を手にする。それは千春がはじめて読み通した本となり…。たやすくない日々宿る僥倖のような、まなざしあたたかな短篇 9 編を収録。『文藝』ほか掲載を書籍化。

朝日新聞 2021/05/29

2020:6./ 216p

978-4-10-331982-5

本体 ¥1,540〔税込〕

**神を統べる者<3> 上宮聖徳法王誕生篇(中公文庫 あ 93-3)**

荒山 徹 著

中央公論新社

生きながら流転輪廻を経験し、仏陀に覚醒した厩戸御子。帰国を決意した矢先、仏教の急進的一派に誘拐されてしまう。一方、倭国では、敏達天皇が崩御。御子の父・用明天皇が即位し…。歴史伝奇巨篇、完結。

朝日新聞 2021/05/29

2021:4./ 517p

978-4-12-207055-4

本体 ¥1,012〔税込〕

**豊臣探偵奇譚(ハヤカワ文庫 JA 1486)**

獅子宮 敏彦 著

早川書房

豊臣秀吉の弟・大和大納言の養子として、13 歳で当主となった豊臣秀保。権力から距離をおき、書物で魔物の奇譚等に親しむ秀保だが、本当の怪異が襲い来て…。散楽芸人の少女・日魅火に護られながら、秀保は怪異を解き明かす!

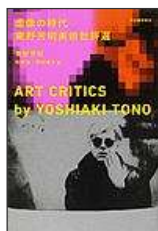
朝日新聞 2021/05/29

2021:5./ 413p

978-4-15-031486-6

本体 ¥1,012〔税込〕





虚像の時代～東野芳明美術批評選～

東野 芳明、伊村 靖子 編

東野 芳明 著

河出書房新社

ネオ・ダダ、ポップアート、デザイン、建築、マクレーハン、そして大阪万博へ…。日本のアートシーンを大躍進させた批評家・東野芳明の美術・文化批評をまとめる。

2013:4./ 349p

978-4-309-27399-0

本体 ¥3,850〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



コロナの憲法学

大林 啓吾 編

弘文堂

コロナ禍がもたらす「憲法問題」とは。各国の緊急事態宣言や新型コロナ対策の比較憲法的検討に加え、人権や統治領域への影響を考察する。ウェブサイト『弘文堂スクエア』連載に加筆し書籍化。

2021:3./ 7p,281p

978-4-335-35871-5

本体 ¥3,080〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



采配

落合 博満 著

ダイヤモンド社

邪念を振り払い、今この一瞬に最善を尽くす。監督の采配とは、ひと言で言えば、そういうものだと思う。落合博満が勝利を引き寄せる 66 の言葉を紹介。8 年間、中日ドラゴンズの監督として生きた思いをありのままに明かす。

2011:11./ 300p

978-4-478-01626-8

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



明智光秀と細川ガラシャ～戦国を生きた父娘の虚像と実像～(筑摩選書 0187)

井上 章一、郭 南燕、呉座 勇一 著

筑摩書房

織田信長を裏切った武将・明智光秀と、キリスト教に改宗し、人質になることを拒絶して死に追い込まれた悲劇のヒロイン・細川ガラシャ。欧州のキリスト教事情や近代日本でイメージが変容した過程などから、父娘の実像に迫る。

2020:3./ 278p

978-4-480-01695-9

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



ルポ入管～絶望の外国人収容施設～(ちくま新書 1521)

平野 雄吾 著

筑摩書房

医療放置、自殺、餓死…いったい、入管施設で何が起きているのか。2019 年に出入国在留管理庁へと格上げされ、ますます大きな権力を振るう「入管」の知られざる実態に迫る。共同通信配信記事をもとに書籍化。

2020:10./ 314p

978-4-480-07346-4

本体 ¥1,034〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



不法移民はいつ<不法>でなくなるのか～滞在時間から滞在権へ～

ジョセフ・カレンズ、横濱 竜也 著

白水社

5 年滞在すれば不法でなくなる？ 世界的権威による現実主義的移民論。移民にアプローチするための読書案内、アメリカ移民法史年表とともに、井上彰、谷口功一、横濱竜也による座談会「危機の時代の移民論」も収録。

2017:9./ 219p,5p

978-4-560-09581-2

本体 ¥3,080〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



おしゃべりな人見知り(syunkon 日記)

山本ゆり 著

扶桑社

小さい幸せをいちいち?みしめ、できるだけおもしろがって過ごしたい。何気ない日常の出来事を綴ったエッセイ集。簡単おいしいレシピ付き。ブログ掲載に書き下ろしエッセイを加えて書籍化。

朝日新聞 2021/05/29

2021:3./ 333p

978-4-594-08792-0

本体 ¥1,540〔税込〕



教養としての日本地理

浅井 建爾 著

エクスナレッジ

意外と知らない日本の国土、複雑な日本の地形、行政区分の変遷と都市の移り変わり、文化と伝統、文化財などの各項目を、見開き2ページで構成。日本地理の基本的な知識を地図やデータを多用しながら解説する。

朝日新聞 2021/05/29

2021:5./ 175p

978-4-7678-2876-3

本体 ¥1,650〔税込〕



統治新論～民主主義のマネジメント～(at プラス叢書 09)

大竹 弘二、國分 功一郎 著

太田出版

国家といかにつきあうか。主権を超えていく統治、主権概念の起源とその問題、立憲主義と民主主義再考などをテーマに、近代主権国家とその統治のあり方を、歴史および思想史の観点から語り合う。

朝日新聞 2021/05/29

2015:1./ 268p

978-4-7783-1426-2

本体 ¥1,980〔税込〕



追放と抵抗のポリティクス～戦後日本の境界と非正規移民～

高谷 幸 著

ナカニシヤ出版

非正規移民とは誰か。彼・彼女らを合法/不法に分割するものは何か。非正規移民をめぐる追放と抵抗のポリティクスを描き出し、戦後日本における主権の境界作用の論理と効果を明らかにする。

朝日新聞 2021/05/29

2017:2./ 5p,264p

978-4-7795-1155-4

本体 ¥3,850〔税込〕



国境を越える～滞日ムスリム移民の社会学～

樋口 直人／稲葉 奈々子／丹野 清人／福田 友子／岡井 宏文 著

青弓社

外国人労働者たちは日本に来て滞在し、ある者は定住して、ある者は帰国する中でどのような経験をしているのか。滞日ムスリム移民の活力ある実態・現実を、来日から帰国後まで明らかにしたフィールドワークの成果。

朝日新聞 2021/05/29

2007:10./ 278p

978-4-7872-3278-6

本体 ¥2,200〔税込〕



蝶が来る庭～バタフライガーデンのすすめ～

海野 和男 著

草思社

バタフライガーデンはイギリス由来のナチュラルガーデンで、自然を生かし、吸蜜源植物や食草を植えて蝶や昆虫を呼ぶように作られた庭のこと。花の種類ごとにどんな蝶が集まるかを、美しい写真とともに解説します。

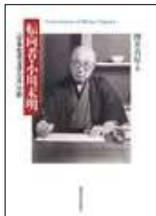
朝日新聞 2021/05/29

2021:4./ 143p

978-4-7942-2509-2

本体 ¥2,750〔税込〕





転向者・小川未明〜「日本児童文学の父」の影〜

増井 真琴 著

北海道大学出版会

「日本児童文学の父」と称される小川未明。その童話以外の文業を積極的に論の対象に据えることで、明治・大正・昭和という三代を生きた文人の、埋もれた横顔を照射する。生誕から晩年に至る、未明の写真も数多く掲載。

2020:12./

8p,447p,30p

978-4-8329-6864-6

本体 ¥8,800〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



虚像培養芸術論〜アートとテレビジョンの想像力〜

松井 茂 著

フィルムアート社

東野芳明・磯崎新・今野勉の思考を軸にマスメディアの中の芸術家像を検証。現代美術、現代思想、現代メディア論を縦横無尽に横断し、マスメディアの想像力を分母に、現代を逆照射する戦後日本芸術論。

2021:3./ 309p

978-4-8459-2030-3

本体 ¥3,850〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



飼育員さんのすごいこたえ

淡路ファームパーク イングランドの丘 著

ワニブックス

一番飛ぶのが速い虫は？ 動物って虫菌になる？ コウモリは血を吸わないの？ 兵庫県にあるテーマパーク「淡路ファームパークイングランドの丘」に寄せられた、あらゆる生き物の質問に飼育員さんがきちんと答えます。

2021:5./ 159p

978-4-8470-7052-5

本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



教室における政治的中立性〜論争問題を扱うために〜

ダイアナ・E・ヘス／渡部 竜也／岩崎 圭祐 著

春風社

様々な立場が含まれざるをえない主張を扱い議論するための方法や構想を、学校教育の実証研究を挙げて具体的に分析。多様な見解から生じる価値対立の捉え方、公教育と民主社会の関係を再考する。

2021:3./ 340p,4p

978-4-86110-718-4

本体 ¥4,950〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



セゾン・サンカンシオン

前川 ほまれ 著

ポプラ社

アルコール依存症の母親をもつ柳岡千明は、退院後の母親が入所する施設「セゾン・サンカンシオン」へ見学に行く。そこは、生きづらさを抱える女性たちが前を向くための場所だった。人間の孤独と再生を描いた作品。

2021:4./ 362p

978-4-591-17000-7

本体 ¥2,090〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



お話のたきぎをあつめる人〜魔法の図書館の物語〜

ローレンティン妃&パウル・ヴァン・ローン 著

徳間書店

だれもないお城の不思議な図書館では、無数のお話が読んでもらうのを待っている。オランダの人気作家とローレンティン妃がつむぎだした、本を読むことの楽しさをめぐるファンタジー。

2021:4./ 126p

978-4-19-865284-5

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/05/29



あら、そんなの!

高橋和枝 著

偕成社

初めて人間の誕生日パーティーに招待されたのらねこのプー。仲よしのたまみさんにパーティードレスを作ってもらい、歌のプレゼントをしようと歌詞を自分で作りました。だけど、当日の朝、緊張でお腹が痛くなってしまい...

朝日新聞 2021/05/29

2021.5./ 32p

978-4-03-350100-0

本体 ¥1,320〔税込〕



海のアトリエ

堀川 理万子 著

偕成社

おばあちゃんの部屋に飾ってある女の子の絵。「この子はだれ?」と聞いてみると、おばあちゃんは、子どものころの特別な思い出を話してくれて...。海が見えるアトリエで、絵描きさんと過ごしたたいせつな1週間を描いた絵本。

朝日新聞 2021/05/29

2021.5./ 32p

978-4-03-435160-4

本体 ¥1,540〔税込〕



究極の俳句(中公選書 118)

高柳 克弘 著

中央公論新社

俳人とは、疑りぶかい言葉の化学者。俳諧を芸術へと高めた芭蕉以降の数々の名句を味わいながら、その根底にはつねに、常識への批評精神にもとづく新しい価値の創造があったことを明らかにする。創見に満ちた俳句論。

朝日新聞 2021/05/30

2021.5./ 206p

978-4-12-110118-1

本体 ¥1,760〔税込〕



純情〜梶原一騎正伝〜

小島 一志 著

新潮社

超人気マンガ原作者はなぜ転落していったのか? 昭和58年に傷害等の容疑で逮捕された梶原一騎。当時の取調べ担当刑事らに徹底取材し、新事実を提示。警察と報道によって作られたイメージを根底から覆す。

東京・中日新聞 2021/05/02

2021.2./ 285p

978-4-10-301455-3

本体 ¥1,760〔税込〕



富岳 世界4冠スパコンが日本を救う〜圧倒的1位に輝いた国産技術の神髄〜

日経クロステック編集 著

日経BP社

スーパーコンピューター富岳は日本の技術で世界一に立った。そしてその技術のベースになったのが先代のスーパーコンピューター「京」だった。事業仕分けから富岳に至るまでの日本と世界のスパコン開発競争を振り返る。

東京・中日新聞 2021/05/02

2021.3./ 183p

978-4-296-10898-5

本体 ¥1,980〔税込〕



つまらない住宅地のすべての家

津村記久子 著

双葉社

静かに並ぶ住宅地の家々。ある出来事をきっかけに、それぞれの家の、それぞれの事情が見えてきて...。日々いろいろな思いを抱えて暮らす人々を、たくみな構成と描写で浮き彫りにした長編小説。『小説推理』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2021/05/02

2021.3./ 238p

978-4-575-24385-7

本体 ¥1,760〔税込〕





阿佐田哲也はこう読め!

北上 次郎 著
田畑書店

エンターテインメント小説の世界に「麻雀小説」という新たな分野を開拓した阿佐田哲也。「麻雀放浪記」「ドサ健ばくち地獄」などの全作品を徹底的に論じ、その神髄に迫る。競馬小説にも触れる。

東京・中日新聞 2021/05/02

2021.3./ 204p
978-4-8038-0382-2
本体 ¥1,540〔税込〕
* 9 7 8 4 8 0 3 8 0 3 8 2 2 *



師弟〜棋士たち魂の伝承〜(光文社文庫 11-1)

野澤 亘伸 著
光文社

観る将、やる将へ-この世界はどこまでも人間臭い! 都成竜馬と師匠・谷川浩司、藤井聡太と師匠・杉本昌隆ら全6組の師弟を完全取材。棋士が育つ過程を「師弟」の視点から描く。羽生善治永世七冠のインタビューも収録。

東京・中日新聞 2021/05/08

2021.2./ 303p
978-4-334-79157-5
本体 ¥748〔税込〕
* 9 7 8 4 3 3 4 7 9 1 5 7 5 *



文春の流儀

木俣 正剛 著
中央公論新社

向き合った事件・スキャンダルから芥川賞や昭和史の裏側、そして社を去った経緯まで。『週刊文春』『文藝春秋』での成功と失敗から学んだ仕事の流儀を綴る。『東京新聞』『ダイヤモンド・オンライン』連載に加筆し書籍化。

東京・中日新聞 2021/05/09

2021.3./ 270p
978-4-12-005410-5
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 0 0 5 4 1 0 5 *



初詣で(照降町四季 1)

佐伯 泰英 著
文藝春秋

男と駆け落ちした鼻緒屋の娘・佳乃が3年ぶりに照降町に戻ってきた。父は病に伏し、店には職人見習いの浪人・周五郎が。町の人びとの人情に触れ、女職人として腕を磨く決意をした佳乃の前に元亭主が現れ…。文庫も同時刊行。

東京・中日新聞 2021/05/09

2021.4./ 263p
978-4-16-391356-8
本体 ¥2,420〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 3 5 6 8 *



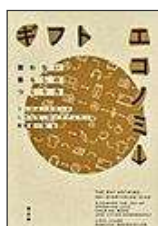
初詣で〜照降町四季(1)〜(文春文庫 さ 63-201)

佐伯 泰英 著
文藝春秋

男と駆け落ちした鼻緒屋の娘・佳乃が3年ぶりに照降町に戻ってきた。父は病に伏し、店には職人見習いの浪人・周五郎が。町の人びとの人情に触れ、女職人として腕を磨く決意をした佳乃の前に元亭主が現れ…。単行本も同時刊行。

東京・中日新聞 2021/05/09

2021.4./ 325p
978-4-16-791669-5
本体 ¥825〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 7 9 1 6 6 9 5 *



ギフトエコノミー〜買わない暮らしのつくり方〜

リーズル・クラーク/レベッカ・ロックフェラー 著
青土社

「買わない暮らし」とは、要らなくなったものをゆずりあい、すっきり、心おだやかに過ごすこと。ギフトエコノミー(=贈与経済)をテーマに、「買わない暮らし」の具体的な方法を伝える。

東京・中日新聞 2021/05/09

2021.2./ 279p
978-4-7917-7343-5
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 7 9 1 7 7 3 4 3 5 *



「暮し」のファシズム～戦争は「新しい生活様式」の顔をしてやってきた～ (筑摩選書 0208)

大塚 英志 著
筑摩書房

「ていねいなくらし」「着こなし」「町内会」などは、実は戦時下のことばであった。現在私たちが享受する「当たり前の日常」の起源を問い、政治の生活への介入があらさまになった「with コロナ」の暮らしを見つめ直す。

2021.3./ 341p
978-4-480-01725-3
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 784480 017253 *

東京・中日新聞 2021/05/09、日本経済新聞 2021/05/15



これでおいしい

篠田 桃紅 著
講談社

人間は死ぬまで一生迷路に入っているんです。迷いと、自ずから何とかなるだろうという楽観的な考え方がいつもやり合っている。107 歳、世界的美術家が遺した「人生のことば」をまとめる。

2021.3./ 255p
978-4-06-517717-4
本体 ¥1,540〔税込〕
* 9 784065 177174 *

東京・中日新聞 2021/05/16



二十面相に死す

辻 真先 著
光文社

昭和 21 年春。二十面相の暗躍はやむことがなく、明智探偵と小林少年の偽者まで現れたという。神出鬼没の二十面相を、明智は追い詰めることができるのか？そして「小林少年の偽者」の正体は!?

2021.3./ 275p
978-4-334-91390-8
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 784334 913908 *

東京・中日新聞 2021/05/16



リニア中央新幹線をめぐって～原発事故とコロナ・パンデミックから見直す～

山本義隆 著
みすず書房

既得権益と前世紀的な成長への醒めない夢が、時代錯誤の巨大プロジェクトの温床となっている。福島原発事故/コロナ禍以後の社会の持続可能性の観点から、リニア新幹線計画の不合理と、それが体現する国策の非道を指摘する。

2021.4./ 177p,8p
978-4-622-08996-4
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 784622 089964 *

東京・中日新聞 2021/05/16



「平成」の天皇と現代史

渡辺治 著
旬報社

右派・伝統派が批判し、「リベラル」派が礼賛した平成天皇の「旅」と「おことば」は、憲法に定める「象徴としての務め」だったのか。政治と天皇の關係に焦点をあてて 30 年間に振り返り、天皇制度のあるべき将来を展望する。

2021.4./ 333p
978-4-8451-1689-8
本体 ¥2,420〔税込〕
* 9 784845 116898 *

東京・中日新聞 2021/05/16



出版と権力～講談社と野間家の一一〇年～

魚住 昭 著
講談社

日本の出版の草創期にも転換期にも、彼らの姿があった…。未公開資料を駆使し、近代出版 150 年を彩る多彩な人物群像のなかに、野間家の人びとを位置づけて描く。講談社ウェブサイト『現代ビジネス』連載を改稿し単行本化。

2021.2./ 669p
978-4-06-512938-8
本体 ¥3,850〔税込〕
* 9 784065 129388 *

東京・中日新聞 2021/05/23



東京パンデミック～写真がとらえた都市盛衰～(早稲田新書 005)

山岸 剛 著

早稲田大学出版部

メント・モリか、それともカルペ・ディエムか…。気鋭の写真家が、コロナ禍で撮影したモノクロ写真とともに、「自然の摂理」を問う。ウイルスがあぶり出した「都市」と「人間」の病理に迫るフォトエッセー。

東京・中日新聞 2021/05/23

2021.4./ 198p

978-4-657-21007-4

本体 ¥990〔税込〕



ドキュメンタリー撮影問答～対話から見えてくる映像制作の深層～

辻 智彦 著

玄光社

ドキュメンタリーを撮影するとはどういうことか。映像カメラマン・山崎裕、俳優・満島ひかり、写真家・井賀孝ら、表現ジャンルの世界で可能性を追求している 11 人と語り合う。『ビデオサロン』連載を元に書籍化。

東京・中日新聞 2021/05/23

2021.4./ 287p

978-4-7683-1479-1

本体 ¥1,980〔税込〕



幕張少年マサイ族

椎名 誠 著

東京新聞出版部

シーナ少年が「草原」を飛び回ったあの頃。椎名誠が千葉に越してきた 5 歳ごろから少年時代までの印象的な出来事を記した自伝エッセイ。『東京新聞』連載に加筆修正し単行本化。

東京・中日新聞 2021/05/23

2021.5./ 242p

978-4-8083-1057-8

本体 ¥1,540〔税込〕



大人は知らない今ない仕事図鑑 100

上村 彰子／「今ない仕事」取材班 著

講談社

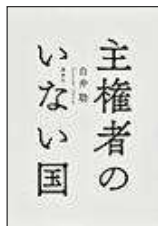
新型コロナウイルスの脅威は、これまでの私たちの生活や考え方に変化を迫っている。変わっていく社会から考えた「今ない仕事」を紹介する。仕事インタビューも収録。書き込み欄、コピーして使う「自分発見 9 マスシート」付き。

東京・中日新聞 2021/05/29

2020.8./ 175p

978-4-06-518972-6

本体 ¥1,485〔税込〕



主権者のいない国

白井 聡 著

講談社

絶望的な構図を変えて、生きるに値する社会をつくるために。「統治の崩壊」と言うべき段階にまで陥った日本の政治、そしてそれを必然化した日本社会について、折々に発表した分析・考察をまとめる。

東京・中日新聞 2021/05/30

2021.3./ 317p

978-4-06-521686-6

本体 ¥1,870〔税込〕



塀の中の残念なおとな図鑑

美達大和 著

主婦の友社

なぜ罪を犯したのか、繰り返す犯罪するのはなぜか。無期懲役エキの著者が刑務所の中で残念なおとなたち=こりないチョーエキと濃い対話を繰り広げ、残念ポイントを描き出す。WEB 掲載を加筆修正し書籍化。

東京・中日新聞 2021/05/30

2021.3./ 287p

978-4-07-446049-6

本体 ¥1,650〔税込〕





よみがえる白鳳の美～国宝薬師寺東塔解体大修理全記録～

加藤朝胤／鈴木嘉吉 著

朝日新聞出版

12年に及ぶ大修理事業が完遂し、建築当初の姿を取り戻した国宝薬師寺東塔。建築史、年代学、美術史、考古学、歴史材料学、伝統建築保存に携わる専門家らが解体修理の過程で見出した、貴重な知見をわかりやすく説く。

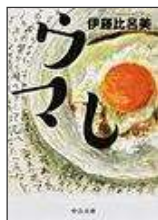
2021.2./ 148p

978-4-02-258706-0

本体 ¥2,970〔税込〕



読売新聞 2021/05/02



ウマシ(中公文庫 い 110-5)

伊藤 比呂美 著

中央公論新社

熊本で、老いた父と呑み込む生卵。カリフォルニアで、娘とつづくパンケーキ。東京で、やっと出会えたあの鰻重…。満身創痍で東奔西走する詩人の、エネルギーな食エッセイ。加筆し文庫化。

2021.3./ 219p

978-4-12-207041-7

本体 ¥748〔税込〕



読売新聞 2021/05/02



階層樹海

椎名 誠 著

文藝春秋

あらゆる生物が樹海でしか生きられなくなった、とある未来の終末惑星。巨大生物にさらわれた少年スオウの目の前に、航空機に乗った謎の男が現れて…。『文藝界』連載に加筆し単行本化。

2021.2./ 228p

978-4-16-391333-9

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/05/02



早魃世界(創元 SF 文庫 SF ハ 2-18)

J・G・バラード 著

東京創元社

各地で文明社会を崩壊させつつある世界的な早魃。人々が水を求めて海を目指す中、医師ランサムはハウスボートの船上で、破滅までの残された時間を緩慢と生き続け…。<破滅三部作>の一端をなす「燃える世界」の完全版。

2021.3./ 348p

978-4-488-62919-9

本体 ¥1,188〔税込〕



読売新聞 2021/05/02



北アイルランドを目撃する

佐藤亨 著

水声社

1994年の停戦、98年のベルファスト合意、そしてブレグジット…。北アイルランドの人びとの平穏な暮らし、暮らしのなかの紛争を、ミューラル(壁絵)の変遷をとおして追い続けた著者が活写する。カラー写真も多数収録。

2020.12./ 188p

978-4-8010-0530-3

本体 ¥3,300〔税込〕



読売新聞 2021/05/02



ぼく モグラ キツネ 馬

チャーリー・マッケギー 著

飛鳥新社

じぶんにやさしくすることが、いちばんのやさしさなんだ。やさしくされるのをまつじやなくて、じぶんにやさしくなればいいのさ。子どもから大人まで、だれの心にも入り込み、力をくれる人生寓話をイラストとともに綴る。

2020.12./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-86410-758-7

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/05/02



地球星人(新潮文庫 む-17-3)

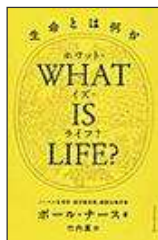
村田 沙耶香 著
新潮社

田舎の親戚の家を訪れた 34 歳の奈月は、いとこの由宇に再会する。小学生の頃、自らを魔法少女と宇宙人だと信じていた 2 人は秘密の恋人同士だった。だが大人になった由宇は「地球星人」の常識に洗脳されかけていて...

2021:4./ 323p
978-4-10-125713-6
本体 ¥693〔税込〕



読売新聞 2021/05/02、朝日新聞 2021/05/08



WHAT IS LIFE?～生命とは何か～

ポール・ナース 著
ダイヤモンド社

ノーベル生理学・医学賞を受賞した細胞生物学者ポール・ナースが、「生命とは何か」という人類の永遠の疑問に、現代生物学の知見を踏まえて答える。近代科学 400 年の集大成とも言える、新しい生命論。

2021:3./ 269p
978-4-478-11107-9
本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/05/02、朝日新聞 2021/05/15



完治～HIV に勝利した二人のベルリン患者の物語～

ナターリア・ホルト、矢野 真千子 著
岩波書店

たった 2 人の症例が医学の道筋を大きく変えた。HIV が完治した 2 人の男性の、感染から完治にいたる経緯と、その症例からどのように突破口が開かれ、新たな治療法につながる研究が進展してきたかを描くドキュメンタリー。

2015:2./
21p,270p,26p
978-4-00-006320-3
本体 ¥2,970〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



時代を撃つノンフィクション 100(岩波新書 新赤版 1873)

佐高 信 著
岩波書店

ノンフィクションは社会を見つめる眼を養い、いま私たちはどのような時代にいるのか、状況への問いかけを発する精神を鍛えてくれる。古典的名著から 2010 年代の作品まで、時代を撃ち続ける 100 冊を厳選したブックガイド。

2021:3./ 11p,209p,5p
978-4-00-431873-6
本体 ¥902〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



葉書でドナルド・エヴァンズに(講談社文芸文庫 ひ K1)

平出 隆 著
講談社

「死後の友人」を自任する日本の詩人は、夭折の切手画家ドナルド・エヴァンズに宛てて 2 年 11 カ月にわたり葉書を書き続けた。ドナルド・エヴァンズの生涯と作品に込められた思いを共振する言葉で綴った書簡体エッセイ。

2021:4./ 204p
978-4-06-522001-6
本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



論語～孔子の言葉はいかにつくられたか～(講談社選書メチエ 743)

渡邊 義浩 著
講談社

東アジア最大の古典「論語」。鄭玄、何晏から朱子までの儒家、江戸の伊藤仁斎、荻生徂徠にはあるべき聖賢の思想をいかに追い求めたか。「論語」テキストの系譜を、ひとつの思想史として描き出す。

2021:2./ 305p
978-4-06-522379-6
本体 ¥2,090〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



ネメシス<1>(講談社タイガ イ D-01)

今村 昌弘 著

講談社

探偵事務所ネメシスに、大富豪の邸宅に届いた脅迫状の調査依頼が舞い込む。現地を訪れた探偵の風真たちが目にしたのは、謎の暗号と密室殺人、そして…。同名の連続テレビドラマの脚本協力として、著者が書き下ろした小説。

2021.3./ 247p

978-4-06-522825-8

本体 ¥759〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



鳴かずのカッコウ～An Offbeat Spy Novel～

手嶋 龍一 著

小学館

ヒトなし、カネなし、武器もなし！ 最小で弱小の情報機関・公安調査庁に迷いこんだマンガ大好きオタク青年が、国際諜報戦争で大金星!? 脱力系インテリジェンス小説。『STORY BOX』連載を加筆修正し単行本化。

2021.3./ 303p

978-4-09-386603-3

本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



ブート・バザールの少年探偵(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 487-1)

ディーパ・アーナパーラ 著

早川書房

インドのスラムに住む9歳の少年ジャイ。ある日クラスメイトが行方不明になるが、学校の先生は深刻にとらえず、警察も捜査に乗り出さない。そこでジャイは友だちと共に探偵団を結成し…。インド社会の闇を描く。

2021.4./ 543p

978-4-15-184551-2

本体 ¥1,408〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



沢村栄治～裏切られたエース～(文春新書 1300)

太田 俊明 著

文藝春秋

親族の巨額の借金、三度の徴兵、そして巨人からの非情な解雇…。プロ野球投手最高の栄誉のひとつ、「沢村賞」に名を残す沢村栄治について、自身も六大学野球で活躍した著者が描く。

2021.2./ 277p

978-4-16-661300-7

本体 ¥1,155〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



かようびのよる

かようびのよる

デヴィッド・ウィーズナー、当麻 ゆか 著

徳間書店

その晩、あたりが暗くなると、なにかが起こる…。豊かなイメージのイラストレーションで描く、コールデコット賞・絵本につぼん賞特別賞受賞作。1992年に福武書店から刊行されたものを再刊。

2000.5./ 1冊

978-4-19-861191-0

本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



セミ

ショーン・タン、岸本 佐知子 著

河出書房新社

人間と一緒に会社で働くセミ。誰からも認められず昇進もせず、それでも17年間コツコツと働いてきたが、定年を迎え、仕事も家もお金もないセミは、ビルの屋上へ行き…。静かで過激な大人向け絵本。

2019.5./ 1冊(ページ

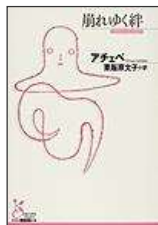
付なし)

978-4-309-29019-5

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



崩れゆく絆(光文社古典新訳文庫 KA ア 1-1)

アチェベ、栗飯原 文子 著

光文社

古くからの呪術や慣習が根づく大地で、黙々と畑を耕し、獐猛に戦い、一代で名声と財産を築いた男オコンクウォ。しかし彼の誇りと、村の人々の生活を蝕み始めたのは、新しい宗教の形で忍び寄る欧州の植民地支配だった…。

2013.12./ 361p

978-4-334-75282-8

本体 ¥1,232〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



なまえのないねこ

小峰書店

商店街で暮らす1匹きの野良猫は、八百屋や書店、パン屋などの猫が持つ「名前」に憧れている。お寺の猫に「自分で名前をつけられ」と言われ、名前を探すことに。野良猫が見つけた「ほんとうに欲しかったもの」とは？

2019.4./ 32p

978-4-338-26133-3

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



バルパライソの長い坂をくだる話

神里 雄大 著

白水社

パラグアイ、アルゼンチン、チリ、ペルー、沖縄、父島…。国境を越えて思考し続ける注目の劇作家が、移民の目と声で紡いだ戯曲三部作を収録する。エッセイ集「いいかげんな訪問者の報告書」も併録。

2018.4./ 193p,3p

978-4-560-09636-9

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



ねこはるすばん

町田 尚子 著

ほるぷ出版

人間が出かけていって、ねこはるすばん。と思いきや、ねこはダンスの奥から、こっそりねこの街にくりだした！カフェに行ったり、ヘアーサロンに行ったり、映画を観たりと、ねこの街を満喫して…。

2020.9./ 32p

978-4-593-10096-5

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



シートン動物記(ヤマケイ文庫)

シートン、白土 三平、岡本 鉄二 著

山と溪谷社

動物文学の傑作「シートン動物記」を、漫画界の巨匠、白土三平が漫画化。「灰色熊の伝記」「フェニボンの山猫」「ウォスカと赤頭の子狼」「スプリングフィールドの狐」「ビリー」の全5話を収録。

2021.1./ 589p

978-4-635-04901-6

本体 ¥1,320〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



大図鑑コードの秘密～世界に隠されたメッセージを読み解く～

ポール・ルンダ 編

明石書店

軍事的暗号、コンピュータの原理、文字の起源、時間や数の概念の表記…。太古の時代から現代まで、私たちがいかにコード化された情報を解読し、生み出し、発展させてきたかを縦横無尽に紹介するオールカラー図鑑。

2021.3./ 285p

978-4-7503-5133-9

本体 ¥4,180〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



ゲーチョコキパーのうた(エルくらぶ)

趙 博 著

解放出版社

子どもたちがじゃんけんをしているよ。グーより強いのはパー、パーより強いのはチョコキ、チョコキより強いのはグー。みんな強くてみんな弱い。グーより弱いのは…。見返しに「ゲーチョコキパーの歌」の楽譜あり。

2021.4./ 32p

978-4-7592-2279-1

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



ロケットガールの誕生～コンピューターになった女性たち～

ナタリア・ホルト、秋山 文野 著

地人書館

宇宙開発の黎明期、ロケットの推力や探査機の軌道を計算し、通信手段を開発し、最初期のコンピューターをプログラムしていた女性コンピューター(計算手)たち。逆境をはねのけ、道を切り開いていった彼女たちの生き様を描く。

2018.6./ 429p 図版

16p

978-4-8052-0923-3

本体 ¥3,850〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



アニメーションの女王たち～ディズニーの世界を変えた女性たちの知られざる物語～

ナサリア・ホルト 著

フィルムアート社

ウォルト・ディズニー・スタジオに所属していた 5 人の女性アーティストをはじめ、女性やアジア系などマイノリティのアーティストが果たした創造的な役割と、歴史から忘れ去られた彼女たちの多大なる貢献の真実を明らかにする。

2021.2./ 425p,29p

978-4-8459-2002-0

本体 ¥2,860〔税込〕



読売新聞 2021/05/09



「低度」外国人材～移民焼き畑国家、日本～

安田 峰俊 著

KADOKAWA

学歴・年収が低く、日本語はろくに喋れず専門知識もない、非熟練労働に従事している「低度」外国人材。3 年に亘り、中国、ベトナム、日本各地を回り、絶対的な弱者でも敵でもない、彼らの生身の姿に迫ったディープリポ。

2021.3./ 260p

978-4-04-106968-4

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/05/09、産経新聞 2021/05/23



尊厳～その歴史と意味～(岩波新書 新赤版 1870)

マイケル・ローゼン 著

岩波書店

なぜ死者を敬うのか。尊厳と義務をめぐる現代の啓蒙書。概念分析の導入として西洋古典の歴史に分け入り、カント哲学やカトリック思想などの規範的な考察の中に、実際に尊厳が問われた独仏の判決等の事実を招き入れる。

2021.3./ 21p,227p,3p

978-4-00-431870-5

本体 ¥924〔税込〕



読売新聞 2021/05/09、日本経済新聞 2021/05/15



もう死んでいる十二人の女たちと(エクス・リプリス)

パク・ソルメ 著

白水社

光州事件、福島第一原発事故、女性殺人事件などの社会問題に、韓国の新鋭作家が独創的な想像力で対峙し、実感のある言葉で紡いだ短篇集。「海満」「私たちは毎日午後」「愛する犬」など、全 8 篇を収録。

2021.3./ 221p

978-4-560-09066-4

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/05/09、日本経済新聞 2021/05/22

**デイジー・ミラー(新潮文庫 シ-5-1)**

ヘンリー・ジェイムズ 著

新潮社

青年は、湖畔の美しい町で運命の美女デイジーと出会い、一目で恋に落ちる。彼女の奔放なふるまいは、保守的で狭量な人々からは嫌われていたが、青年は彼女のあとを追うようにローマへ…。ジェイムズの名声を高めた傑作中編。

2021.4./ 149p

978-4-10-204104-8

本体 ¥506〔税込〕



* 9 7 8 4 1 0 2 0 4 1 0 4 8 *

読売新聞 2021/05/09、毎日新聞 2021/05/15

**分水嶺〜ドキュメントコロナ対策専門家会議〜**

河合 香織 著

岩波書店

新型コロナウイルス対策の指針を示した「専門家会議」では、どんな議論がなされたのか。約5カ月にわたる専門家たちの議論と葛藤を描く。2020年126月の関連事項カレンダーも収録。『世界』連載をもとに書籍化。

2021.4./ 9p,216p,7p

978-4-00-061466-5

本体 ¥1,980〔税込〕



* 9 7 8 4 0 0 0 6 1 4 6 6 5 *

読売新聞 2021/05/16

**星の王子さま 新版(岩波少年文庫 1)**

サン=テグジュペリ 著

岩波書店

サハラ砂漠に不時着した飛行士と、ほんとうのことしか知りたがらない星の王子さまとのふれあいを描いた、永遠の名作。91年刊に次ぐ新版。

2000.6./ 175p

978-4-00-114001-9

本体 ¥704〔税込〕



* 9 7 8 4 0 0 1 1 4 0 0 1 9 *

読売新聞 2021/05/16

**高瀬庄左衛門御留書**

砂原 浩太郎 著

講談社

神山藩で、郡方を務める高瀬庄左衛門。50を前にして妻子を失い、息子の嫁とともに、寂寥と悔恨の中に生きていた。しかし、藩の政争の嵐が庄左衛門を襲い…。人生の苦渋と生きる喜びを丁寧に描く。

2021.1./ 335p

978-4-06-519273-3

本体 ¥1,870〔税込〕



* 9 7 8 4 0 6 5 1 9 2 7 3 3 *

読売新聞 2021/05/16

**おなかがすいたハラペコだ。<2> おかわりもういっぱい(集英社文庫 し 11-56)**

椎名 誠 著

集英社

人が住んでいるところには、必ずその人たちが食べている「食物」がある。ほんとうの「おいしさ」は胸に染みるもの。四季折々の美味から男の発作的創作料理まで、うまいもの尽くしの食べ物エッセイ第2弾。

2021.3./ 178p

978-4-08-744223-6

本体 ¥682〔税込〕



* 9 7 8 4 0 8 7 4 4 2 2 3 6 *

読売新聞 2021/05/16

**8年(集英社文庫)**

堂場 瞬一 著

集英社

読売新聞 2021/05/16

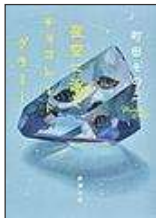
2004.1./ 349p

978-4-08-747658-3

本体 ¥748〔税込〕



* 9 7 8 4 0 8 7 4 7 6 5 8 3 *



夜空に泳ぐチョコレートグラミー(新潮文庫 ま-60-21)

町田 そのこ 著

新潮社

抜けてしまった歯が思い起こさせるのは、一生に一度の恋。もう共には生きられない、あの人のこと。どんな場所でも生きると決めた人々の強さをしなやかに描き出す 5 編の連作短編集。

読売新聞 2021/05/16

2021:4./ 328p

978-4-10-102741-8

本体 ¥693〔税込〕



パクチャーとアジア飯

阿古 真理 著

中央公論新社

「Hanako」「dancyu」など、時代を映しだしてきた雑誌や、アジアを舞台にした映画、小説を読み解き、日本にアジア飯を広めた移民社会と日本人に丹念に取材。日本人を虜にしたパクチャーとアジア飯の魅力の謎に迫る。

読売新聞 2021/05/16

2018:8./ 253p

978-4-12-005105-0

本体 ¥1,760〔税込〕



南葵音楽文庫案内～紀州徳川 400 年～

和歌山県教育委員会 編

中央公論新社

紀州徳川家第 16 代当主・頼貞侯が収集した世界的な音楽資料のコレクション「南葵音楽文庫」を公開。ローマ教会のミサ典書をはじめ、至宝の数々をオールカラーで紹介する。ジャケット裏面にベートーヴェンの自筆楽譜を掲載。

読売新聞 2021/05/16

2021:3./ 95p

978-4-12-005418-1

本体 ¥3,300〔税込〕



雪虫～刑事・鳴沢了～ 新装版(中公文庫 と25-45)

堂場 瞬一 著

中央公論新社

祖父・父を継いで新潟県警捜査一課の刑事となった鳴沢了は、湯沢で刺殺された老女がかつて宗教団体の教祖で、50 年前の殺人事件に関わっていたことを突き止める。だが捜査本部長の父はなぜか了を事件から遠ざけ...

読売新聞 2021/05/16

2020:1./ 546p

978-4-12-206821-6

本体 ¥935〔税込〕



チャリング・クロス街 84 番地 増補版(中公文庫 ハ6-2)

ヘレーン・ハンフ 著

中央公論新社

ロンドンの古書店に勤める男性と、ニューヨーク在住の女性脚本家との 20 年にわたる交流を描いた、心あたたまる書簡集。後日譚「その後」を収録した増補版。

読売新聞 2021/05/16

2021:4./ 241p

978-4-12-207025-7

本体 ¥902〔税込〕



サステナブルファイナンス攻防～理念の追求と市場の覇権～

藤井 良広 著

金融財政事情研究会

サステナビリティの最適解はどこにあるのか。持続可能な社会を築くファイナンスの未来の姿とは。パリ協定以降の 5 年間の、EU を中心としたサステナブルファイナンスの攻防とその背景を明らかにする。

読売新聞 2021/05/16

2021:2./ 13p,280p

978-4-322-13848-1

本体 ¥2,530〔税込〕





神様からひと言(光文社文庫)

萩原 浩 著

光文社

読売新聞 2021/05/16

2005:3./ 449p

978-4-334-73842-6

本体 ¥754〔税込〕



馬疫

茜 灯里 著

光文社

2024 年、欧州での新型コロナ感染拡大を受け、夏季五輪は再び東京で開催されることに。だが五輪提供馬の審査会で、複数の候補馬が馬インフルエンザの症状を示す。ウイルスの正体は「狂騒型」の新型馬インフルエンザで…。

2021:2./ 367p

978-4-334-91387-8

本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/05/16



もう一度楽しむ能

友枝真也／馬場あき子 著

淡交社

能楽シテ方・友枝真也と、歌人・馬場あき子が、「敦盛」「田村」「黒塚(安達原)」など能 35 曲に描かれた者について語る。能の演技の裏話や、「実は」という演者の「ひみつ」などが満載。能楽用語と装束の着方の基本も収録。

2021:3./ 247p

978-4-473-04465-5

本体 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2021/05/16



<図説>人魚の文化史～神話・科学・マーメイド伝説～

ヴォーン・スクリブナー 著

原書房

西洋と東洋の人魚の歴史と互いの影響関係をくわしく解説。人類の文化の周辺には常に人魚の存在があったことを、神話・宗教・科学・資本主義等の多様な角度から検証する。多彩な図版・写真も収録。

2021:2./ 317p

978-4-562-05901-0

本体 ¥3,520〔税込〕



読売新聞 2021/05/16



日本外食全史

阿古 真理 著

亜紀書房

江戸の昔から、日本人の胃袋と心を満たし、人と人のつながりを生み出してきた外食。高級フレンチ、寿司、天ぷらからファミレス、カレー、ラーメン、アジア飯まで、あらゆるジャンルの誕生や流行の変遷を紹介する。

2021:3./ 659p

978-4-7505-1683-7

本体 ¥3,080〔税込〕



読売新聞 2021/05/16



人は簡単には騙されない～?と信用の認知科学～

ヒューゴ・メルシエ 著

青土社

人は本当に騙されやすいのか? 人間の合理性に関する研究の第一人者が、進化生物学と認知科学の知見、ならびに具体的な事例に基づいて「人は簡単には騙されない」ことを明らかにする。

2021:2./ 393p,49p

978-4-7917-7364-0

本体 ¥3,080〔税込〕



読売新聞 2021/05/16



日々翻訳さんげ〜エンタメ翻訳この四十年〜

田口 俊樹 著

本の雑誌社

訳書 200 冊の名翻訳家が、自身の訳書を読み直し、翻訳人生最大の危機からチャン
ドラー新訳での大発見まで、40 年におよぶ翻訳稼業を振り返る。翻訳者ネットワーク
『アメリア』連載を書籍化。

2021:3./ 213p

978-4-86011-455-8

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/05/16



パンデミックは資本主義をどう変えるか〜健康・経済・自由〜

ロベール・ポワイエ 著

藤原書店

医療・教育・文化を中心とした発展様式は出現しつつあるのか？ 国際関係は解体に
向かうのか...？ フランス・レギュレーション理論の騎手が、コロナ・パンデミックの中、未
来の資本主義のあり方を論じる。

2021:2./ 310p

978-4-86578-302-5

本体 ¥3,300〔税込〕



読売新聞 2021/05/16



デヴィッド・ボウイ〜無を歌った男〜

田中 純 著

岩波書店

異星人、救世主、亡霊...。ロックとロックならざるものの境界を、変幻するスタイルでラ
ディカルに問いつづけたデヴィッド・ボウイ。彼の軌跡に一貫した「作家性」を認め、作
品批評を通して、ひとつの美学・思想として読み解く。

2021:2./

21p,570p,54p

978-4-00-024061-1

本体 ¥5,390〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



ぼくらの七日間戦争 改版(角川文庫 そ 3-1)

宗田 理 著

KADOKAWA

明日から夏休みというある日のこと。東京下町にある中学校の 1 年 2 組の男子生徒が
全員、姿を消した。彼らは河川敷の工場跡に立てこもり、そこを解放区として、体面ば
かりを気にする教師や親、大人たちへの“叛乱”を起こした！

2014:6./ 381p

978-4-04-101334-2

本体 ¥704〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



校閲ガール(角川文庫 み 44-1)

宮木 あや子 著

KADOKAWA

ファッション誌の編集者を夢見ていたが、校閲部に配属された、文芸書が苦手な悦
子。担当する原稿や周囲ではたびたび、ちょっとした事件が...!読んでスッキリ元気に
なる、ワーキングガールズエンタメ。

2016:8./ 233p

978-4-04-104220-5

本体 ¥616〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



クラスメイツ<前期>(角川文庫 も 16-11)

森 絵都 著

KADOKAWA

中学生になったら、変わりたいって、思ってたんだ。1 年 A 組 24 人のクラスメイトたち
それぞれを主人公に、1 年間を通して変化していく関係や、積みかさなる思いを描く、
中学生群像ストーリー。

2018:6./ 221p

978-4-04-106747-5

本体 ¥616〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



クラスメイツ<後期>(角川文庫 も 16-12)

森 絵都 著

KADOKAWA

わたしの人生のピークは 12 歳だったのだ。1 年 A 組 24 人のクラスメイトたちそれぞれを主人公に、1 年間を通して変化していく関係や、つみかさなる思いを描く、中学生群像ストーリー。

2018/6./ 244p

978-4-04-106782-6

本体 ¥616〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



時をかける少女 新装版(角川文庫)

筒井 康隆／角川書店装丁室 著

角川書店

放課後の実験室、壊れた試験管の液体からただよう甘い香り。このにおいを、わたしは知っている——思春期の少女が体験した不思議な世界と、あまく切ない想いを描く。時をこえて愛され続ける、永遠の物語！

2006/5./ 238p

978-4-04-130521-8

本体 ¥484〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



死者の学園祭 改版(角川文庫)

赤川 次郎 著

角川書店

M学園の女子高生3人が、立ち入り禁止の教室を探検した後、次々と死んでいった。真相を突き止めようと探る真知子に忍び寄る恐怖の影！ 17 歳の名探偵が活躍するサスペンス・ミステリ。

2009/11./ 265p

978-4-04-387014-1

本体 ¥616〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



バッテリー(角川つばさ文庫)

あさの あつこ 著

角川書店

中学入学直前に出会った巧と豪。豪は巧とバッテリーを組みたいと望むが…。誇り高き天才ピッチャーと、心を通わせようとするキャッチャー。既刊の漢字にふりがなをふり、一部を書きかえてよみやすくしたもの。

2010/6./ 265p

978-4-04-631100-9

本体 ¥770〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



幕が上がる(講談社文庫 ひ 45-2)

平田 オリザ 著

講談社

地方の高校演劇部を指導することになった教師が部員たちに全国大会を意識させる。高い目標を得た部員たちは恋や勉強よりも演劇ひとすじの日々に…。心を揺さぶる、文化系青春小説。2015 年 2 月公開の同名映画の原作。

2014/12./ 353p

978-4-06-293001-7

本体 ¥759〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



桐島、部活やめるってよ(集英社文庫 あ 69-1)

朝井 リョウ 著

集英社

バレー部のキャプテン桐島が、突然部活をやめた。それがきっかけで、同じ高校に通う 5 人の生活に、小さな波紋が広がり…。野球部、バレー部、映画部といった部活をキーワードに、至るところでリンクする 5 人の物語。

2012/4./ 245p

978-4-08-746817-5

本体 ¥616〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



ごほうびおひとり鮓 1(ヤングジャンプコミックス)

王嶋 環／早川 光 著
集英社

10 年以上付き合っていた彼氏に突然の別れを告げられた伊崎藍子、31 歳。傷ついた気持ちを浮上させるべく、自分にごほうびをあげようと決意。そこで藍子が偶然出会った贅沢...それは江戸前鮓だった! お鮓屋さんで学ぶことがあることに気づくたび、お鮓の魅力にどんどん惹かれていき.....!?

2017:3./ 144p
978-4-08-890662-1
本体 ¥660〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



白木蓮はきれいに散らない(ビッグコミックススペシャル)

オカヤ イヅミ 著
小学館

私の人生って、このままでいいの? 専業主婦、キャリアウーマンなど、「しんどい現実」を生きた 1963 年生まれの人々の女性をあたかな眼差しで描き出したコミック。『女性セブン』連載を再構成し大幅に加筆・修正。

2021:3./ 230p
978-4-09-179348-5
本体 ¥1,320〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



下町ロケット(小学館文庫 い 39-3)

池井戸 潤 著
小学館

佃航平は宇宙工学研究の道を諦め実家の町工場を継いでいたが、経営はまさに崖っぷち。だが世界最先端の技術で特許出願をしていた佃製作所に、ロケット開発という思わぬ展開が....

2013:12./ 493p
978-4-09-408896-0
本体 ¥792〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



大奥づとめ~よろずおつとめ申し候~(新潮文庫 な-107-1)

永井 紗耶子 著
新潮社

御祐筆、呉服の間、表使...。お手つきにならずとも、栄達の道あり。能力次第で出世することは可能。色恋はそっちのけで、大奥に“就職”した女たちの情熱と苦楽を描く連作時代短編集。

2021:5./ 334p
978-4-10-102881-1
本体 ¥693〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



この世にたやすい仕事はない(新潮文庫 つ-34-2)

津村 記久子 著
新潮社

隠しカメラを使った小説家の監視、巡回バスのニッチなアナウンス原稿づくり...。社会という宇宙で心震わすマニアックな仕事を巡りつつ自分の居場所を探す、共感と感動のお仕事小説。

2018:12./ 424p
978-4-10-120142-9
本体 ¥781〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



夜のピクニック(新潮文庫)

恩田 陸 著
新潮社

高校生活最後を飾るイベント「歩行祭」。それは全校生徒が夜を徹して80キロ歩き通すという、北高の伝統行事だった。甲田貴子は密かな誓いを胸に抱いて、歩行祭にのぞんだ。三年間、誰にも言えなかった秘密を清算するために?。学校生活の思い出や卒業後の夢など語らいつつ、親友たちと歩きながらも、貴子だけは、小さな賭けに胸を焦がしていた。本屋大賞を受賞した永遠の青春小説。

2006/9./ 455p
978-4-10-123417-5
本体 ¥825〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



文明の庫～近代日本比較文化史研究～<1> 静止から運動へ

芳賀 徹 著
中央公論新社

平賀源内、杉田玄白、司馬江漢…。徳川日本の知的戦士たちによって時代は静かに目覚め始める。比較文学・比較文化の泰斗、芳賀徹による近代日本比較文化史研究の集大成。「十八世紀後半における西欧世界と日本」などを収録。

2021/2./ 426p
978-4-12-005390-0
本体 ¥3,850〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



文明の庫～近代日本比較文化史研究～<2> 夷狄の国へ 全2巻完結

芳賀 徹 著
中央公論新社

福沢諭吉、栗本鋤雲、岩倉使節団…。比類なき進取の精神が日本を世界の舞台に躍り出させた。比較文学・比較文化の泰斗、芳賀徹による近代日本比較文化史研究の集大成。「西園寺公望とフランス文化」などを収録。

2021/2./ 483p
978-4-12-005391-7
本体 ¥3,960〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



ていだん(中公文庫 こ61-1)

小林 聡美 著
中央公論新社

3人で語ろう。俳優・小林聡美が会いたかった作家、俳優、ミュージシャン、絵本作家、料理人、漁師…。36人の多彩なゲストと語り尽くしたスペシャルな鼎談集。

2021/3./ 332p
978-4-12-207044-8
本体 ¥814〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



クライマーズ・ハイ(文春文庫)

横山 秀夫 著
文芸春秋

85年、御巣鷹山の日航機事故で運命を翻弄された地元新聞記者らの濃密な一週間。会社や親子など人間関係を鋭く描いた新境地作品

2006/6./ 471
978-4-16-765903-5
本体 ¥836〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



苦汁 200%〜ストロング〜(文春文庫 お76-3)

尾崎 世界観 著
文芸春秋

これ以上書いたって情けなくなるだけだ。ここまで書いたらもう手遅れだけだ。クリープハイプ・尾崎世界観の自意識過剰な日々を描く赤裸々日記、第2弾。芥川賞にノミネートされ情熱大陸に密着される日々を綴った日記も収録。

2021/5./ 313p
978-4-16-791695-4
本体 ¥803〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



本日は、お日柄もよく(徳間文庫 は 36-1)

原田 マハ 著

徳間書店

二ノ宮こと葉は、製菓会社に勤める 27 歳の OL。ある日、結婚披露宴で、伝説のスピーチライター・久遠久美の素晴らしい祝辞に出会い感動したこと葉は、久美に弟子入りすることに...

2013/6/ 381p

978-4-19-893706-5

本体 ¥712〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



とんでもない死に方の科学(河出文庫 キ 5-1)

コーディー・キャンディー、ポール・ドハティアー 著

河出書房新社

旅客機に乗っていて窓が割れたら? ハチの大群に襲われたら? 雷に打たれたら? クジラに飲みこまれたら? そのとき人はどう死ぬのか、45 の「死に方のシナリオ」を科学で読み解く、不謹慎で真面目な思考実験。

2021/3/ 315p

978-4-309-46731-3

本体 ¥979〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



舟を編む(光文社文庫 み 24-2)

三浦 しをん 著

光文社

辞書編集部に異動した馬締は「大渡海」の編纂を始める。個性的すぎる仲間たち、問題山積みの編集部、ままたぬ恋...。愛すべき変人たちが恋に仕事に右往左往。「大渡海」は編み上がるのか? 「馬締の恋文」も全文収録。

2015/3/ 347p

978-4-334-76880-5

本体 ¥682〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



沖縄戦の戦争遺品

豊里 友行 著

新日本出版社

懐中時計、戦時中のメガネ、塊になった錆びた貨幣...。沖縄で 60 年以上遺骨収集してきた国吉勇さんに 8 年余り同行取材した著者による写真集。沖縄戦の遺品をカラーで収録し、国吉さんの活動も紹介する。

2021/4/ 93p

978-4-406-06561-0

本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



タクジョ!

小野寺 史宜 著

実業之日本社

東京都江東区内の営業所に配属された新卒のタクシードライバー・高間夏子、23 歳。個性あふれる先輩や同期、そして家族に励まされながら、仕事に、恋に、全力で走り回る姿を温かく爽快な筆致で描きだす。

2020/8/ 293p

978-4-408-53765-8

本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



放課後はミステリーとともに(実業之日本社文庫 ひ 4-1)

東川 篤哉 著

実業之日本社

校舎から消えた泥棒、クラスメートと毒入り珈琲一族との関わり、校外学習の UFO 騒動...。鯉ヶ窪学園高等部の放課後は謎の事件でいっぱい! 探偵部副部長・霧ヶ峰涼は解決へ意気込むが?

2013/10/ 363p

978-4-408-55146-3

本体 ¥680〔税込〕



読売新聞 2021/05/23



書店ガール(PHP 文芸文庫 あ 3-1)

碧野 圭 著

PHP研究所

27歳の書店員・亜紀は、結婚して幸せいっぱい、仕事でもユニークな企画を次々打ち出している。しかし、40歳の副店長・理子とは、ことごとく衝突続き。その理子が店長に昇進した直後、半年後に店が閉鎖されることになり...

読売新聞 2021/05/23

2012:3./ 397p

978-4-569-67815-3

本体 ¥754〔税込〕



告白(双葉文庫)

湊 かなえ 著

双葉社

読売新聞 2021/05/23

2010:4./ 317p

978-4-575-51344-8

本体 ¥680〔税込〕



発達障害のおはなし〜他の子と違うのはなんでだろう?〜<1> 自閉症スペクトラムのおはなし

原 佐知子 編

平凡社

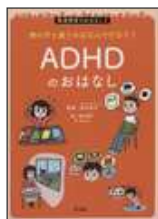
知識があれば、日常生活を送ることは怖くなくなる。自閉症スペクトラムの特徴があるとどんな場面で困るのか、また、どう工夫したら困らなくてすむかなどを、マンガを交えてわかりやすく説明する。大人向けの解説ページあり。

読売新聞 2021/05/23

2021:3./ 63p

978-4-582-51291-5

本体 ¥2,530〔税込〕



発達障害のおはなし〜他の子と違うのはなんでだろう?〜<2> ADHDのおはなし

原 佐知子 編

平凡社

知識があれば、日常生活を送ることは怖くなくなる。ADHDの特徴があるとどんな場面で困るのか、また、どう工夫したら困らなくてすむかなどを、マンガを交えてわかりやすく説明する。大人向けの解説ページあり。

読売新聞 2021/05/23

2021:3./ 63p

978-4-582-51292-2

本体 ¥2,530〔税込〕



発達障害のおはなし〜他の子と違うのはなんでだろう?〜<3> 学習障害のおはなし

原 佐知子 編

平凡社

知識があれば、日常生活を送ることは怖くなくなる。学習障害の特徴があるとどんな場面で困るのか、また、どう工夫したら困らなくてすむかなどを、マンガを交えてわかりやすく説明する。大人向けの解説ページあり。

読売新聞 2021/05/23

2021:3./ 63p

978-4-582-51293-9

本体 ¥2,530〔税込〕



お探し物は図書室まで

青山 美智子 著

ポプラ社

悩める人々が立ち寄った小さな図書室。不愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない選書と可愛い付録で人生を後押ししてくれて...。明日への活力が満ちてくる、書き下ろしハートウォーミング小説。

読売新聞 2021/05/23

2020:11./ 300p

978-4-591-16798-4

本体 ¥1,760〔税込〕





アビ・ヴァールブルク記憶の迷宮

田中 純 著
青土社

図像表現の細部に宿るパトスを一身に受けとめた美術史家アビ・ヴァールブルク。その妄想と錯乱を孕んだ思考のただなかに沸騰する情念の論理を精緻に解説する。

読売新聞 2021/05/23

2011:5./ 398p
978-4-7917-6605-5
本体 ¥3,960〔税込〕



野球の科学～解剖学、力学、統計学でプレーを分析!～(SB ビジュアル新書 0022)

川村 卓 著
SBクリエイティブ

遅いのに打てない球の秘密とは? 送りバントは本当に有効な戦術か? バットの理想的な進入角度がある? 最も得点しやすいのは「無死満塁」ではない? 野球にまつわる疑問に「科学的な見地」で答える。

読売新聞 2021/05/23

2021:3./ 191p
978-4-7973-9269-2
本体 ¥1,100〔税込〕



食と農業未来への選択

松田 純一 著
メディア・パル

世界の社会・経済問題を知ると、日本の食と農業は何をすべきか、その本質が見えてくる! 弁護士・弁理士の著者が、グローバル経済、観光、物流、環境、持続可能性など幅広い観点から日本の食・農業の課題と対応策を提言する。

読売新聞 2021/05/23

2021:3./ 239p
978-4-8021-3241-1
本体 ¥1,540〔税込〕



移り棲む美術～ジャポニスム、コラン、日本近代洋画～

三浦 篤 著
名古屋大学出版会

日本から西洋へ、西洋から日本へと海を越えた芸術の種子はどのように移動・変容・開花したのか。ジャポニスムの多面的展開から近代洋画の創出まで、フランスを中心に一望し、選択的な交雑による新たな芸術史を描きだす。

読売新聞 2021/05/23

2021:2./
8p,460p,100p
978-4-8158-1016-0
本体 ¥6,380〔税込〕



新時代の江戸前鮓がわかる本～訪れるべき本当の名店～

早川光 著
びあ

予算 3 万超え、おまかせのみ、赤酢全盛…。なぜ鮓屋はこの 10 年で変貌したのかを解説し、鮓だねの新常識、新時代の鮓屋選びについて語る。おまかせ 1 万 8 千円以下で食べられる名店も紹介する。

読売新聞 2021/05/23

2021:4./ 199p
978-4-8356-3998-7
本体 ¥1,650〔税込〕



文化交流は人に始まり、人に終わる～私の国際文化会館物語～

加藤 幹雄 著
新聞通信調査会

民間による戦後国際交流の先達として高く評価されてきた国際文化会館。創立後間もない国際文化会館に就職し、一貫して国際的な文化・知的交流の最前線で活躍してきた著者が、自らの「裏方に徹した天職」の足跡を綴る。

読売新聞 2021/05/23

2021:3./ 12p,277p
978-4-907087-18-0
本体 ¥1,980〔税込〕





縁食論～孤食と共食のあいだ～

藤原辰史 著

ミシマ社

世界人口の 9 人に 1 人が飢餓で苦しむ地球、義務教育なのに給食無料化が進まない島国。「あたらしい食のかたち」を、歴史学の立場から探り、描く。孤食でも共食でもない「縁食」をテーマにした文章をまとめる。

読売新聞 2021/05/23

2020.11./ 189p

978-4-909394-43-9

本体 ¥1,870〔税込〕



コンビニ人間(文春文庫 む 16-1)

村田 沙耶香 著

文藝春秋

36 歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは 18 年目。これまで彼氏なし。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってきて、そんなコンビニの生き方は恥ずかしいと突きつけられるが...

読売新聞 2021/05/23、毎日新聞 2021/05/29

2018.9./ 168p

978-4-16-791130-0

本体 ¥638〔税込〕



第七の十字架<上>(岩波文庫 32-473-1)

アンナ・ゼーガース、山下 肇、新村 浩 著

岩波書店

ナチの強制収容所から 7 人の囚人が脱走。全員を磔にすべく、捜索が開始された。年齢も経歴もさまざまな囚人たちは生き延びられるのか? ドイツ抵抗文学の代表作。

読売新聞 2021/05/30

2018.6./ 333p

978-4-00-324731-0

本体 ¥1,012〔税込〕



気候を操作する～温暖化対策の危険な「最終手段」～

杉山 昌広 著

KADOKAWA

欧米を中心に注目を集めている最新技術、気候工学。日本の第一人者が、「大気中から CO2 を直接回収する」「成層圏に微粒子を撒いて太陽光を遮る」など、温暖化対策の“最終手段”の概要・効果・危険性について解説する。

読売新聞 2021/05/30

2021.3./ 239p

978-4-04-400611-2

本体 ¥1,870〔税込〕



風雅と官能の室町歌謡～五感で読む閑吟集～(角川選書 519)

植木 朝子 著

角川学芸出版

「閑吟集」には、当時の人々の人生観を映し出す 311 首が収められている。室町後期、人々は無常の世を悟りながら、あえて官能に身を投げ出した。小歌に表れた感情の動きを「五感」でとらえ、室町歌謡の豊かな世界を描き出す。

読売新聞 2021/05/30

2013.1./ 287p

978-4-04-703519-5

本体 ¥2,200〔税込〕



懐かしい年への手紙(講談社文芸文庫)

大江 健三郎 著

講談社

郷里の村の森を出、都会で作家になった語り手の「僕」。その森に魂のコンミュンを作る「ギ一兄さん」。2 人の“分身”の交流の裡に、「いままで生きてきたこと、書いてきたこと、考えたこと」のおよそ総てを注ぎ込んで“わが人生”の自己検証を試みた壮大なる“自伝”小説。『万延元年のフットボール』『同時代ゲーム』に続きその“祈りと再生”の主題を深め極めた画期的長篇。

読売新聞 2021/05/30

1992.10./ 640p

978-4-06-196196-8

本体 ¥1,870〔税込〕





梁塵秘抄(講談社学術文庫 2440)

西郷 信綱 著

講談社

平安時代末期に後白河法皇によって編纂された、今様と呼ばれる当時の流行歌を集めた歌詞集「梁塵秘抄」。法皇をも虜にしたアウトサイダーたちの歌うたの調べを、稀代の古代文学者が読み解く。

読売新聞 2021/05/30

2017.7./ 266p

978-4-06-292440-5

本体 ¥1,078〔税込〕



桜色の魂～チャスラフスカはなぜ日本人を 50 年も愛したのか～(集英社文庫 お 89-1)

長田 渚左 著

集英社

激動の人生を送った、東京五輪(1964 年)女子体操金メダリスト、ベラ・チャスラフスカ。彼女の傍らには、いつも日本人の姿があった。名花と呼ばれたアスリートと日本との深い絆を描いたノンフィクション。

読売新聞 2021/05/30

2021.4./ 325p

978-4-08-744239-7

本体 ¥748〔税込〕



シリコンパレー最大の捏造スキャンダル全真相～BAD BLOOD～

ジョン・キャリールー 著

集英社

血液 1 滴ですべての病気がわかる。「エンロン」以来、最大の企業不正事件の舞台となった、血液検査ベンチャー「セラノス」。“第二のステイヴ・ジョブズ”ともてはやされた若き CEO の不正隠蔽工作を報道記者が切り崩す。

読売新聞 2021/05/30

2021.2./ 415p

978-4-08-786126-6

本体 ¥2,090〔税込〕



罪を償うということ～自ら獄死を選んだ無期懲役囚の覚悟～(小学館新書 393)

美達 大和 著

小学館

反省しています。多くの凶悪犯罪者がこのように口にするが、その言葉を信じて良いのか。2 件の殺人で服役した無期懲役囚が見た、彼らの本音と素顔、そして知られざる最新の監獄事情を完全ルポ。驚愕の実態を詳らかにする。

読売新聞 2021/05/30

2021.4./ 269p

978-4-09-825393-7

本体 ¥968〔税込〕



吃音～伝えられないもどかしさ～(新潮文庫 こ-71-1)

近藤 雄生 著

新潮社

頭の中に伝えたい言葉ははっきりとあるのに、相手に伝える前に詰まってしまう吃音。自らも悩んだ著者が、当事者をはじめ家族や専門家など 80 人以上に丹念に話を聞き、問題に正面から向き合ったノンフィクション。

読売新聞 2021/05/30

2021.5./ 269p

978-4-10-102761-6

本体 ¥605〔税込〕



辻(新潮文庫 ふ-8-6)

古井 由吉 著

新潮社

父と子。男と女。人は日々の営みのなかで、あるとき辻に差しかかる。日常に漂う性と業の果て、破綻へと至る際で、小説は神話を変奏する。古井文学がたどり着いた、ひとつの極点。濃密にして甘美な 12 の連作短篇。

読売新聞 2021/05/30

2014.6./ 366p

978-4-10-118506-4

本体 ¥649〔税込〕





雪の練習生(新潮文庫 た-106-1)

多和田 葉子 著

新潮社

サーカスの花形から事務職に転身し、やがて自伝を書き始めた「わたし」。サーカスで伝説の芸を成し遂げた娘の「トスカ」。その息子で動物園の人気者となった「クヌート」。ホッキョクグマ3代の物語をユーモラスに描く。

読売新聞 2021/05/30

2013.11./ 328p

978-4-10-125581-1

本体 ¥649〔税込〕



永遠の仮眠

松尾 潔 著

新潮社

音楽プロデューサーの悟は、テレビドラマの主題歌制作に苦戦していた。プロデューサーの多田羅は業界の常識を覆す提案をし…。現役音楽プロデューサーが、ショービジネスの内実、ドラマ主題歌制作に潜む闇を綴った長篇小説。

読売新聞 2021/05/30

2021.2./ 276p

978-4-10-353841-7

本体 ¥1,870〔税込〕



自衛隊最高幹部が語る令和の国防(新潮新書 901)

岩田 清文／武居 智久／尾上 定正／兼原 信克 著

新潮社

令和日本の最も重要な戦略的課題は、中国の封じ込め。自衛隊は国土・国民を守り切れるのか。日米同盟は機能するのか。陸海空の自衛隊から「平成の名将」が集結し、軍人の常識で今ある危機を語り尽くす。

読売新聞 2021/05/30

2021.4./ 271p

978-4-10-610901-0

本体 ¥902〔税込〕



香港・濁水溪 増補版(中公文庫 き 15-17)

邱 永漢 著

中央公論新社

戦後間もない香港で、故郷を捨てた台湾人たちがたくましく生き抜く姿を描いた、外国人初の直木賞受賞作「香港」と、同賞候補作「濁水溪」。著者の青春時代が結晶した代表作に、随筆「私の見た日本の文壇」を増補。

読売新聞 2021/05/30

2021.4./ 359p

978-4-12-207058-5

本体 ¥1,100〔税込〕



わが青春の台湾 わが青春の香港(中公文庫 き 15-18)

邱 永漢 著

中央公論新社

日本統治下の台湾に生まれ、東大に学び、戦後は帰郷して独立運動に参加するも、香港へ亡命…。直木賞作家・邱永漢の波瀾に満ちた半生記であり、激動の東アジア史の貴重な証言。デビュー作「密入国者の手記」も収録。

読売新聞 2021/05/30

2021.5./ 280p

978-4-12-207066-0

本体 ¥990〔税込〕



マンガ日本の古典<7> ワイド版 堤中納言物語

坂田 靖子 著

中央公論新社

「花桜折る少将」「このついで」「虫めづる姫君」「ほどほどの懸想」…。平安びとの円熟したウイットとユーモアをうかがわせる日本最古の短篇物語集「堤中納言物語」を、坂田靖子がマンガで描く。

読売新聞 2021/05/30

2020.9./ 269p

978-4-12-403605-3

本体 ¥1,650〔税込〕





アルカリ色のくも～宮沢賢治の青春短歌を読む～

佐藤 通雅 著

NHK出版

既成の短歌の考えからは、なにかがずれていて、しかも不思議な魅力を持つ宮沢賢治の短歌。内山晶太、尾崎朗子ら現代歌人 9 人が、その心情に寄り添いつつ、賢治短歌を徹底的に鑑賞する。書下ろし解説「賢治短歌の成立」も収載。

読売新聞 2021/05/30

2021:2./ 316p

978-4-14-016280-4

本体 ¥1,760〔税込〕



梁塵秘抄とその周縁～今様と和歌・説話・物語の交流～

植木 朝子 著

三省堂

「梁塵秘抄」に関する論集。今様がどのような時代背景に育ち、他のジャンルの文学とどのように関わっていたかを明らかにする。今後の歌謡研究、和歌、物語研究の可能性を無限に広げた意義ある1冊。

読売新聞 2021/05/30

2001:5./ 342p

978-4-385-35984-7

本体 ¥10,450〔税込〕



女ふたり、暮らしています。

キム・ハナ／ファン・ソヌ 著

CCCメディアハウス

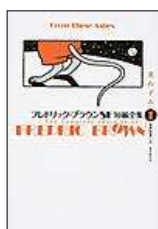
単なるルームメイトでも、恋人同士でもない。一人暮らしに孤独や不安を感じはじめたふたりは、尊敬できて気の合う相手を人生の「パートナー」に選んだ。女ふたりと猫 4 匹の愉快的な生活を綴る。

読売新聞 2021/05/30

2021:3./ 334p

978-4-484-21103-9

本体 ¥1,650〔税込〕



フレドリック・ブラウン SF 短編全集<1> 星ねずみ

フレドリック・ブラウン、安原 和見 著

東京創元社

日本の翻訳 SF の黎明期からショートショートの名手として知られるフレドリック・ブラウンの全 SF 短編を年代順に集成。1 は、「星ねずみ」「天使ミミズ」など初期の傑作 12 編を収録。解題、解説付き。

読売新聞 2021/05/30

2019:7./ 342p

978-4-488-01092-8

本体 ¥3,850〔税込〕



フレドリック・ブラウン SF 短編全集<2> すべての善きベムが

フレドリック・ブラウン、安原 和見 著

東京創元社

日本の翻訳 SF の黎明期からショートショートの名手として知られるフレドリック・ブラウンの全 SF 短編を年代順に集成。2 は、「闘技場」「ノックの音が」「不死鳥への手紙」など全 15 編を収録。解題、解説付き。

読売新聞 2021/05/30

2020:1./ 370p

978-4-488-01093-5

本体 ¥3,850〔税込〕



フレドリック・ブラウン SF 短編全集<3> 最後の火星人

フレドリック・ブラウン 著

東京創元社

日本の翻訳 SF の黎明期からショートショートの名手として知られるフレドリック・ブラウンの全 SF 短編を年代順に集成。3 は、「存在の檻」「最後の火星人」「賭事師」など全 16 編を収録。解題、解説付き。

読売新聞 2021/05/30

2020:7./ 365p

978-4-488-01094-2

本体 ¥3,850〔税込〕





フレドリック・ブラウン SF 短編全集<4> 最初のタイムマシン

フレドリック・ブラウン 著

東京創元社

日本の翻訳 SF の黎明期からショートショートの名手として知られるフレドリック・ブラウンの全 SF 短編を年代順に集成。4 は、「回答」「猫恐怖症」など、ショートショートの名作を含め全 68 編を収録。解題、解説付き。

2021.2./ 357p

978-4-488-01095-9

本体 ¥3,850〔税込〕



読売新聞 2021/05/30



天体観測に魅せられた人々

エミリー・レヴェック 著

原書房

危険を伴った旧時代の天体観測、重力波証明の瞬間に起こったドラマ、すばる望遠鏡や空飛ぶ望遠鏡 SOFIA、次世代望遠鏡 LSST…。天文学者たちのとんでもない実態と、目まぐるしく変化した観測天文学の半世紀を追う。

2021.3./ 322p,2p

978-4-562-05903-4

本体 ¥3,080〔税込〕



読売新聞 2021/05/30



虫たちの日本中世史～『梁塵秘抄』からの風景～(叢書・知を究める 19)

植木 朝子 著

ミネルヴァ書房

さまざまな文学・芸能・信仰などに現れる虫の姿に導かれながらたどる日本中世史。平安時代末の流行歌今様を出発点に、中世の人々と虫の関わりを追いかけ、小さな虫の世界から覗いた中世の風景の豊かな世界を切り取る。

2021.3./ 6p,327p,11p

978-4-623-09058-7

本体 ¥3,300〔税込〕



読売新聞 2021/05/30



男の民俗学大全(ヤマケイ文庫)

遠藤 ケイ 著

山と溪谷社

ハブ捕獲人、トド撃ち、硝子職人、煙突掃除人…。日本各地の市井に生きる職人技や伝統芸の奥義、伝統漁や奇漁・珍漁、そして山に生きる男たち 99 人の姿を、緻密なイラストとともに紹介する。畢生の大作を復刻。

2021.2./ 1005p

978-4-635-04900-9

本体 ¥2,090〔税込〕



読売新聞 2021/05/30



麒麟が小説を読んだら～サバンナからはじめる現代文学 60～

読売新聞文化部「本よみうり堂」編

書肆侃侃房

絲山秋子「袋小路の男」、町田康「夫婦茶碗」、恩田陸「蜜蜂と遠雷」…。現代を理解するうえで役に立つ小説を、作家らが計 60 冊選んで紹介する。『読売新聞』読書面「本よみうり堂」連載を加筆・修正し単行本化。

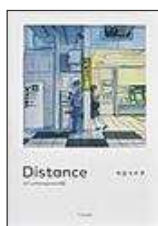
2021.4./ 207p

978-4-86385-458-1

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/05/30



Distance～わたしの#stayhome 日記～

今日 マチ子 著

rn press

漫画家・今日マチ子が鮮やかな色彩で紡いだ、2020 年 4 月から 1 年間のイラスト日記。緊急事態宣言以降、ソーシャルディスタンスが当たり前になっていく人々の様子、街の様子を丁寧に描く。Twitter 等掲載を再編集。

2021.5./ 1 冊(ページ

付なし)

978-4-910422-02-2

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/05/30



ノートルダム～フランスの魂～

アニエス・ポワリエ 著

白水社

2019年4月15日の宵、築850年のノートルダム大聖堂が?に包まれた。フランスの栄光と悲惨、勝利と挫折を目撃し続けた、その比類ない歴史を見つめ、国家の象徴となった道程を辿る。

日本経済新聞 2021/05/01

2021:3./ 221p,19p

978-4-560-09834-9

本体 ¥3,300〔税込〕



三人の女たちの抗えない欲望

リサ・タッデオ 著

早川書房

高校時代に恋愛関係だった教師に裏切られたマギー、夫の望みで夫婦以外を交えた性生活を送るスローン、夫との別居を決意したところで高校時代の恋人に再会したリナ。8年越しの取材で女性のリアルを描いたノンフィクション。

日本経済新聞 2021/05/01、朝日新聞 2021/05/22

2021:3./ 423p

978-4-15-210008-5

本体 ¥2,640〔税込〕



越えていく人～南米、日系の若者たちをたずねて～

神里 雄大 著

亜紀書房

沖縄からペルーへ移住した先祖を持ち、首都リマで生まれた演出家が、アルゼンチン、ブラジル、ボリビアなどを旅して…。日系移民の子孫たちの言葉から浮かび上がる日本近代史。WEB マガジン『あき地』連載を加筆し単行本化。

日本経済新聞 2021/05/01、読売新聞 2021/05/09

2021:3./ 309p

978-4-7505-1685-1

本体 ¥1,980〔税込〕



文化大革命五十年

辻 康吾 編

楊継縄 著

岩波書店

文化大革命の勝利者は実権派であり、敗北者は毛沢東を崇拝する造反派であった。流血は文革終了後も続き、犠牲者数は公表された数百倍にものぼる。文革を通じて現代中国の真実に迫る。

日本経済新聞 2021/05/08

2019:1./

27p,236p,48p

978-4-00-061307-1

本体 ¥3,190〔税込〕



習近平の中国～百年の夢と現実～(岩波新書 新赤版 1663)

林 望 著

岩波書店

一強体制を盤石にしたように見える習近平指導部。結党・建国100年へ向け、習の目指す先はどこか。政権発足時から現地で取材してきた著者が、外交・内政・党内政治から、その行方を分析する。

日本経済新聞 2021/05/08

2017:5./ 5p,220p,3p

978-4-00-431663-3

本体 ¥902〔税込〕



京大式へんな生き物の授業(朝日新書 808)

神川龍馬 著

朝日新聞出版

光合成をやめて寄生虫になったもの、細胞から武器を発射するもの…。ミクロの世界は、無計画でムダなことばかりするへんなやつらのオンパレード。新進気鋭の生物学者が、単細胞の生き物の織り成す、へんな生き方を紹介する。

日本経済新聞 2021/05/08

2021:3./ 215p

978-4-02-295111-3

本体 ¥869〔税込〕





メッカ～イスラームの都市社会～(講談社学術文庫 2667)

後藤 明 著

講談社

カーバ神殿を擁する巡礼地・メッカ。アラビア半島の灼熱の岩肌に囲まれた名もなき地が、なぜ都市に発展し、世界の<聖地>となったのか。ムスリム知識人が守ってきた伝承“ハディース”から、多角的に考察する。

2021:4./ 221p

978-4-06-522864-7

本体 ¥1,012〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/08



男の子になりたかった女の子になりたかった女の子

松田 青子 著

中央公論新社

コロナ禍で子どもを連れて逃げた母親、つねに真っ赤なアイシャドウをつけて働く中年女性、いつまでも“身を固めない”娘の隠れた才能。私達は、会ったことはなくともつながっている。はりつめた毎日に魔法をかける短編集。

2021:4./ 243p

978-4-12-005427-3

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/08



現代中国の歴史～兩岸三地 100 年のあゆみ～ 第2版

久保 亨／土田 哲夫／高田 幸男／井上 久士／中村 元哉 著

東京大学出版会

中国大陸・台湾・香港。グローバル化時代の今、それぞれの近代から現在までのあゆみを振り返る。現代中国を理解するための通史。最新の世界情勢をふまえ、2000 年以降の章を書き改めた第2版。

2019:9./ 4p,302p

978-4-13-022026-2

本体 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/08



幸福な監視国家・中国(NHK 出版新書 595)

梶谷 懐、高口 康太 著

NHK出版

習近平体制下で、政府・大企業が全人民の個人情報・行動記録を手中に収めているが、その監視社会に中国人のほとんどが不満を抱いていない。それはなぜか。気鋭の経済学者とジャーナリストが中国のいまを多角的に掘り下げる。

2019:8./ 254p

978-4-14-088595-6

本体 ¥935〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/08



毛沢東大躍進秘録

楊 継縄 著

文藝春秋

生産から消費・生活までの公有化をめざした、「大躍進」と呼ばれる壮大なる実験は3600 万人の餓死者を出した。毛沢東はなぜ大失政を犯したのか。新華社元記者が中国各省の秘密公文書館を渉猟し、共産中国最大の悲劇を描く。

2012:3./ 591p

978-4-16-374860-3

本体 ¥3,245〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/08



アフリカ人学長、京都修行中

ウスビ・サコ 著

文藝春秋

「一見さんお断り」はサービス精神の裏返し! 「遠回しなモノ言い」は「よそさん」への気づかい? 「いけずな町」京都に飛び込み、アフリカ系としては初めて日本の大学の学長となった著者が、悪戦苦闘の30年を綴る。

2021:2./ 191p

978-4-16-391136-6

本体 ¥1,540〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/08



非正規公務員のリアル～欺瞞の会計年度任用職員制度～

上林 陽治 著
日本評論社

ハローワークで求職するハローワーク職員、隠蔽された絶望の格差。官製ワーキングプアを一層深める会計年度任用職員制度等、社会を支える不可欠な存在である非正規公務員の深刻な現実を抉り出す。

日本経済新聞 2021/05/08

2021:2./ 294p
978-4-535-55984-4
本体 ¥2,090〔税込〕
* 9 7 8 4 5 3 5 5 9 8 4 4 *



断絶(エクス・リプリス)

リン・マー 著
白水社

中国発の未知の病が世界を襲い、感染者はゾンビ化し、死に至る。無人となったニューヨークから脱出した中国移民のキャンディスは、ある生存者のグループに拾われ、安全な<施設>へと向かうが…。震撼のパンデミック小説。

日本経済新聞 2021/05/08

2021:4./ 348p
978-4-560-09067-1
本体 ¥3,740〔税込〕
* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 0 6 7 1 *



「男らしさ」はつらいよ

ロバート・ウェーブ 著
双葉社

なぜ女性や少数者を見下し、なぜ父を憎みつつ強者に服従し、なぜ他者を攻撃したくなるのか？ 英国の人気コメディアンが、男性中心社会を強固に形づくる「男らしさ」の呪縛について、自身の個人史から考察する。

日本経済新聞 2021/05/08

2021:3./ 476p
978-4-575-31601-8
本体 ¥2,200〔税込〕
* 9 7 8 4 5 7 5 3 1 6 0 1 8 *



ふたつのドイツ国鉄～東西分断と長い戦後の物語～(人文知の復興 2)

ワツ 歩 著
NTT出版

ドイツ国鉄・ライヒスバーンは、第二次世界大戦後の東西ドイツ分断の時代、西ドイツ国鉄と東ドイツ国鉄にわかれ、それぞれの道を歩む。ふたつの大組織の変遷と、鉄道に人生をかけた人々のドラマを克明に描く。

日本経済新聞 2021/05/08

2021:3./ 268p
978-4-7571-4358-6
本体 ¥2,860〔税込〕
* 9 7 8 4 7 5 7 1 4 3 5 8 6 *



中国統治のジレンマ～中央・地方関係の変容と未完の再集権～(慶應義塾大学法学研究会叢書 90)

磯部 靖 著
慶應義塾大学出版会

中国における 1990 年代半ば以降の再集権と、近年推進される「再分権」を検証するとともに、強化される監視体制や、地方での政策を促進するためのインセンティブ・メカニズムを考察。中央・地方関係の構造を明らかにする。

日本経済新聞 2021/05/08

2019:12./ 6p,282p,5p
978-4-7664-2648-9
本体 ¥5,720〔税込〕
* 9 7 8 4 7 6 6 4 2 6 4 8 9 *



「副業」の研究～多様性がもたらす影響と可能性～

川上 淳之 著
慶應義塾大学出版会

ワーキングプアの副業という課題、本業へのスキルアップ効果、非金銭的動機による副業の性格、幸福度や健康との関係…。単なるサイドビジネスの位置づけではなく、経済学的視点からもう一つ仕事を持つ意味を多面的に探求する。

日本経済新聞 2021/05/08

2021:3./ 7p,313p
978-4-7664-2733-2
本体 ¥2,970〔税込〕
* 9 7 8 4 7 6 6 4 2 7 3 3 2 *



日本の男性不妊～当事者夫婦の語りから～

竹家 一美 著

晃洋書房

なぜ男性の不妊は語り得ないのか。その背景に何があるのか。男性本人とそのパートナー、泌尿器科医へのインタビューで得た当事者の語りをもとに、今日の日本社会における男性不妊の位置づけを考察する。

2021:4./ 5p,257p,14p

978-4-7710-3472-3

本体 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/08



誰のための熱帯林保全か～現場から考えるこれからの「熱帯林ガバナンス」～

笹岡 正俊／藤原 敬大 編

新泉社

環境や持続可能性への配慮を謳った日用品が流通する中で、原産地では何が起こっているのか。インドネシアの人びとの視点から熱帯林「開発」と「保全」の現場の実情を明らかにし、「熱帯林ガバナンス」のあるべき姿を考える。

2021:3./ 251p,27p

978-4-7877-2103-7

本体 ¥2,750〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/08



怒りの時代～世界を覆い続ける憤怒の近現代史～

パンカジ・ミシュラ 著

草思社

人々はなぜ、何に怒り続けているのか。18 世紀の啓蒙・革命の時代から帝国主義、植民地、世界大戦、そして大衆運動、無差別テロにいたるまでを、数多の思想家、文芸家、活動家等の言説や証言をもとに詳細に検証する。

2021:3./ 518p

978-4-7942-2483-5

本体 ¥4,180〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/08



歪められた食の常識～食品について聞かされた事のほぼすべてが間違っているわけ～

ティム・スペクター 著

白揚社

牛乳は骨を強くする、糖質フリーは体にいい、低脂肪は太らない…。私たちの健康と引き換えに莫大な利益をあげる巨大食品メーカー。科学エビデンスをもとに、食品産業の不都合な真実をあばく。

2021:3./ 353p

978-4-8269-0226-7

本体 ¥2,860〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/08



一带一路の政治経済学～中国は新たなフロンティアを創出するか～

平川 均、町田 一兵、真家 陽一、石川 幸一 著

文眞堂

参加国が 70 を超えた壮大な「一带一路」構想の全体像を、ASEAN、南アジア、欧州、アフリカなどの沿線国の現状、課題を含めて総合的に考察。新たなフロンティアであるインド太平洋構想にも触れる。

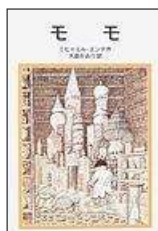
2019:10./ 13p,254p

978-4-8309-5046-9

本体 ¥3,740〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/08



モモ(岩波少年文庫 127)

ミハヤエル・エンデ 著

岩波書店

町はずれの円形劇場あとにまよいこんだ不思議な少女モモ。町の人たちはモモに話をきいてもらおうと、幸福な気持ちになるのです。そこへ「時間どろぼう」の男たちの魔の手が忍び寄り…。再刊。

2005:6./ 409p

978-4-00-114127-6

本体 ¥880〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/15



武士道 改版(岩波文庫 33-118-1)

新渡戸 稲造 著

岩波書店

日本経済新聞 2021/05/15

1974.11./ 177p

978-4-00-331181-3

本体 ¥726〔税込〕



* 9 7 8 4 0 0 3 3 1 1 8 1 3 *



自動車の社会的費用(岩波新書 青版 B-47)

宇沢 弘文 著

岩波書店

自動車は現代機械文明の輝ける象徴である。しかし、自動車による公害の発生から、また市民の安全な歩行を守るシビル・ミニマムの立場から、その無制限な増大に対する批判が生じてきた。市民の基本的権利獲得を目指す立場から、自動車の社会的費用を具体的に算出し、その内部化の方途をさぐり、あるべき都市交通の姿を示唆する。

1974.6./ 180p

978-4-00-411047-7

本体 ¥880〔税込〕



* 9 7 8 4 0 0 4 1 1 0 4 7 7 *

日本経済新聞 2021/05/15



複眼人

呉 明益 著

KADOKAWA

太平洋の神秘的な島と、近未来の台湾。2つの島に巨大なゴミの島が押し寄せる時、謎の「複眼人」が姿を現す。人間と生物、自然と超自然的存在が交錯する世界を、作家・呉明益が圧倒的スケールと多元的視点で描く未曾有の物語。

2021.4./ 367p

978-4-04-106326-2

本体 ¥2,420〔税込〕



* 9 7 8 4 0 4 1 0 6 3 2 6 2 *

日本経済新聞 2021/05/15



女生徒 改版(角川文庫)

太宰 治 著

角川書店

「幸福は一夜おくれて来る。幸福は——」多感な女子生徒の一日を描いた「女生徒」、情死した夫を引き取りに行く妻を描いた「おさん」など、女性の告白体小説の手法で書かれた14篇を収録。

2009.5./ 279p

978-4-04-109915-5

本体 ¥484〔税込〕



* 9 7 8 4 0 4 1 0 9 9 1 5 5 *

日本経済新聞 2021/05/15



感じるオープンダイアログ(講談社現代新書 2614)

森川 すいめい 著

講談社

ただ対話するだけで、精神面に困難を抱えた人の8割が回復するフィンランド発祥の「オープンダイアログ」。国際トレーナー資格を得た著者が、自らの壮絶な過去と、フィンランドで受けたトレーニングの様子をつぶさに記す。

2021.4./ 211p

978-4-06-523304-7

本体 ¥946〔税込〕



* 9 7 8 4 0 6 5 2 3 3 0 4 7 *

日本経済新聞 2021/05/15



黒い雨 改版(新潮文庫)

井伏 鱒二 著

新潮社

日本経済新聞 2021/05/15

2003.5./ 403p

978-4-10-103406-5

本体 ¥781〔税込〕



* 9 7 8 4 1 0 1 0 3 4 0 6 5 *



草の花 改版(新潮文庫 ふ-4-1)

福永 武彦 著

新潮社

理知ゆえに、青春の途上でめぐりあった藤木忍との純粋な愛に破れ、藤木の妹との恋にも挫折した汐見茂思。彼はその青春の墓標を2冊のノートに記したまま、自殺行為にも似た手術を受けて、帰らぬ人となり…。青春の鎮魂歌。

日本経済新聞 2021/05/15

2014:11./ 318p

978-4-10-111501-6

本体 ¥605〔税込〕



沈黙の春 改版(新潮文庫)

レイチェル・カーソン 著

新潮社

自然を忘れた現代人に魂のふるさとを思い起こさせる美しい声と、自然を破壊し人体を蝕む化学薬品の浸透、循環、蓄積を追究する冷徹な眼、そして、いま私たちは何をなすべきかを訴えるたくましい実行力。三つを備えた、自然保護と化学物質公害追及の先駆的な本がこれだ。ドイツ、アメリカなど多くの国の人々はこの声に耳を傾け、現実を変革してきた。日本人は何をしてきたか？

日本経済新聞 2021/05/15

2004:6./ 394p

978-4-10-207401-5

本体 ¥781〔税込〕



赤毛のアン(新潮文庫)

モンゴメリ 著

新潮社

ちょっとした手違いから、グリン・ゲイブルスの老兄妹に引き取られたやせっぽちの孤児アン。初めは戸惑っていた2人も、明るいアンを愛するようになり、夢のように美しいプリンス・エドワード島の自然の中で、アンは少女から乙女へと成長してゆく――。愛に飢えた、元気な人參あたまのアンが巻き起す愉快的事件の数々に、人生の厳しさと温かい人情が織りこまれた永遠の名作。

日本経済新聞 2021/05/15

2008:2./ 529p

978-4-10-211341-7

本体 ¥825〔税込〕



小説家になって億を稼ごう(新潮新書 899)

松岡 圭祐 著

新潮社

「本当は小説家は儲かる」という事実について、実際に儲かっている当事者らは沈黙を守りがち。年収億超え作家が、デビュー作の売り込み方法から高額印税収入を得る秘訣まで、小説家で「儲けて富を得る」方法を本気で伝える。

日本経済新聞 2021/05/15

2021:3./ 253p

978-4-10-610899-0

本体 ¥880〔税込〕



宗教と日本人～葬式仏教からスピリチュアル文化まで～(中公新書 2639)

岡本 亮輔 著

中央公論新社

日本人と宗教の不可思議な関わりはどこへ向かうのか。新宗教の退潮とスピリチュアル文化の台頭、変わる葬式や神社の位置づけ、古代宗教のブーム…。人々の規範から消費される対象へと変化しつつある宗教の現在地を示す。

日本経済新聞 2021/05/15

2021:4./ 6p,223p

978-4-12-102639-2

本体 ¥902〔税込〕





ここじゃない世界に行きたかった

塩谷 舞 著

文藝春秋

あたりまえに生きるための言葉を取り戻す。出会うべき誰かと強く惹かれあうために。世界の諸問題への視点と生活への美意識が胸を打つ、多様性の時代を象徴するエッセイ集。

日本経済新聞 2021/05/15

2021.2./ 271p

978-4-16-391334-6

本体 ¥1,760〔税込〕



SXの時代～究極の生き残り戦略としてのサステナビリティ経営～

坂野 俊哉／磯貝 友紀 著

日経BP社

SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)を実践しない企業は生き残れない! 本物のサステナビリティ経営とは何かという基本から、SXを実現する仕組みづくりまで解説。先進企業トップが語るSXの真髄等も掲載。

日本経済新聞 2021/05/15

2021.4./ 407p

978-4-296-00020-3

本体 ¥2,200〔税込〕



明日の田園都市～新訳～

エベネザー・ハワード、山形 浩生 著

鹿島出版会

近代都市計画の祖、エベネザー・ハワードの不朽の名著の新訳。現代的な都市計画(厳密にはニュータウン計画)を、住民の立場から考え、提言する。

日本経済新聞 2021/05/15

2016.10./ 289p

978-4-306-07329-6

本体 ¥2,640〔税込〕



世界奇食大全 増補版(ちくま文庫 す 27-1)

杉岡 幸徳 著

筑摩書房

土のスープ、紙、メダカの佃煮から猛毒のフグの卵巣、パイナップル茶漬けまで、伝統食品あり、新顔ありの制御不能、悶絶必至! ヒトの業と知恵の深さを実感する珍グルメ全集。パンカツ、トド、蘇など8品を増補。

日本経済新聞 2021/05/15

2021.4./ 318p

978-4-480-43738-9

本体 ¥880〔税込〕



なぜ、DXは失敗するか?～「破壊的な変革」を成功に導く5段階モデル～

トニー サルダナ 著

東洋経済新報社

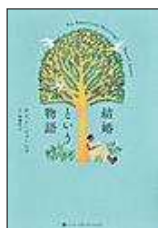
DXの70%が失敗するという驚くべき状況の原因は、規律の欠如にある。豊富な事例をあげながら、DXを成功させるための5段階のロードマップと、「規律のチェックリスト」を用いたアプローチを紹介する。

日本経済新聞 2021/05/15

2021.4./ 22p, 379p

978-4-492-39659-9

本体 ¥2,640〔税込〕



結婚という物語

タヤリ・ジョーンズ 著

ハーバーコリンズ・ジャパン

ありふれた幸せな夫婦、ロイとセレスチャル。ある日、強姦の犯人と疑われたロイは警察に連行されてしまう。ロイに言い渡されたのは懲役12年の刑。理不尽に引き裂かれた2人は、手紙をやり取りしつつけるが...

日本経済新聞 2021/05/15

2021.3./ 414p

978-4-596-55214-3

本体 ¥2,200〔税込〕





トリノの精神～現代イタリアの出版文化を築いた人々～

マイケ・アルバート 著

明石書店

ファシズム台頭期からベルルスコーニの時代に到るまでの、エイナウディ出版社を軸とした対抗文化の展開と、その担い手たちの物語。当時の記録や関係者へのインタビューとともに、作家や思想家の交流を描く。

2021:3./ 248p,6p
978-4-7503-5147-6
本体 ¥2,750〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/15



?介石の戦時外交と戦後構想～1941-1971 年～

段 瑞聡 著

慶應義塾大学出版会

失地回復、不平等条約の撤廃、アジア諸民族の独立を掲げつつ、米英ソに依存し、国連構想および戦後日本との和解を模索した?介石。「日記」などの一次資料を駆使し、その政治理念や外交戦略、戦後構想について検討する。

2021:3./ 7p,477p,6p
978-4-7664-2730-1
本体 ¥7,480〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/15



感情化する社会

大塚 英志 著

太田出版

心地よい感情を提供することばかり、政治にもジャーナリズムにも文学にも求めない現在の日本。あらゆるものを「感情」として表出し、「感情」として消費して生きている現状を、不愉快に「批評」する試み。

2016:10./ 293p
978-4-7783-1536-8
本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/15



感染の法則～ウイルス伝染から金融危機、ネットミームの拡散まで～

アダム・クチャルスキー 著

草思社

なぜ感染症爆発と金融崩壊の連鎖は似ているのか。なぜ天然痘の撲滅方法が、暴力の伝染を止めるのに役立つのか。数理モデルを用いて、「物事の広がり」と「収束」の法則を明らかにする。

2021:3./ 447p
978-4-7942-2504-7
本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/15



古代ローマ人の危機管理

堀 賀貴 編

エヴァン・プラウドフット／藤井 慈子／ジャネット・ディレーン 著

九州大学出版会

盗難、火災、洪水、疫病…。古代ローマ人による危機管理の実際を、ポンペイ、ヘルクラネウム、オステアなどの遺跡から読み解く。火災の痕跡写真や実測データにもとづく水没シミュレーション、図版なども多数収録する。

2021:5./ 219p
978-4-7985-0301-1
本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/15



新生<前編> 改版(岩波文庫 緑 23-8)

島崎 藤村 著
岩波書店

作者 41 歳から 49 歳にいたる 8 年間の生活を書いた自伝的小説。妻の死後、家事の手伝いをする姪と主人公との間に生ずる不倫な愛欲関係を描いて告白文学としての極限を示したもの。恥と苦悩からの再起のために書いたといわれるこの作品は、作家藤村の資質の秘密を解く重要な鍵とされている。大正 7-8 年作。

日本経済新聞 2021/05/22

1970:5./ 258p
978-4-00-310238-1
本体 ¥704〔税込〕



新生<後編> 改版(岩波文庫 緑 23-9)

島崎 藤村 著
岩波書店

作者 41 歳から 49 歳にいたる 8 年間の生活を書いた自伝的小説。妻の死後、家事の手伝いをする姪と主人公との間に生ずる不倫な愛欲関係を描いて告白文学としての極限を示したもの。恥と苦悩からの再起のために書いたといわれるこの作品は、作家藤村の資質の秘密を解く重要な鍵とされている。大正 7-8 年作。

日本経済新聞 2021/05/22

1970:5./ 304p
978-4-00-310239-8
本体 ¥814〔税込〕



軍隊マニュアルで読む日本近現代史～日本人はこうして戦場へ行った～ (朝日文庫 い 96-1)

一ノ瀬俊也 著
朝日新聞出版

明治期以降、多数出版された軍隊にまつわる「マニュアル」。書かれた建前通りに行動することで、人々の戦争への本音はどう変化したのか。戦争という体験を日本人がどう受け入れてきたのかを、マニュアルから読み解く。

日本経済新聞 2021/05/22

2021:4./ 233p
978-4-02-262045-3
本体 ¥814〔税込〕



みんなに好かれなくていい(小学館 YouthBooks)

和田 秀樹 著
小学館

「友だちが多いほうが幸せ」という思い込みから抜け出すには。精神科医である著者が、心から信頼できる本当の友だちをつくる方法や、今の自分を変えるための行動、心をラクにする方法などを具体的に伝える。

日本経済新聞 2021/05/22

2021:4./ 175p
978-4-09-227282-8
本体 ¥968〔税込〕



親の期待に応えなくていい(小学館 YouthBooks)

鴻上 尚史 著
小学館

「親を大切にすること」と「言うとおりになること」はまったく別。健康的に自立して、自分の幸せを見つけるのが子供の人生。魔法の呪文のような強さをもつ「親の期待」の秘密と、そこから自由になるための方法を説く。

日本経済新聞 2021/05/22

2021:4./ 190p
978-4-09-227284-2
本体 ¥968〔税込〕



破戒 改版(新潮文庫)

島崎藤村 著
新潮社

日本経済新聞 2021/05/22

2005:7./ 500p
978-4-10-105507-7
本体 ¥781〔税込〕





夜明け前<第1部 上> 改版(新潮文庫)

島崎藤村 著

新潮社

日本経済新聞 2021/05/22

1954.12./ 348p

978-4-10-105508-4

本体 ¥781〔税込〕



正欲

朝井 リョウ 著

新潮社

生き延びるために、手を組みませんか。いびつで孤独な魂が奇跡のように巡り遭い…。共感を呼ぶ傑作か？ 目を背けたくなる問題作か？ 朝井リョウの作家生活 10 周年を記念した書下ろし長篇小説。

日本経済新聞 2021/05/22

2021.3./ 379p

978-4-10-333063-9

本体 ¥1,870〔税込〕



東京を捨てる～コロナ移住のリアル～(中公新書ラクレ 726)

澤田 晃宏 著

中央公論新社

人気移住地はどこか？ 地域おこし協力隊とは？ 「コロナ移住」の当事者が、コロナ移住者や移住支援団体、地方自治体などを取材したルポルタージュ。国や自治体の補助金などの情報や、移住で直面する課題にも触れる。

日本経済新聞 2021/05/22

2021.4./ 253p

978-4-12-150726-6

本体 ¥946〔税込〕



Numbers Don't Lie～世界のリアルは「数字」でつかめ!～

バーツラフ・シュミル 著

NHK出版

「人々」「国々」「食」「環境」「エネルギー」「移動」「機械」の 7 分野から 71 のトピックを厳選。信頼できる数字とデータで、驚くべき事実を明らかにする。“世界の今”を知るための教養書。

日本経済新聞 2021/05/22

2021.3./ 356p

978-4-14-081853-4

本体 ¥2,200〔税込〕



基礎から学ぶ海運と港湾

池田 良穂 著

海文堂出版

人や荷物の輸送に使われている船舶を使った海運事業と、その海運のための社会基盤としての港湾について、科学および工学の知識も含めてわかりやすく解説する。大阪経済法科大学の授業「海運と港湾」を書籍化。

日本経済新聞 2021/05/22

2017.9./ 10p,213p

978-4-303-16407-2

本体 ¥2,530〔税込〕



グローバル・ロジスティクス・ネットワーク～国境を越えて世界を流れる貨物～

柴崎 隆一 編

アジア物流研究会 著

成山堂書店

国際物流の歴史、世界各地における陸上貨物輸送等の現況から、中国が進める一帯一路構想や北極海航路といった現在のプロジェクトまで、世界の輸送ネットワークを俯瞰しながら国際物流の現状や実態、今後の動向をやさしく解説。

日本経済新聞 2021/05/22

2018.12./ 5p,234p

978-4-425-93161-3

本体 ¥3,080〔税込〕





貿易の世界史～大航海時代から「一帯一路」まで～(ちくま新書 1538)

福田 邦夫 著
筑摩書房

世界の富と秩序はこうして形成された！ 国際貿易の始まった大航海時代までさかのぼり、貿易が資本主義経済を成り立たせ、覇権を握る手段として利用されてきた歴史を描く。

日本経済新聞 2021/05/22

2020.12./ 341p
978-4-480-07356-3
本体 ¥1,100〔税込〕
* 9 7 8 4 4 8 0 0 7 3 5 6 3 *



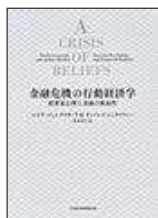
ロジスティクス 4.0～物流の創造的革新～(日経文庫 1406)

小野塚 征志 著
日本経済新聞出版社

物流の世界で進む新たなイノベーション「ロジスティクス 4.0」。物流業界における「破壊と創造」、そして技術革新の先にあるインフラ・サービスの未来を冷静に分析する。様々な企業の例も紹介する。

日本経済新聞 2021/05/22

2019.3./ 231p
978-4-532-11406-0
本体 ¥946〔税込〕
* 9 7 8 4 5 3 2 1 1 4 0 6 0 *



金融危機の行動経済学～投資家心理と金融の脆弱性～

ニコラ・ジェンナイオーリ／アンドレイ・シュライファー 著
日本経済新聞出版社

リーマン倒産、金融市場のメルトダウンの経緯を明らかにし、行動経済学、心理学をもとに、人々の信念と期待の誤りが生み出す金融危機、景気サイクルの構図を解明。さらに、「合理的期待仮説」を超える新たな枠組みを提示する。

日本経済新聞 2021/05/22

2021.3./ 10p,243p
978-4-532-13512-6
本体 ¥4,950〔税込〕
* 9 7 8 4 5 3 2 1 3 5 1 2 6 *



フード・マイレージ～あなたの食が地球を変える～ 新版

中田 哲也 著
日本評論社

食の安全・安心をはかる新しい指標「フード・マイレージ」。地産地消の取り組みとともに、食の問題を解決する処方箋を提示する。さまざまな質問や意見に答えた Q&A も収録する。

日本経済新聞 2021/05/22

2018.1./ 255p
978-4-535-58713-7
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 5 3 5 5 8 7 1 3 7 *



あるヴァイオリンの旅路～移民たちのヨーロッパ文化史～

フィリップ・ブローム 著
法政大学出版局

気候変動、戦争、疫病、経済変化、生きるために移民となりヨーロッパ文化を陰で支えた無名の人々…。偶然手に入れた無銘のヴァイオリンに愛着を感じた著者が、その来歴を探る旅を通してヨーロッパ 300 年の歴史を描く。

日本経済新聞 2021/05/22

2021.2./ 357p,9p
978-4-588-35235-5
本体 ¥3,740〔税込〕
* 9 7 8 4 5 8 8 3 5 2 3 5 5 *



脳はこうして学ぶ～学習の神経科学と教育の未来～

スタニスラス・ドゥアンヌ 著
森北出版

ディープラーニングを実装した最新の AI に比べ、人間の子どもは格段に効率的に、かつ深く学習できるのはなぜか。神経科学者が、脳のもつ驚くべき柔軟性と、進化的に課された制約を踏まえ、未来の教育のあるべき姿を語る。

日本経済新聞 2021/05/22

2021.2./ 4p,375p 図版 16p
978-4-627-88081-8
本体 ¥2,970〔税込〕
* 9 7 8 4 6 2 7 8 8 0 8 1 8 *



君たちはどう生きるか

吉野源三郎 著

マガジンハウス

自分の生き方を決定できるのは、自分だけだ。人間としてあるべき姿を求め続ける、コペル君と叔父さん。「子どもたちに向けた哲学書であり、道徳の書」として読み継がれてきた歴史的名著。漫画版も同時刊行。

2017.8./ 318p

978-4-8387-2946-3

本体 ¥1,430〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/22



10歳の君に贈る、心を強くする26の言葉～哲学者から学ぶ生きるヒント～

岩村太郎 著

えほんの杜

“自分らしさ”って何？人を好きになるってどういうこと？生きている意味はあるの？学校の先生は教えてくれない人生の疑問に、古代から現代までの哲学者たちの言葉を紹介しながら回答します。

2018.10./ 71p

978-4-904188-51-4

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/22



10歳から知っておきたいお金の心得～大切なのは稼ぎ方・使い方・考え方～

八木 陽子 編

えほんの杜

お金は「社会の血液」。社会をよくするための「お金」について考えてみましょう。物価、キャッシュレス、銀行、投資、税金などについて解説し、自分らしいお金の稼ぎ方、使い方、生き方を見つけるためのヒントを伝えます。

2019.11./ 95p

978-4-904188-56-9

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/22



10歳から考える「好き」を強みにする生き方～人生を楽しむ仕事につくために～

えほんの杜

仕事の価値観とスタイルの転換期を迎えている現代だからこそ、「好き」を「仕事」にできる生き方を提唱。好きなことを仕事にするために、どんな工夫や準備をすればいいのかを偉人の名言やアドバイスとともに解説。

2021.3./ 95p

978-4-904188-61-3

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/22



時代劇聖地巡礼

春日太一 著

ミシマ社

「鬼平犯科帳」のオープニングを撮影した下鴨神社、「必殺」シリーズの中村主水がぐった大覚寺の門…。時代劇研究家が京都・滋賀にある時代劇の撮影場所 41 カ所を、写真とともに紹介する。

2021.4./ 253p

978-4-909394-50-7

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/22



シェフたちのコロナ禍～道なき道をゆく三十四人の記録～

井川 直子 著

文藝春秋

一人店主のバー、街角のイタリアン、星付きレストラン。店を開けてもお客は来ない未曾有のコロナ禍。2020年、2度目の緊急事態宣言を前にシェフたちは何を思い、どう動いたのか。それぞれの葛藤と未来への希望を描く。

2021.5./ 381p

978-4-16-391368-1

本体 ¥2,090〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/22、毎日新聞 2021/05/22



ミカンの味

チョ・ナムジュ 著

朝日新聞出版

中学校の映画部で仲良くなった少女4人は、中学3年生になる直前、旅先の済州島で衝動的にある約束を交わし、タイムカプセルに入れて埋める。さまざまな感情と計算が隠されたこの約束をめぐる、次々と事件が起こるが...

日本経済新聞 2021/05/29

2021:4./ 247p

978-4-02-251757-9

本体 ¥1,760〔税込〕



風が強く吹いている(新潮文庫)

三浦 しをん 著

新潮社

箱根駅伝を走りたいーそんな灰二の想いが、天才ランナー走と出会って動き出す。「駅伝」って何?走るってどういうことなんだ?十人の個性あふれるメンバーが、長距離を走ること(=生きること)に夢中で突き進む。自分の限界に挑戦し、ゴールを目指して襷を繋ぐことで、仲間と繋がっていく.....風を感じて、走れ!「速く」ではなく「強く」ー純度100パーセントの疾走青春小説。

日本経済新聞 2021/05/29

2009:6./ 670p

978-4-10-116758-9

本体 ¥1,045〔税込〕



医療崩壊の真実

渡辺 さちこ、アキよしかわ 著

エムディエヌコーポレーション

病院・医師が増えれば本当に国民の健康と医療の質は保たれるのか? メディアの報道で懸念される「医療崩壊」の真実を明らかにし、本当に起きている「問題」の深淵を見極める。日本病院会・相澤孝夫との鼎談も収録。

日本経済新聞 2021/05/29

2020:12./ 207p

978-4-295-20085-7

本体 ¥1,650〔税込〕



瓶のなかの旅〜酒と煙草エッセイ傑作選〜(河出文庫 か39-2)

開高 健 著

河出書房新社

戦後の少年時代に覚えたバクダンとシケモク、ベトナムの戦場で口に含んだウイスキー、中国で出会った珍酒奇酒...。世界を股に飲み歩いた小説家・開高健の、深く、おいしく、時にかなしい、酒と煙草エッセイを厳選収録。

日本経済新聞 2021/05/29

2021:5./ 285p

978-4-309-41813-1

本体 ¥979〔税込〕



紅衛兵とモンゴル人大虐殺〜草原の文化大革命〜(筑摩選書 0207)

楊 海英 著

筑摩書房

中国文化大革命中に行われたモンゴル人大虐殺。中国政府と中国人はいかなる方法と理論を駆使して大虐殺を実行したのか。内モンゴル出身の著者が一次資料をもとに大虐殺の真相を解明し、文化大革命の負の側面に光を当てる。

日本経済新聞 2021/05/29

2021:3./ 408p

978-4-480-01726-0

本体 ¥2,090〔税込〕





歴史認識日韓の溝～分かり合えないのはなぜか～(ちくま新書 1565)

渡辺 延志 著
筑摩書房

歴史をめぐる深刻な対立を繰り返す日本と韓国。新たな研究成果や資料をもとに、東学農民戦争や義兵の鎮圧、三・一運動、関東大震災などの実態に迫り、歴史認識の溝を埋める可能性を考察する。

日本経済新聞 2021/05/29

2021.4./ 266p
978-4-480-07390-7
本体 ¥946〔税込〕



82 年生まれ、キム・ジョン

チョ・ナムジュ 著
筑摩書房

ある日突然、自分の母親や友人の人格が憑依したかのようなキム・ジョン。誕生、学生時代、受験、就職、結婚、育児…。彼女の人生を克明に振り返る中で、女性の人生に立ちはだかる困難と差別を描く。

日本経済新聞 2021/05/29

2018.12./ 189p
978-4-480-83211-5
本体 ¥1,650〔税込〕



安全保障戦略

兼原 信克 著
日本経済新聞出版社

日本の安全保障政策体制の発展過程から官邸の機能、日米同盟、歴史戦、中国・韓国との付き合い方、日本の領土の現状まで、安全保障政策について網羅的に解説。制度の背景、歴史的経緯、日本の課題を明らかにする。

日本経済新聞 2021/05/29

2021.4./ 5p,429p
978-4-532-17696-9
本体 ¥3,630〔税込〕



ミンスキーと<不安定性>の経済学～MMTの源流へ～

L・ランダル・レイ 著
白水社

先の金融危機で囁かれた「ミンスキー・モーメント」とは何か? 「金融不安定性仮説」の提唱者ミンスキーの膨大な著作を、その教を直に受けた著者が読み解き、体系的に再整理して解説する。

日本経済新聞 2021/05/29

2021.3./ 261p,42p
978-4-560-09831-8
本体 ¥2,640〔税込〕



エレジーは流れない

三浦 しをん 著
双葉社

のどかでさびれた温泉街に暮らす高校2年生の怜は、複雑な家庭の事情、迫りくる進路選択、自由奔放な友人たちに振り回される日々を送っている。そんななか、博物館から縄文式土器が盗まれ…。『小説推理』連載に加筆・修正。

日本経済新聞 2021/05/29

2021.4./ 256p
978-4-575-24397-0
本体 ¥1,650〔税込〕



日本の道化師～ピエロとクラウンの文化史～(平凡社新書 974)

大島 幹雄 著
平凡社

道化師を意味する言葉として、日本では“クラウン”ではなく“ピエロ”が定着したのはなぜか。クラウンは日本でいかに受けとめられてきたか。サーカス研究の第一人者が、日本における「道化師」の歴史をたどる。

日本経済新聞 2021/05/29

2021.5./ 247p
978-4-582-85974-4
本体 ¥968〔税込〕





帝国大学の朝鮮人～大韓民国エリートの起源～

鄭 鍾賢／渡辺 直紀 著

慶應義塾大学出版会

近代日本のエリート育成装置であった帝国大学に留学した朝鮮人は、大韓民国の樹立に欠かせない存在であった。彼らがなぜ留学し、何を学び、戻って何をしたのか、著者の長年の調査と入念な資料・文献の渉猟により明らかにする。

2021:4./

10p,270p,61p

978-4-7664-2735-6

本体 ¥3,740〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/29



命に<価格>をつけられるのか

南沢 篤花 編

ハワード・スティーヴン・フリードマン 著

慶應義塾大学出版会

自分の命には「価格」がつけられている。その事実気づかず私たちは日々暮らしている。経済学者、統計の専門家、規制当局が駆使する「統計的生命価値」をわかりやすく解説し、「人の命」とは何かということを問う。

2021:4./ 266p,42p

978-4-7664-2736-3

本体 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/29



コーチングの哲学～スポーツと美徳～

佐良土茂樹 著

青土社

“勝利至上主義”に目がくらみ、暴力、ハラスメントなどがはびこる競技スポーツの現在。アリストテレスの哲学と現代の名将の考え方の接合点のうちに、徳を備えた「善いコーチ」とその卓越したコーチングのあり方を示す。

2021:3./ 340p,10p

978-4-7917-7372-5

本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/29



こう見えて元タカラジェンヌです

天真 みちる 著

左右社

宝塚歌劇団のスターの隣には、クセの強いおじさん役で唯一無二の存在感を発揮したバイプレイヤー「たそ」の姿があった…。音楽学校入学から宝塚歌劇団卒業まで15年の月日をコミカルに描く。cakes 連載に加筆修正。

2021:3./ 286p

978-4-86528-013-5

本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/29



患者と医療従事者の権利保障に基づく医療制度～新型コロナウイルス禍を契機として考える～

岡田 行雄／内山 真由美／大場 史朗 著

現代人文社

新型コロナウイルス禍は、日本の医療制度の脆弱さを炙り出した。刑事法研究者たちが、患者と医療従事者の権利保障を基軸に据え、日本の医療制度の脆弱性の原因を検討。医療制度・医事法の改革の道筋を提示する。

2021:3./ 207p

978-4-87798-777-0

本体 ¥2,750〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/29



地域医療は再生するか～コロナ禍における提供体制改革～

三原 岳 著

医薬経済社

高齢化、コロナ、財政危機…。医療界には提供体制改革が喫緊の課題だ。今後の地域医療構想を含めた提供体制改革について、政府や自治体の動向、論点や課題、処方箋を示す。

2020.10./ 239p

978-4-902968-65-1

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/05/29



<全条項分析>日米地位協定の真実(集英社新書 1055)

松竹 伸幸 著

集英社

支配・従属関係の根源! 在日米軍の特権等を定めた日米地位協定。主権国家としての日本政府の要望がどう反映され、されなかったのか。全条項を読み解き、日米関係の実態を明らかにする。

2021.2./ 269p

978-4-08-721155-9

本体 ¥968〔税込〕



毎日新聞 2021/05/01



女帝の古代王権史(ちくま新書 1555)

義江 明子 著

筑摩書房

古代天皇継承は、男系にも女系の双方を含む「双系」的なものだった。卑弥呼、推古、持統らに焦点を当て、古代王権史の流れを一望。日本人の女帝像、ひいては男系の万世一系という天皇像を書き換える。

2021.3./ 252p

978-4-480-07381-5

本体 ¥924〔税込〕



毎日新聞 2021/05/01



計算する生命

森田 真生 著

新潮社

計算は、生命の可能性を拡張していくのか。機械と生命の対立を越え、計算との新たな関係が形作る未来とは。先人たちが築いた壮大な計算の成立史に吹き込まれた生命の本質に迫る画期的論考。『新潮』連載をベースに書籍化。

2021.4./ 239p

978-4-10-339652-9

本体 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2021/05/01、産経新聞 2021/05/30



匣の人

松嶋 智左 著

光文社

刑事課から交番勤務へ異動した巡査部長・貴衣子は新人の里志とペアを組むことに。ふたりはある日、東南アジア系男性の他殺体を発見。犯人も動機も不明な中、里志が不穏な動きを見せる。貴衣子は里志に疑念を抱き…。

2021.4./ 236p

978-4-334-91397-7

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/05/02



言葉をもみほぐす

赤坂 憲雄／藤原 辰史／新井 卓 著

岩波書店

民俗学と歴史学。各々の専門分野からの越境を厭わず、知力をふり絞り、言葉をもみほぐし、思索を交わした、赤坂憲雄と藤原辰史の 2019 年から 2020 年にかけての手紙 18 通を収録。『図書』連載に銀板写真を加えて書籍化。

2021.2./ 7p,164p

978-4-00-022975-3

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/05/08



正義の政治経済学(朝日新書 809)

水野和夫／古川元久 著

朝日新聞出版

パンデミック以後のコロナバブルで貧富の格差は広がり続け、国の政策は長期展望を見出せない。「正義」を見つめる経済学者と「足るを知る」政治家が、歴史を振り返りながら、資本主義と民主主義を問い直す。

毎日新聞 2021/05/08

2021:3./ 237p

978-4-02-295119-9

本体 ¥891〔税込〕



日本再生のための「プラン B」～医療経済学による所得倍増計画～(集英社新書 1061)

兪 炳匡 著

集英社

新たな分野で雇用を創出。1%の富裕層ではなく、99%の生活を豊かにする! 現状を見据え、既存の成功モデルに頼らない日本再生のアイデアを具体的に提示。さらに、日本が生き残る道として北東アジア経済共同体を構想する。

毎日新聞 2021/05/08

2021:3./ 301p

978-4-08-721161-0

本体 ¥1,012〔税込〕



オリент急行の殺人～新訳～(ハヤカワ・クリスティー文庫 8 ポアロ)

アガサ・クリスティー 著

早川書房

毎日新聞 2021/05/08

2011:4./ 413p

978-4-15-131008-9

本体 ¥1,034〔税込〕



実力も運のうち～能力主義は正義か?～

マイケル・サンデル 著

早川書房

努力と才能で、人は誰でも成功できる-能力主義の夢は残酷な自己責任論と表裏一体であり、勝者と敗者の間に未曾有の分断をもたらしている。この難題に解決策はあるのか? ハーバード大学哲学教授が能力主義の闇を暴く。

毎日新聞 2021/05/08

2021:4./ 376p

978-4-15-210016-0

本体 ¥2,420〔税込〕



誰かに話したくなる摩訶不思議な生きものたち

岡部 聡 著

文藝春秋

人間の漁を手伝うブラジルのイルカ、子育てするアマゾンの古代魚ピラルクー…。「NHK スペシャル」「ダーウィンが来た!」などの名物 TV マンが、世界各地の現場で見て感じた、自然の中の生きものたちの物語を綴る。

毎日新聞 2021/05/08

2021:4./ 318p

978-4-16-391315-5

本体 ¥1,760〔税込〕



シブヤで目覚めて

アンナ・ツィマ 著

河出書房新社

ブラハの大学で日本文学を専攻するヤナは、謎の作家・川下清丸の小説にのめり込んでいる。そのとき渋谷では「分裂」した 17 歳のヤナが、幽霊となって街に閉じ込められていた。鍵を握る謎の作家の秘密とは?

毎日新聞 2021/05/08

2021:4./ 377p

978-4-309-20826-8

本体 ¥2,970〔税込〕





ひとり酒の時間イネ!(だいわ文庫 411-1D)

東海林 さだお 著
大和書房

「どうやったらひとり酒を楽しめるか」20代で飲み始めて以来、ずっとこの問題に取り組んできた著者による、不要不急・抱腹絶倒・永久不滅のお酒エッセイ。椎名誠との対談なども収録。『週刊朝日』連載等を文庫化。

2020.7./ 287p
978-4-479-30821-8
本体 ¥880〔税込〕



毎日新聞 2021/05/08



シェイクスピア全集<1> ハムレット(ちくま文庫)

シェイクスピア 著
筑摩書房

デンマークの王子ハムレットは、父王の亡霊から、叔父と母の計略により殺されたことを知らされ、固い復讐を誓った。悩み苦しみながらも、狂気を装い、ついに復讐を遂げるが自らも毒刃に倒れる。美しい恋人オフィーリアは、彼の変貌に狂死する。数々の名セリフを残したシェイクスピア悲劇の最高傑作の新訳。脚注・解説・日本での上演年表付き。

1996.1./ 296p
978-4-480-03301-7
本体 ¥726〔税込〕



毎日新聞 2021/05/08



シェイクスピア全集<33> 終わりをければすべてよし(ちくま文庫 し 10-33)

シェイクスピア 著
筑摩書房

前伯爵の主治医の遺児ヘレンは、フランス王の難病を治して夫を選ぶ権利を手にし、憧れの現伯爵バートラムと結婚する。が、彼は彼女を嫌って逃亡、他の娘を口説く始末。そこでヘレンがとった行動は-。戯曲作品。

2021.5./ 231p
978-4-480-04533-1
本体 ¥1,045〔税込〕



毎日新聞 2021/05/08



妹たちへ〜矢川澄子ベスト・エッセイ〜(ちくま文庫 や 3-3)

早川 茉莉 編
矢川 澄子 著
筑摩書房

澁澤龍彦の最初の夫人であり、神聖不可侵な少女との対話を続けた矢川澄子。その作品に様々な角度から光を当てて、幼い日々、思い出の人々、少女-反少女論、文学論などのテーマで織り上げる珠玉のアンソロジー。

2021.3./ 447p
978-4-480-43727-3
本体 ¥1,045〔税込〕



毎日新聞 2021/05/08



ナチス絵画の謎〜逆襲するアカデミズムと「大ドイツ美術展」〜

前田良三 著
みすず書房

1937年ミュンヘン、「頹廢美術展」と同時に開催された「大ドイツ美術展」とは。その出品絵画、ツィーグラー「四大元素」解説を軸に、ナチス美術の全体像を考察。さらに、文化史におけるナチス美術の意味を明らかにする。

2021.3./ 254p, 32p
978-4-622-08986-5
本体 ¥4,180〔税込〕



毎日新聞 2021/05/08



70歳、これからは湯豆腐～私の方丈記～

太田 和彦 著

亜紀書房

外に出て四季をめぐる。本屋と酒場をはしごする。自分だけの場所を探して。居酒屋作家の著者が、豊かな「ひとり時間」の過ごし方を綴る。亜紀書房ウェブマガジン『あき地』連載を再構成して単行本化。

2020.12./ 206p

978-4-7505-1675-2

本体 ¥1,430〔税込〕



毎日新聞 2021/05/08



天国酒場

パリッコ 著

柏書房

川のほとりのパラダイス、山上の回転喫茶、地下街の迷宮店、線路際に佇むおでん屋台…。日常の隣にある非日常空間の酒場を紹介する。データ:2020年8月現在。web マガジン『かしわもち』連載を加筆し書籍化。

2020.9./ 183p

978-4-7601-5148-6

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/05/08



はじめてのモネ(色彩飛行)

中川真貴 著

求龍堂

絵を描くことに苦しむ努力家のモネと、グルメでダンディな浪費家のモネ。「多彩」なモネの人生に出会う入門書。作品を色別にするというこれまでにないアプローチで、モネの作品と人物像を紹介。

2021.4./ 127p

978-4-7630-2107-6

本体 ¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2021/05/08



酒場っ子

パリッコ 著

スタンド・ブックス

定食屋飲み of 最高峰、成増「やまだや」。居酒屋お通し問題に想いをよせる、東松原「三木松」…。若手飲酒シーンの旗手・パリッコが、これまでの酒場歩きを綴ったエッセイ集。「酒場っ子メモ」も掲載。

2018.5./ 318p

978-4-909048-03-5

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/05/08



政治家の責任～政治・官僚・メディアを考える～

老川 祥一 著

藤原書店

1990年代以来の「政治改革」により、政治のあり方が大きく変貌した中で、劣化・変質してしまったものは何か？政治家や官僚たちの戦後政治史の中での言動の軌跡を辿りながら、政治の世界の変容ぶりとその問題点を考察。

2021.3./ 281p

978-4-86578-304-9

本体 ¥2,860〔税込〕



毎日新聞 2021/05/08、読売新聞 2021/05/09



なぜ戦争をえがくのか～戦争を知らない表現者たちの歴史実践～

大川 史織／小泉 明郎／諏訪 敦／武田 一義／高村 亮／遠藤 薫／寺尾 紗穂
／土門 蘭／柳下 恭平／後藤 悠樹／小田原 のどか／畑澤 聖悟／庭田 杏珠／
渡邊 英徳 著

みずき書林

写真、絵画、小説、漫画、映像、音楽、演劇、工芸、彫刻、アプリなど、多彩な表現で
歴史実践をしている表現者たちにインタビュー。どのように思考をめぐらせ、ことばを
選び、なぜ戦争をえがこうとしているのかを聞く。

2021.1./ 318p

978-4-909710-15-4

本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2021/05/08、読売新聞 2021/05/16



ル・コルビュジエ-みずから語る生涯

ジャン・プティ 著

中央公論美術出版

ル・コルビュジエが世を去るわずか 10 日前の日付とともに最晩年の建築家自らが承
認した伝記。前半にはル・コルビュジエ自身による回顧や手紙などを中心に編年体で
まとめられた年譜、後半には各種資料やリストを収録する。

2021.3./ 592p

978-4-8055-0889-3

本体 ¥5,060〔税込〕



毎日新聞 2021/05/08、日本経済新聞 2021/05/22



広島平和記念資料館は問いかける(岩波新書 新赤版 1861)

志賀 賢治 著

岩波書店

被爆 75 年を前に開館以来最大規模の展示更新を行なった広島平和記念資料館。
広島平和記念資料館前館長が、その意図や、資料館の起伏に富んだ歩みを紹介す
る。「あの日」を記録し伝え続ける博物館の軌跡と課題。

2020.12./

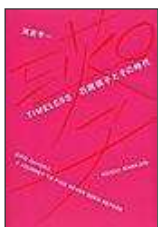
13p,238p,10p

978-4-00-431861-3

本体 ¥946〔税込〕



毎日新聞 2021/05/15



TIMELESS 石岡瑛子とその時代

河尻亨一 著

朝日新聞出版

前田美波里をスターにした資生堂のポスター、大ブームになったパルコの広告。それ
らを手がけた後に渡米し、アカデミー賞に輝いたデザイナー、石岡瑛子。彼女を「主
人公」として物語る、表現者たちとその時代のストーリー。

2020.11./ 541p 図版

32p

978-4-02-251734-0

本体 ¥3,080〔税込〕



毎日新聞 2021/05/15



日本の構造～50の統計データで読む国のかたち～(講談社現代新書 2609)

橋本 俊詔 著

講談社

数字をおさえれば、今の日本の経済・社会が見えてくる! 労働時間の変化、役職者と
一般社員の賃金格差、男女の賃金格差、通塾率と学力差など、50のトピックで、日本
の「今」を総点検する。

2021.3./ 253p

978-4-06-523099-2

本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/05/15



風と共に去りぬ<第1巻>(新潮文庫 ミ-4-1)

マーガレット・ミッチェル 著

新潮社

アメリカ南部の大農園<タラ>に生まれたスカーレット。若さと美しさを満喫し、激しい気性だが言い寄る男には事欠かない。だがアシュリが結婚すると聞いて自棄になり、別の男と結婚したのも束の間、南北戦争が勃発し...

2015.4./ 460p

978-4-10-209106-7

本体 ¥825〔税込〕



毎日新聞 2021/05/15



日本の歴史的建造物～社寺・城郭・近代建築の保存と活用～(中公新書 2633)

光井 渉 著

中央公論新社

「役割を終えた古い建物」に価値や魅力が「発見」されたのは、実は近代以降のことである。法隆寺、大阪城天守閣、東京駅、首里城...。明治時代から現代に至る美の発見のプロセスをたどる。

2021.2./ 6p,269p

978-4-12-102633-0

本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/05/15



グローバル・ヒストリーとしての独仏戦争～ビスマルク外交を海から捉えなおす～(NHK ブックス 1267)

飯田 洋介 著

NHK出版

国際法をめぐる「鉄血宰相」の苦悩とは。プロイセンが圧勝したと記憶されている「普仏戦争」の裏で、ビスマルクが米国に対し、海軍力の不足を補うための交渉を仕掛け続けていたことを、史料を読み解きながら明らかにする。

2021.1./ 286p

978-4-14-091267-6

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/05/15



女ともだち～ガール・ミーツ・ガールから始まる物語～

はらだ 有彩 著

大和書房

「花とアリス」「プラダを着た悪魔」「櫻の園」などの作品に登場する、「彼女たち」の物語の先にある「未来の私」の物語を綴った、切実で誇り高い最強エッセイ。大和書房ホームページ連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2021.4./ 231p

978-4-479-68177-9

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/05/15



氏名の誕生～江戸時代の名前はなぜ消えたのか～(ちくま新書 1567)

尾脇 秀和 著

筑摩書房

江戸時代、人名には身分を表示する役割があったが、王政復古を機に破綻。さらに新政府により「氏名」が生まれ、それは国民管理の道具へと変貌し...。歴史研究者が「氏名」誕生の歴史から、近世・近代移行期の実像を活写する。

2021.4./ 313p

978-4-480-07376-1

本体 ¥1,034〔税込〕



毎日新聞 2021/05/15



土偶を読む～130 年間解かれなかった縄文神話の謎～

竹倉 史人 著

晶文社

130 年以上も研究されながら、いまだ詳細不明の縄文土偶。土偶の形態を具体的に分析するイコノロジー研究の手法と、環境文化史・民族植物学を含む最新の考古研究の実証データを用いて、土偶の「真実」を明らかにする。

2021.4./ 347p 図版 9

枚

978-4-7949-7261-3

本体 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2021/05/15



地域包括ケア～タネの蒔き方・育て方～(評言社 MIL 新書 004)

小原 道子 著

評言社

地域社会の中で、薬剤師が「健康な時から予防、治療、介護まで」を横断的にサポートする時代が目前に迫っている。地域包括ケアシステムの構築から地域共生社会の実現へ、自らの経験から「地域づくりのタネ」の育て方を綴る。

毎日新聞 2021/05/15

2021:3./ 159p

978-4-8282-0719-3

本体 ¥1,100〔税込〕



地球がうみだす土のはなし

大西健夫／龍澤彩 著

福音館書店

土の材料は岩石や火山灰。そこに生きものがかわることで、はじめて土がうまれます。土が土になるまでのものがたりを、画家・西山竜平の絵で描く科学絵本。解説も収録。

毎日新聞 2021/05/15

2021:3./ 32p

978-4-8340-8597-6

本体 ¥1,430〔税込〕



誰がために医師はいる～クスリとヒトの現代論～

松本俊彦 著

みすず書房

偏見、分断、刑罰、患者たちの隠された悲哀と苦悩…。嗜癮障害の治療は、誰を幸せにすれば終わりなのだろうか。嗜癮障害臨床の最前線で怒り、挑み、闘いつづけてきた精神科医が綴る半生記。『みすず』掲載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2021/05/15、日本経済新聞 2021/05/29

2021:4./ 222p

978-4-622-08992-6

本体 ¥2,860〔税込〕



ショック・ドクトリン～惨事便乗型資本主義の正体を暴く～<上>

ナオミ・クライン 著

岩波書店

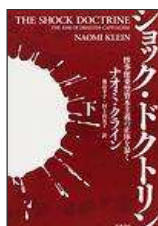
アメリカ政府とグローバル企業は、戦争、自然災害、政変などの危機につけこんで、あるいはそれを意識的に招いて、過激な経済改革を強行してきた。惨事便乗型資本主義=ショック・ドクトリンの全貌を暴く。

毎日新聞 2021/05/22

2011:9./ 8p,345p,46p

978-4-00-023493-1

本体 ¥2,750〔税込〕



ショック・ドクトリン～惨事便乗型資本主義の正体を暴く～<下>

ナオミ・クライン 著

岩波書店

大規模な民営化導入に災害や危機を利用するショック・ドクトリン。ソ連崩壊後のロシア、アパルトヘイト政策廃止後の南アフリカ、さらには最近のイラク戦争やアジアの津波災害などを通し、ショック・ドクトリンの全貌を暴く。

毎日新聞 2021/05/22

2011:9./ 8p,p357 ～

686,66p

978-4-00-023494-8

本体 ¥2,750〔税込〕



世界のおすもうさん

和田 静香／金井 真紀 著

岩波書店

女相撲の大横綱、沖縄角力の猛者、モンゴル相撲の闘う人類学者…。相撲を愛するスー女(相撲女子)2 人が出会った、世界の「おすもうさん」を紹介する。イラストも掲載。『web 岩波たねをまく』連載を元に加筆修正し書籍化。

毎日新聞 2021/05/22

2021:3./ 8p,277p

978-4-00-061457-3

本体 ¥1,980〔税込〕





ヒンドゥー教 10 講(岩波新書 新赤版 1867)

赤松 明彦 著

岩波書店

密教儀礼や帰依観念など、日本の宗教にも通ずる面をもつヒンドゥー教。本質論に陥らず、歴史的・地域的・社会的な重層性に注意しながら、テキストを丁寧に読み解いて、ヒンドゥー教の思考と実践をとらえる体系的入門書。

2021.2./ 4p,256p,25p

978-4-00-431867-5

本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/05/22



丁寧な暮らしをする餓鬼

塵芥居士 著

KADOKAWA

コーヒー豆を半日かけてすり鉢ですったり、ビニール袋を三角形に畳んだり、茶殻を撒いて掃き掃除をしたり…。丁寧な暮らしをするおちゃめな餓鬼・ガッキーの暮らしを餓鬼草紙タッチで描く4コマ漫画。描きおろしも収録。

2020.6./ 125p

978-4-04-064439-4

本体 ¥1,100〔税込〕



毎日新聞 2021/05/22



丁寧な暮らしをする餓鬼<2>

塵芥居士 著

KADOKAWA

手洗いうがいをはがける餓鬼、お手製マスクをする餓鬼、赤ちゃんを放っておけなかった餓鬼、大晦日に蕎麦を打つ餓鬼…。丁寧な暮らしをするおちゃめな餓鬼・ガッキーの暮らしを餓鬼草紙タッチで描く4コマ漫画、第2弾。

2021.4./ 125p

978-4-04-065947-3

本体 ¥1,100〔税込〕



毎日新聞 2021/05/22



ヘイトスピーチと対抗報道(集英社新書 1062)

角南 圭祐 著

集英社

「中立」は正義か? 街頭デモ、ネット上の発言、国の政策…様々なヘイトスピーチデモの「現場」で取材を重ねてきた著者が、その背景を明らかにしつつ、メディアは差別とどう向き合ってきたのかを検証する。

2021.4./ 262p

978-4-08-721162-7

本体 ¥968〔税込〕



毎日新聞 2021/05/22



我がパラダイス(集英社文庫 は 4-13)

林 真理子 著

集英社

高級介護付きマンションで働く3人の中年女性。それぞれの家庭内で深刻な介護問題を抱える彼女達は、困窮していく我が身と、裕福な入居者達との想像を絶する格差を前に、一世一代の勝負に出る!

2020.3./ 574p

978-4-08-744086-7

本体 ¥1,045〔税込〕



毎日新聞 2021/05/22



恍惚の人 改版(新潮文庫)

有吉 佐和子 著

新潮社

毎日新聞 2021/05/22

2003.2./ 437p

978-4-10-113218-1

本体 ¥825〔税込〕





小説 8050

林 真理子 著
新潮社

完璧な人生を送っているように見える大澤正樹には秘密がある。彼の長男・翔太は 7 年間も自宅に引きこもっていた。娘が相手家族に結婚を反対されたことから正樹は息子と向き合う決意をするが…。『週刊新潮』連載を加筆・改稿。

2021.4./ 397p
978-4-10-363111-8
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 1 0 3 6 3 1 1 1 8 *

毎日新聞 2021/05/22



孤独のアンサンブル～コロナ禍に「音楽の力」を信じる～

村松 秀 著
中央公論新社

自分たちの仕事は果たして必要なのか。オーケストラのトッププレイヤーたちが、外出自粛の苦悩の中、自宅でたったひとり音楽を奏でていく…。半年間のドキュメント。NHK の番組 3 本を書籍化。

2021.4./ 4p,339p
978-4-12-005422-8
本体 ¥2,200〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 0 0 5 4 2 2 8 *

毎日新聞 2021/05/22



論文捏造(中公新書ラクレ)

村松 秀 著
中央公論新社

名門・ベル研究所を舞台に起きた科学論文捏造事件。不正を犯したのはノーベル賞の有力候補であるスター学者だった。事件の真相やそこに潜む問題性を深く考察していく。NHK 特集番組「史上空前の論文捏造」を書籍化。

2006.9./ 333p
978-4-12-150226-1
本体 ¥946〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 1 5 0 2 2 6 1 *

毎日新聞 2021/05/22



実践行動変容のためのヘルスコミュニケーション～人を動かす 10 原則～

奥原剛 著
大修館書店

何を、どのように伝えれば、行動を変えてもらえるのか? 科学的根拠に基づく 10 原則を中心に、健康医療情報の伝え方を楽しく学べる入門書。10 原則のチェックシート付き。

2021.4./ 14p,177p
978-4-469-26910-9
本体 ¥2,200〔税込〕
* 9 7 8 4 4 6 9 2 6 9 1 0 9 *

毎日新聞 2021/05/22



小説と映画の世紀

菅野 昭正 著
未来社

20 世紀の主要な小説作品の映画化から 12 組をえらび、それぞれの小説と映画のシーンをつぶさに比較対照して分析する。映画のシーンを髣髴とさせる懇切丁寧な説明で名作、名画を記憶から復元させる。『すばる』連載を書籍化。

2021.4./ 358p
978-4-624-61044-9
本体 ¥5,280〔税込〕
* 9 7 8 4 6 2 4 6 1 0 4 4 9 *

毎日新聞 2021/05/22



流れゆくままに

渡 哲也 著
青志社

運は振り向いてくれたけど病魔には容赦なく襲われた。長く生きることよりも「生き方」を大切にしたい。昭和最後の映画スターが遺した凄烈で壮絶なる自伝。側近が語った「最後の日々」も収録。

2021.3./ 317p
978-4-86590-114-6
本体 ¥1,760〔税込〕
* 9 7 8 4 8 6 5 9 0 1 1 4 6 *

毎日新聞 2021/05/22



ウィリアム・アダムス～家康に愛された男・三浦按針～(ちくま新書 1552)

フレデリック・クレインス 著

筑摩書房

徳川家康の信頼を得て、側近の一人として家康の外交政策に大きな影響を及ぼしたイギリス人航海士ウィリアム・アダムス(三浦按針)。彼は何をなし、どんな晩年を送ったのか。アダムスの生涯から世界史の中の日本史を捉え直す。

2021.2./ 300p

978-4-480-07367-9

本体 ¥1,012〔税込〕



毎日新聞 2021/05/22、朝日新聞 2021/05/29



性からよむ江戸時代～生活の現場から～(岩波新書 新赤版 1844)

沢山 美果子 著

岩波書店

生まれた子は自分の子ではないと言い張る夫と妻の争い、難産に立ち合った医者 of 診療記録にみる妊婦の声…。史料の丹念な読み込みから、江戸時代に生きた女と男の性の日常と、その背後にある「家」意識、藩や幕府の政策に迫る。

2020.8./ 8p,190p

978-4-00-431844-6

本体 ¥902〔税込〕



毎日新聞 2021/05/29



文芸ピープル～「好き」を仕事にする人々～

辛島 デイヴィッド 著

講談社

日本の現代文学が、いま英語圏で注目されているのはなぜか。英米の翻訳家、編集者、デザイナーなど、本づくり&文芸に関わる人々「文芸ピープル」取材し、その声と仕事を伝えるルポ・エッセイ。『群像』掲載を加筆し書籍化。

2021.3./ 217p

978-4-06-522828-9

本体 ¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2021/05/29



東京物語考(講談社文芸文庫 ふ A13)

古井 由吉 著

講談社

徳田秋聲、正宗白鳥ら地方出身作家が「東京」を舞台に紡いだ私小説、永井荷風、谷崎潤一郎が描いた戦後日本人の原像…。日本近代文学における「東京物語」の系譜をたずねて、重層的な時間を往還し、現代人の出自をたどる。

2021.5./ 283p

978-4-06-523134-0

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/05/29



おとなを動かす悩み相談クエスト～こども六法 NEXT～

古城 宏 著

小学館

いじめ、ケンカ、トラブルを解決するのは「相談力」。話を聞いてくれない大人の「まあまあ言葉」を撃退し、本当に頼れる大人を探し出して悩みの解決のために動いてもらう方法を、まんがを交えて紹介。「こども六法」の姉妹本。

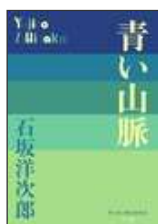
2021.4./ 175p

978-4-09-227246-0

本体 ¥1,210〔税込〕



毎日新聞 2021/05/29



青い山脈(P+D BOOKS)

石坂 洋次郎 著

小学館

東北地方の私立女子高校を舞台に、戦前の暗くじめじめした封建性を打破し、民主的な社会の実現を目指す人々の姿を爽やかに描く。戦後まもない 1947 年に新聞小説として連載されベストセラーとなった青春小説。

2018.7./ 334p

978-4-09-352343-1

本体 ¥660〔税込〕



毎日新聞 2021/05/29



紀ノ川 改版(新潮文庫)

有吉 佐和子 著

新潮社

毎日新聞 2021/05/29

2006:4./ 357p

978-4-10-113201-3

本体 ¥693〔税込〕



サラブレッドに「心」はあるか(中公新書ラクレ 619)

楠瀬 良 著

中央公論新社

「今日ではできればレースに出たくないなあ」「絶好調!誰にも負ける気がしない」など、馬の気持ちがわかったら-。競走馬の心理と行動に関する研究の成果を余すところなく紹介する。武豊との対談も収録。

毎日新聞 2021/05/29

2018:4./ 282p

978-4-12-150619-1

本体 ¥946〔税込〕



本心

平野 啓一郎 著

文藝春秋

ロスジェネ世代に生まれ、シングルマザーとして生きてきた母が、生涯隠し続けた事実とは-。急逝した母を、AI/VR 技術で再生させ、その死の真実を追う青年が経験する魂の遍歴。『北海道新聞』他連載を単行本化。

毎日新聞 2021/05/29

2021:5./ 449p

978-4-16-391373-5

本体 ¥1,980〔税込〕



JR 上野駅公園口(河出文庫 ゆ 3-3)

柳 美里 著

河出書房新社

東京オリンピックの前年、男は出稼ぎのため、上野駅に降り立った。そして男は彷徨い続ける、生者と死者が共存するこの国を…。福島県に生まれた一人の男の生涯を通じて<日本>を描く。

毎日新聞 2021/05/29

2017:2./ 181p

978-4-309-41508-6

本体 ¥660〔税込〕



こども六法

山崎 聡一郎 著

弘文堂

法律はみんなを守るためにある。知っていれば大人に悩みを伝えて解決してもらうのに役立つよ。いじめ、虐待に悩んでいるきみへ、楯となる法律について、イラストとやさしい言葉で解説する。

毎日新聞 2021/05/29

2019:8./ 201p

978-4-335-35792-3

本体 ¥1,320〔税込〕



はじめてのニュース・リテラシー(ちくまプリマー新書 371)

白戸 圭一 著

筑摩書房

フェイク、陰謀論、偏向、忖度、感性のズレ…。「事実」はなぜ歪んで/偏ってしまうのか? 誰もが情報発信する時代、「情報」とどのように付き合っていけばよいかについて、平易な言葉を使って考察した入門書。

毎日新聞 2021/05/29

2021:3./ 218p

978-4-480-68398-4

本体 ¥924〔税込〕





過ぎにし夏、マーズ・ヒルで〜エリザベス・ハンド傑作選〜(創元海外 SF 叢書 16)

エリザベス・ハンド 著

東京創元社

毎年夏に訪れる海辺の村の奇跡、屋根裏の不思議な劇場、幻の飛行機械…。ネビュラ賞・世界幻想文学大賞受賞の作品 4 編を収めた、不世出の天才作家エリザベス・ハンドによる抒情 SF 短編集。

2021:4./ 328p

978-4-488-01465-0

本体 ¥2,530〔税込〕



毎日新聞 2021/05/29



感染症と経営〜戦前日本企業は「死の影」といかに向き合ったか〜

清水 剛 著

中央経済社

「死」がより身近にあった戦前の日本社会において、労働者・消費者・株主はどのように行動し、企業はどう対応したのか。百貨店、出版社による代理販売、生協、経営者と株主の対話などから、コロナ後の経営のあり方を検討する。

2021:5./ 5p,174p

978-4-502-37741-9

本体 ¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2021/05/29



英文学者坪内逍遙

亀井 俊介 著

松柏社

人文学の危機が叫ばれる昨今。「融会自在」な学風を打ち立てた坪内逍遙の英文学活動は、学ぶべきところ無限にあるように思える。英文学者としての坪内逍遙の代表的な翻訳や著作を読み直し、検討・評価する。

2021:4./ 205p

978-4-7754-0276-4

本体 ¥2,750〔税込〕



毎日新聞 2021/05/29



ステレオタイプの科学〜「社会の刷り込み」は成果にどう影響し、わたしたちは何ができるのか〜

クロード・スティーアール／北村 英哉 著

英治出版

女性は数学が苦手、男性はケア職に向いていない、白人は差別に鈍感…。「できない」と言われると、人は本当にできなくなってしまう。固定観念が人間の行動に強力な影響を与えるメカニズムと対処法を社会心理学者が解明する。

2020:4./ 293p

978-4-86276-287-0

本体 ¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2021/05/29



衝撃の彼方ディープインパクト

軍土門 隼夫 著

三賢社

神に選ばれ、ファンに愛され、周囲の人びとを幸福にした、歴史的な名馬にして名種牡馬、ディープインパクト。生まれてから死ぬまでの 17 年 127 日の生涯を描く。『優駿』連載を加筆修正し書籍化。

2021:3./ 209p

978-4-908655-18-0

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/05/29



二平方メートルの世界で

前田 海音 著

小学館

脳神経の病気で入退院を繰り返している 9 歳の少女が、縦約 2 メートル、幅約 1 メートルの病院のベッドの上で発見したのは…。札幌の小学 5 年・前田海音さんが 3 年生のときに書いた作文をもとにした絵本。

2021:4./ 1 冊(ページ

付なし)

978-4-09-725104-0

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/05/29